



10インチAndroid屋内ステーションとシナリオコントロールパネル

ユーザーマニュアル

法的情報

本書について

- 本書には、本製品の使用および管理に関する説明が含まれています。以下の写真、図表、画像、およびその他すべての情報は、説明および解説のみを目的としています。
- 本書に記載されている情報は、ファームウェアのアップデートやその他の理由により、予告なく変更される場合があります。本書の最新版は、Hikvision のウェブサイト（<https://www.hikvision.com>）でご確認ください。別段の合意がない限り、Hangzhou Hikvision Digital Technology Co., Ltd. またはその関連会社（以下「Hikvision」といいます）は、明示的または黙示的を問わず、いかなる保証も行いません。
- 本ドキュメントのご利用にあたっては、本製品のサポートに関する訓練を受けた専門家の指導および支援を受けてください。

本製品について

- 本製品のアフターサービスは、購入された国または地域でのみご利用いただけます。
- お選びいただいた製品が映像製品の場合は、以下のQRコードをスキャンして「映像製品の利用に関する取り組み」を入手し、よくお読みください。



知的財産権に関する承認

- Hikvision は、本書に記載された製品に組み込まれた技術に関連する著作権および/または特許を所有しており、これには第三者から取得したライセンスが含まれる場合があります。
- 本文書の一部（テキスト、画像、グラフィックなどを含む）は、Hikvision に帰属します。書面による許可なく、本文書のいかなる部分も、その全部または一部を、いかなる手段によっても抜粋、複製、翻訳、または改変することはできません。
- **HIKVISION** およびその他のHikvisionの商標およびロゴは、各管轄区域においてHikvisionの所有物です。
- その他に言及されている商標およびロゴは、それぞれの所有者に帰属します。

法的免責事項

- 適用される法律で許容される最大限の範囲において、本書および本書に記載されている製品（そのハードウェア、ソフトウェア、ファームウェアを含む）は、「現状有姿」かつ「すべての欠陥およびエラーを含む」状態で提供されます。HIKVISION は、明示的か黙示的かを問わず、いかなる保証も行いません。

黙示的な保証（商品性、満足のいく品質、または特定の目的への適合性を含むが、これらに限定されない）を含みます。本製品の使用は、お客様ご自身の責任において行われるものとします。いかなる場合においても、HIKVISIONは、特別損害、結果的損害、付随的損害、または間接損害（事業利益の損失、事業の中断、データの損失、システムの破損、または文書の紛失を含むいかなる特別損害、結果的損害、付随的損害、または間接損害についても、契約違反、不法行為（過失を含む）、製造物責任、またはその他の理由に基づくかを問わず、本製品の使用に関連して、たとえHIKVISIONがそのような損害または損失の可能性について通知を受けていた場合であっても、一切の責任を負いません。

- お客様は、インターネットの性質上、固有のセキュリティリスクが存在することを認識し、サイバー攻撃、ハッカー攻撃、ウイルス感染、またはその他のインターネットセキュリティリスクに起因する異常動作、プライバシー漏洩、その他の損害について、一切の責任を負いません。ただし、必要に応じて、HIKVISIONは適時に技術サポートを提供します。
- お客様は、本製品をすべての適用法令に従って使用することに同意するものとします。また、お客様の使用が適用法令に準拠していることを確保する責任は、お客様のみが負うものとします。特に、お客様は、パブリシティ権、知的財産権、データ保護およびその他のプライバシー権を含むがこれらに限定されない、第三者の権利を侵害しない方法で本製品を使用する責任を負います。お客様は、大量破壊兵器の開発または製造、化学兵器または生物兵器の開発または製造、核爆発物または安全でない核燃料サイクルに関連するいかなる活動、あるいは人権侵害を支援する活動。
- 本文書と適用される法律との間に矛盾が生じた場合、後者が優先する。

データ保護

- データを保護するため、Hikvision製品の開発には「プライバシー・バイ・デザイン」の原則が組み込まれています。例えば、顔認識機能を備えた製品の場合、生体認証データは暗号化方式を用いて製品内に保存されます。指紋認証製品の場合、指紋テンプレートのみが保存され、指紋画像を復元することは不可能です。
- データ管理者／処理者として、お客様は個人データの収集、保存、利用、処理、開示、削除などを含む個人データの処理を行う場合があります。個人データの保護に関する適用される法令や規制に留意し、これを遵守することをお勧めします。これには、合理的な管理上および物理的なセキュリティ対策の実施、セキュリティ対策の有効性に関する定期的な見直しや評価の実施など、個人データを保護するためのセキュリティ対策の実施が含まれますが、これらに限定されません。

© Hangzhou Hikvision Digital Technology Co., Ltd. All rights reserved.

記号の定義

本文書で使用する記号の定義は以下の通りです。

記号	説明
 危険	回避しなければ、死亡または重傷につながる、あるいはその恐れのある危険な状況を示します。
 注意	回避しなければ、機器の損傷、データの損失、パフォーマンスの低下、または予期せぬ結果につながる可能性のある危険な状況を示します。
 注	本文の重要な点を強調または補足するための追加情報を提供します。

規制関連情報

FCC情報

コンプライアンス責任者が明示的に承認していない変更や改造を行うと、本機器の運用権限が無効になる可能性があることにご注意ください。

FCC 準拠：本機器は、FCC 規則第 15 部の規定に基づき、クラス B デジタル機器の制限に準拠していることが試験により確認されています。これらの制限は、住宅環境における有害な干渉から合理的な保護を提供するように設計されています。本機器は、無線周波エネルギーを発生、使用、および放射するものであり、指示に従って設置および使用されない場合、無線通信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。ただし、特定の設置環境において干渉が発生しないという保証はありません。本機器がラジオやテレビの受信に有害な干渉を引き起こしている場合（機器の電源をオフにしてからオンにすることで確認できます）、ユーザーは以下の対策のいずれか、または複数を試して干渉を解消することを推奨します：

- 受信アンテナの向きを変えるか、設置場所を変更する。
- 本機器と受信機との距離を離す。
- 本機は、受信機が接続されている回路とは別の回路のコンセントに接続してください。
- 販売店または経験豊富なラジオ・テレビ技術者に相談してください

本機器は、放射体と身体との間に20cm以上の距離を保って設置・使用してください。

FCCの条件

本機器は、FCC規則第15部に準拠しています。使用にあたっては、以下の2つの条件に従う必要があります。

1. 本機器は、有害な干渉を引き起こしてはなりません。
2. 本装置は、望ましくない動作を引き起こす可能性のある干渉を含め、受信するあらゆる干渉に耐えなければならない。

EU適合宣言



本製品および（該当する場合）付属品には「CE」マークが付いており、したがって、以下に列挙された適用される欧州調和規格に準拠しています。

EMC 指令 2014/30/EU、RE 指令 2014/53/EU、RoHS 指令 2011/65/EU



2012/19/EU（WEEE 指令）：この記号が付いている製品は、欧州連合（EU）域内で一般廃棄物として分別せずに廃棄することはできません。適切にリサイクルするため、同等の新しい機器を購入する際に、この製品を地元の販売店に返却するか、指定の回収場所に廃棄してください。詳細については、www.recyclethis.info をご覧ください。



2006/66/EC（電池指令）：本製品には、欧州連合（EU）域内で一般廃棄物として分別せずに廃棄できない電池が含まれています。電池に関する具体的な情報については、製品ドキュメントをご参照ください。電池にはこの記号が表示されており、カドミウム（Cd）、鉛（Pb）、または水銀（Hg）を示す文字が含まれている場合があります。適切にリサイクルするため、バッテリーは販売店または指定の回収場所に返却してください。詳細については、www.recyclethis.info をご覧ください。

カナダ産業省 ICES-003 準拠

本機器は、CAN ICES-3 (B)/NMB-3(B) 規格の要件を満たしています。

本製品は、カナダ産業省の免許不要RSS規格に準拠しています。使用にあたっては、以下の2つの条件に従う必要があります。

1. 本機器は干渉を引き起こしてはならず、
2. 本装置は、本装置の意図しない動作を引き起こす可能性のある干渉を含め、あらゆる干渉を受け入れなければなりません。

本装置は、免許不要の無線機器に適用されるカナダ産業省のRSS規格に準拠しています。運用は、以下の2つの条件に従うものとします：

1. 本装置は干渉を引き起こしてはならず、
2. 本装置のユーザーは、受信したあらゆる電波干渉を受け入れなければならない、その干渉が本装置の動作に支障をきたす可能性がある場合でも同様です。

カナダ産業省の規制に基づき、本無線送信機は、カナダ産業省により当該送信機に対して承認された種類のアンテナ、かつ最大利得（またはそれ以下）のアンテナを使用してのみ動作させることができます。他の利用者への電波干渉の可能性を低減するため、等価全方向放射電力（e.i.r.p.）が通信を成立させるために必要な値を超えないよう、アンテナの種類とその利得を選択する必要があります。

カナダ産業省の規制に従い、本無線送信機は、カナダ産業省により当該送信機に対して承認された種類および最大（またはそれ以下）の利得を持つアンテナを使用してのみ動作させることができます。他のユーザーへの電波干渉のリスクを低減するため、等価等方放射電力（e.i.r.p.）が、通信を確立するために必要な電力を超えないように、アンテナの種類と利得を選択する必要があります。

この機器は、放射体と身体との間に 20cm 以上の距離を保って設置および操作してください。

この機器は、ラジエーターと身体との間に20cm以上の間隔を空けて設置・使用してください。

目次

第1章 本マニュアルについて.....	1
第2章 デバイスの起動	2
第3章 メインページの紹介.....	3
第4章 PC Web による操作	8
4.1 ログイン	8
4.2 パスワードを忘れた場合	8
4.3 概要.....	8
4.4 Webプラグインのダウンロード	9
4.5 ヘルプ.....	9
4.5.1 オープンソースソフトウェアのライセンス	9
4.5.2 オンラインヘルプを表示	9
4.6 パスワードの変更.....	10
4.7 ログアウト	10
4.8 Webブラウザでのクイック操作	10
4.8.1 言語を選択	10
4.8.2 設定	10
4.8.3 番号とシステムネットワーク.....	11
4.9 デバイス管理.....	12
4.10 カメラ管理.....	13
4.11 アクセス制御管理.....	13
4.11.1 パスワード設定	13
4.12 ビデオインターホン設定	14
4.12.1 Web経由でのデバイス番号設定	14
4.12.2 Webブラウザ経由でのビデオインターホンネットワークパラメータ設定	16
4.12.3 着信音の設定	17
4.12.4 通話設定	17

4.13 システム設定	18
4.13.1 PCのWebブラウザからデバイス情報を表示	18
4.13.2 時刻設定	18
4.13.3 管理者パスワード変更	19
4.13.4 PC Web経由でのデバイスの武装/解除情報の確認	19
4.13.5 ネットワーク設定	20
4.13.6 PC Web 経由での映像・音声パラメータの設定	23
4.13.7 イベント設定の構成	24
4.13.8 PCのWeb経由でのアラーム設定	25
4.14 システムとメンテナンス	26
4.14.1 再起動	26
4.14.2 アップグレード	26
4.14.3 復元	27
4.14.4 デバイスデバッグ	27
4.14.5 ログクエリ	28
4.14.6 セキュリティ管理	29
第5章 ローカル操作	30
5.1 クイック操作	30
5.2 基本設定	35
5.3 Wi-Fiの設定	36
5.4 xml-ph-0000@deepl.internal ローカル操作クイック操作基本設定Wi-Fiの設定	37
5.5 第xml-ph-0000@deepl.internal	39
5.6 ロック画面の背景をカスタマイズ	40
5.7 時刻を同期	40
5.8 サウンド設定	41
5.8.1 音量設定	41
5.9 Bluetoothの設定	41
5.10 詳細設定	42

5.10.1 パスワード設定	42
5.10.2 ユーザー管理	44
5.10.3 屋内局のネットワークパラメータ設定	44
5.10.4 携帯電話への発信	46
5.10.5 アプリ設定	46
5.10.6 インターコム設定	48
5.10.7 スマートホーム	50
5.11 システム設定	51
5.12 スマートホーム	54
5.12.1 スマートホーム - デバイス	54
5.12.2 シーンの設定	54
第6章 デバイスでのその他の操作	58
6.1 通話設定	58
6.1.1 SIP設定	58
6.1.2 連絡先を追加	58
6.1.3 内線への発信	59
6.1.4 屋内内線/屋内端末への発信	60
6.1.5 着信	61
6.1.6 通話履歴の表示	61
6.2 ライブビュー	62
6.3 モードの概要	62
6.4 設定	63
6.4.1 部屋の武装	63
6.4.2 お部屋の解除	63
6.5 サードパーティ製アプリの設定	64
6.5.1 アプリのインストール	64
6.6 メッセージ管理	65
6.7 ショートカットの追加	67

第7章 クライアントソフトウェアの設定	69
7.1 xml-ph-0000@deepl.internalクライアントソフトウェアの設定	69
7.1.1 ビデオインターホン端末の追加	69
7.1.2 ネットワーク情報の変更	71
7.2 システム構成	72
7.3 リモート設定	72
7.3.1 システム	72
7.3.2 ビデオインターホン	77
7.3.3 ネットワーク	82
7.4 クライアントソフトウェアから室内機を呼び出す	85
7.5 ドアステーションおよび屋外ドアステーションのライブ映像を表示	86
7.6 通話履歴の確認	86
7.7 ビデオインターホン情報の検索	87
7.7.1 通話履歴の検索	87
7.7.2 通知を検索	89

第1章 本マニュアルについて

マニュアルおよび関連ソフトウェアは、または公式ウェブサイト (<http://www.hikvision.com>) から入手してください。

製品	モデル
屋内局	DS-KH9570-WTE1/S
シナリオコントロールパネル	DS-KC9570-VWTE1/S
シナリオ制御パネル	DS-KC9570-WTE1/S

第2章 デバイスの起動

メイン画面を表示するには、デバイスをスタンバイモードから起動する必要があります。

ロック画面を有効にしている場合は、パターンを描画するかPINを入力してデバイスのロックを解除する必要があります。

手順

1. 画面をタッチしてデバイスを起動します。
2. パターンを描くか、PIN を入力してデバイスのロックを解除します。



- 「**管理者パスワード**」をタップします。その後、デバイスのロック解除に管理者パスワードを使用するように設定することもできます。
 - 「**設定**」→「**詳細設定**」をタップし、管理者パスワードを入力すると、スライドして**ロック画面**を無効にできます。
-

第3章 メインページの概要

デバイスを起動します。詳細については、「[デバイスの起動](#)」を参照してください。

メイン画面の紹介

デバイスのホーム画面で、左上隅から下にスワイプして通知を表示したり、右上隅から下にスワイプして Wi-Fi や Bluetooth のステータスを確認したり、「おやすみモード」や「サイレントモード」のオン/オフを切り替えたり、画面の明るさ、メディアの音量、通話および通知の音量を調整したりできます。

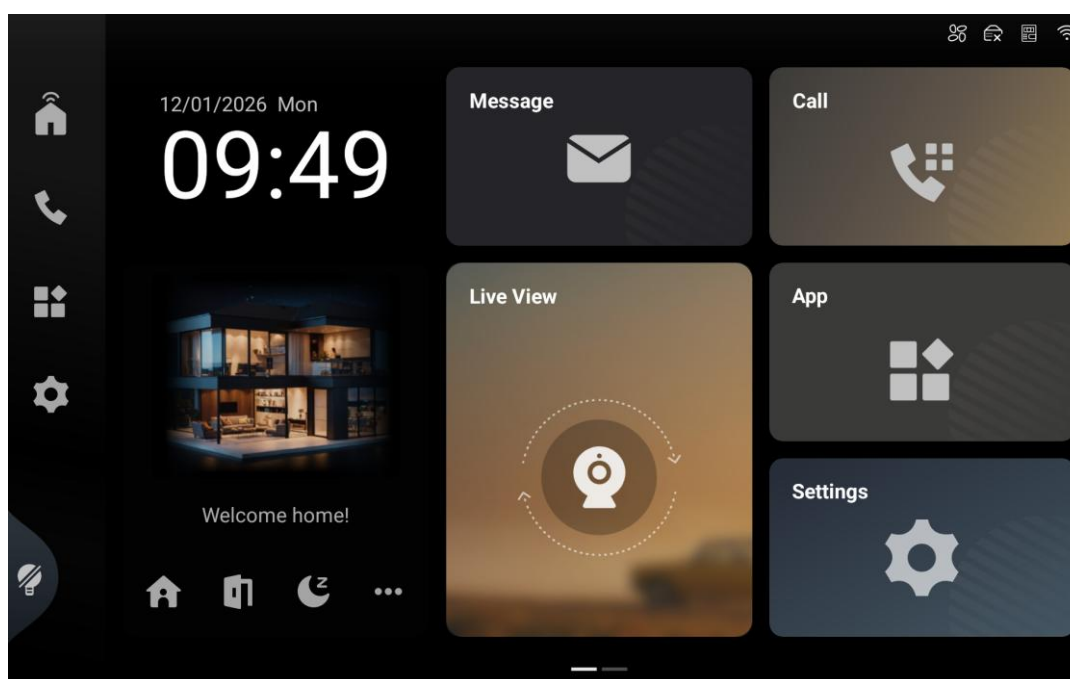


図3-1 メインページ1

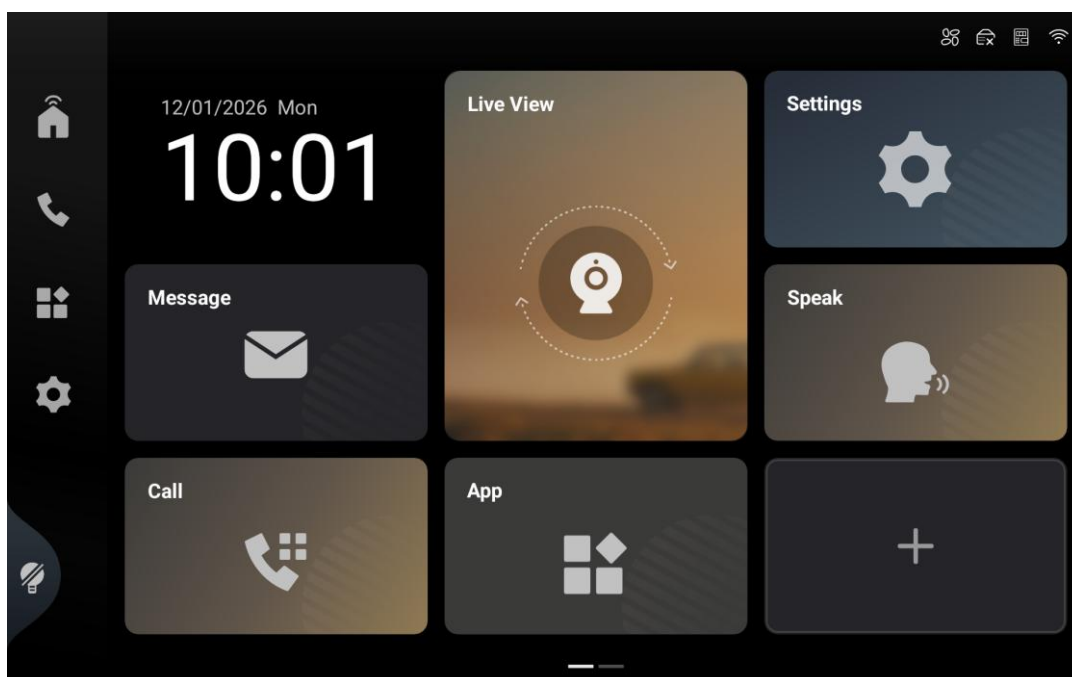


図3-2 メインページ 2



機種によってメインページが異なる場合があります。詳細は、お使いの端末をご確認ください。

メインページ

メインページの対応するショートカットをタップして、居住者や部屋への通話、メッセージの表示、リモートでのライブビュー、デバイスのセットまたは解除などの操作を行うことができます。

ステイモード

「」をタップし、「**ステイモード**」をタップした際にデバイスに実行させたいアクションを追加します。



追加できるアクションには、「**アクション**」、「**ディレイ**」、「**シーン**」の3種類があります。
これら3種類のアクションの詳細については、お使いのデバイス上の例をご参照ください。

外出モード

「」をタップして、「**Away Mode**」をタップしたときにデバイスに実行させたいアクションを追加します。追加できるアクション



には、「**Action**」、「**Delay**」、「**Scene**」の3種類があります。

これら3種類のアクションの詳細については、お使いの実際のデバイス上の例を参照してください。

スリープモード

 をタップして、「スリープモード」をタップしたときにデバイスに実行させたいアクションを追加します。



追加できるアクションには、「アクション」、「遅延」、「シーン」の3種類があります。
これら3種類のアクションの詳細については、お使いのデバイス上の例を参照してください。

シーンのショートカット

 をタップして、手動のシーンショートカットを追加します。



この操作を行う前に、まず手動でシーンを追加することをお勧めします。そうすれば、リストからすでに追加済みのシーンカードを直接選択できるようになります。

スマートホーム

 をタップして、スマートホームページに移動します。

ここでは、このデバイスに追加された部屋、デバイス、シーンの数を確認できます。



また、右上隅のメッセージアイコンをタップして、アラームイベントの記録やロック解除の記録を確認することもできます。
+ アイコンをタップして、部屋/デバイス/シーンを追加します。

ビデオインターホン

 をタップして、ビデオインターホンページに入ります。

ここでは、ライブビューの確認、ルームやコールセンターへの発信、および通話先のルームの選択を行うことができます。



右上隅の  をタップして、キャプチャログのページに入ります。

右上隅の  をタップして、ビデオインターホンの設定ページに入ります。

アプリケーションセンター

 をタップして、アプリケーションセンターに入ります。

その後、「+」をタップして新しいアプリをインストールできます。



- ウェブブラウザにアクセスするか、TFカードを使用するか、アプリをダウンロードする必要があります。TFカードスロットは、デバイスの左下部にあります。

詳細については、デバイスのポップアップダイアログボックスにある「？」をタップしてください。すると、インストール方法の詳細な説明と、TFカードスロットの位置を示す画像が表示されます。

- 右上の「」をタップし、管理者パスワードを入力して、詳細設定のページに進んでください。

ローカル設定

「」をタップして、ローカル設定のページに入ります。



注

このページにアクセスする他のショートカットもいくつかあります。詳しくは上記の注意事項をご参照ください。

画面をロックする

「」をタップして画面をロックします。

コントロールセンター

画面の右上隅から下にスワイプすると、デバイスを簡単に設定できます。

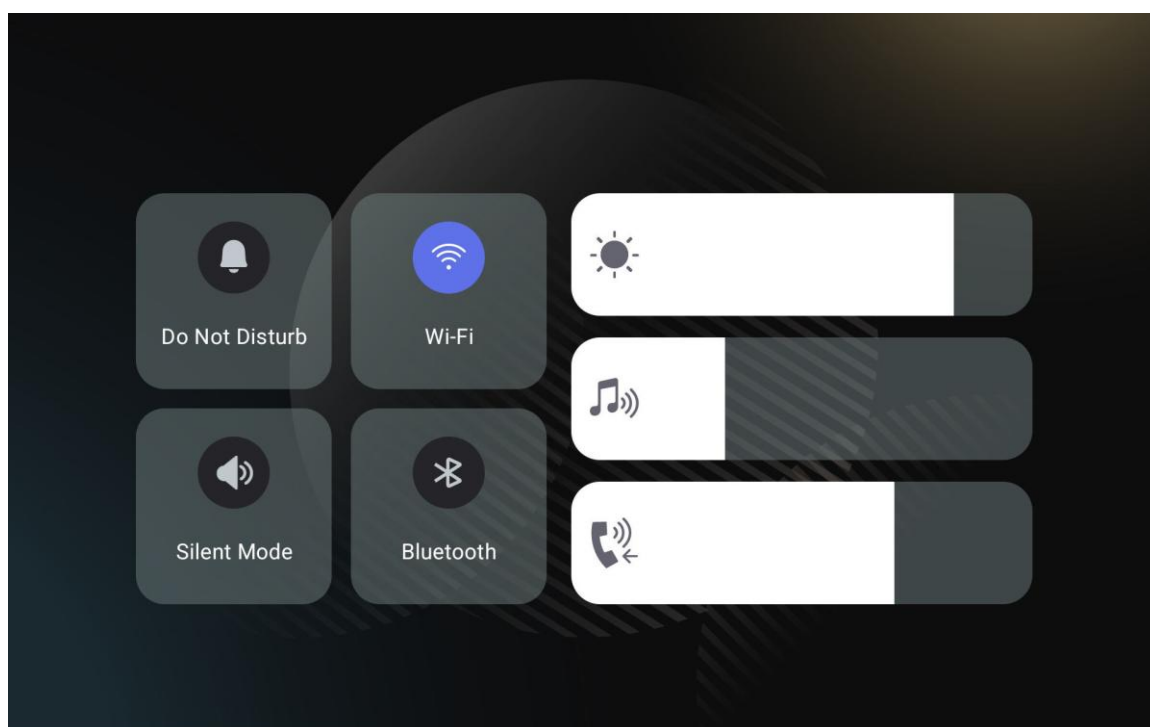


図 3-3 コントロールセンター

おやすみモード

「」をタップして、「おやすみモード」機能を有効または無効にします。

Wi-Fi

「」をタップしてWi-Fi機能をオンまたはオフにすると、無線ネットワークに接続できます。

サイレントモード

「」をタップして、サイレントモードを有効または無効にします。



注

サイレントモードを有効にすると、着信音量を調整できなくなります。

スライドして着信音量を調整すると、サイレントモードは自動的にオフになります。

Bluetooth

「」をタップして、Bluetoothを有効または無効にします。

明るさの調整

スライドして画面の明るさを調整します。

メディアの音量調整

メディアの音量  : スライダーを動かして、動画やアプリなどのメディアの音量を調整します。

通話と通知の音量を調整

通話および通知の音量  : スライドして、通話や通知の音量を調整します。

第4章 PC Web での操作

4.1 ログイン

Web ブラウザまたはクライアントソフトウェアのリモート設定からログインできます。



デバイスがアクティブになっていることを確認してください。

Webブラウザからのログイン

WebブラウザのアドレスバーにデバイスのIPアドレスを入力し、**Enter**キーを押してログインページを表示します。
デバイスのユーザー名とパスワードを入力します。「**ログイン**」をクリックします。

クライアントソフトウェアのリモート設定によるログイン

クライアントソフトウェアをダウンロードして起動します。デバイスを追加した後、「」をクリックして設定ページに入ります。

4.2 パスワードを忘れた場合

ログイン時にパスワードを忘れた場合、メールアドレスまたはセキュリティの質問を使用してパスワードを変更できます。この機能は一部のモデルでのみサポートされています。

ログインページで、「**パスワードをお忘れの方**」をクリックします。「**確認モード**」を選択します。

セキュリティの質問による確認

セキュリティの質問に答えてください。

メールによる確認

1. QRコードをエクスポートし、添付ファイルとして **pw_recovery@hikvision.com** まで送信してください。
2. 5分以内に、ご登録のメールアドレスに確認コードが届きます。
3. 本人確認を行うため、確認コード欄に確認コードを入力してください。「**次へ**」をクリックし、新しいパスワードを作成して確認してください。

4.3 概要

リンクされたデバイス、ネットワークの状態、および基本情報を確認できます。また、関連するパラメータをクリックして設定を行うこともできます。

機能の説明：

デバイスのリンク

デバイスが正常に動作しているか確認できます。また、屋内ステーション、オンラインおよびオフラインのデバイス数も確認できます。

「**詳細を表示**」をクリックすると、コンポーネントの詳細なステータスを確認できます。**デバイス**管理ページに移動します。

ネットワークステータス

ネットワーク接続状況を確認できます。



設定を行うには、「**有線ネットワーク**」、「**Hik-Connect**」、または「**VoIP**」をクリックしてください。

基本情報

モデル、シリアル番号、およびファームウェアのバージョンを確認できます。



関連するパラメータをクリックして、詳細情報を確認してください。

4.4 Webプラグインのダウンロード

プラグインを使用しないライブビューと、プラグインをダウンロードした後のライブビューの両方が利用可能です。より快適なライブビューをご利用いただくため、ライブビュー用プラグインのダウンロードをお勧めします。

「」→「**Webプラグインのダウンロード**」をクリックして、プラグインをローカルにダウンロードしてください。

4.5 ヘルプ

4.5.1 オープンソースソフトウェアのライセンス

オープンソースソフトウェアのライセンスをご覧ください。

右上の「」→「**Open Source Software Statement**」をクリックして、ライセンスを確認してください。

4.5.2 オンラインヘルプを表示

Web設定のヘルプドキュメントを表示できます。

Webページの右上にある「」→「**Online Document**」をクリックして、ドキュメントを表示してください。

4.6 パスワードの変更

手順

1. 「admin」→「Modify Password」をクリックします。
2. 管理者パスワードと新しいパスワードを入力し、新しいパスワードを確認します。
3. 「Save」をクリックして設定を完了します。「Cancel」をクリックすると、設定は破棄されます。

4.7 ログアウト

アカウントからログアウトします。

「管理」→「ログアウト」→「OK」の順にクリックしてログアウトしてください。

4.8 Webブラウザからのクイック操作

4.8.1 言語の選択

デバイスのシステム言語を選択できます。

Web ページの右上にある  をクリックして、[Device Language Settings] ページにアクセスします。ドロップダウンリストから、デバイスのシステム言語を選択できます。

デフォルトでは、システム言語は英語になっています。



システム言語を変更すると、デバイスは自動的に再起動します。

4.8.2 時刻設定

ウェブページの右上にある  をクリックして、ウィザードページに進みます。デバイスの言語を設定した後、「次へ」をクリックして「時刻設定」ページに進みます。

タイムゾーン

ドロップダウンリストから、デバイスの所在するタイムゾーンを選択します。

時刻同期

NTP

NTP サーバーの IP アドレス、ポート番号、および間隔を設定してください。

手動

デフォルトでは、デバイスの時刻は手動で同期する必要があります。デバイスの時刻を手動で設定するか、「**コンピュータの時刻と同期**」にチェックを入れて、デバイスの時刻をコンピュータの時刻と同期させることができます。

サーバーアドレス/NTP ポート/間隔

サーバーアドレス、NTPポート、および間隔を設定できます。

夏時間

夏時間の開始時刻、終了時刻、およびバイアス時刻を確認できます。

[**次へ**] をクリックして設定を保存し、次のパラメータに進みます。または、[**スキップ**] をクリックして時刻設定をスキップします。

4.8.3 番号およびシステムネットワーク

手順

1. Web ページの右上にある [] をクリックして、ウィザードページに入ります。前の設定が完了したら、[**Next**] をクリックして、[**No. and Network System Network**] 設定ページに進みます。
2. デバイスのタイプを設定します。



- デバイスタイプを「**屋内局**」に設定すると、**階数**、**部屋番号**、**コミュニティ番号**、**建物番号**、**ユニット番号**を設定できます。
 - デバイスタイプを「**屋内ステーション**」に設定した場合、**内線番号**を設定できます。
-

デバイスタイプ

このデバイスは、屋内ステーションまたは屋内内線として使用できます。ドロップダウンリストからデバイスタイプを選択してください。

内線番号

デバイスの部屋番号を設定します。1 から 9999 までの範囲で設定してください。

コミュニティ番号

デバイスのコミュニティ番号を設定します。範囲は1から9です。

建物番号

デバイスのビル番号を設定します。範囲は 1 から 999 です。

ユニット番号

デバイスのユニット番号を設定します。範囲は 1 から 99 です。

階数

設置階数を設定します。0～999の範囲で設定してください。

3. ビデオインターホンのネットワークパラメータを設定します。

登録パスワード

通信用のメインステーションの登録パスワードを設定します。通信用のメインステーションの登録パスワードを設定します。

メインドアステーションのIP

通信に使用するメインドアステーションのIPアドレスを入力してください。

メインステーションのIPアドレス

通信に使用するメインステーションのIPアドレスを入力してください。

プライベートサーバーのIP

SIPサーバーのIPアドレスを指します。通信に使用するメインステーションのIPアドレスを入力してください。この場合、メインステーションはSIPサーバーとして機能します。他のインターホン機器は、通信を行うためにこのサーバーアドレスに登録する必要があります。

ドアホンのIPアドレス

室内機とドアホン間の通信に使用されます。

センターIPアドレス

中央管理サーバーへの接続に使用され、リモート管理やアラーム情報のアップロードを可能にします。

4. 設定が完了したら、「完了」をクリックして設定を保存してください。

4.9 デバイス管理

デバイス管理には、デバイスの追加、編集、削除などが含まれます。このページにアクセスするには、[デバイス管理] → [デバイス管理] → [デバイス管理] をクリックします。

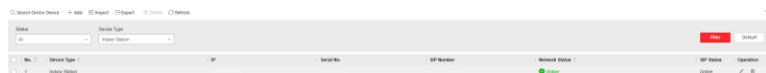


図 4-1 デバイス管理

- 「+追加」をクリックしてデバイスを追加します。
デバイスのパスワード、登録パスワード、シリアル番号などの基本情報、IP アドレス、IPv4 サブネットマスク、IPv4 デフォルトゲートウェイ、ポートなどのネットワークパラメータ、および内線番号を入力する必要があります。
- また、「インポート」または「エクスポート」をクリックして、デバイスを一括でインポート/エクスポートすることもできます。



Excelファイルを使用して、デバイスを一括でインポートできます。また、ウェブサイトからテンプレートをダウンロードすることもできます。

- クリック  をクリックしてデバイスを編集します。
デバイスのパスワード、登録パスワード、シリアル番号などの基本情報、IPアドレス、IPv4サブネットマスク、IPv4デフォルトゲートウェイ、ポートなどのネットワークパラメータ、および内線番号を編集できます。
「保存」をクリックして変更を保存します。

4.10 カメラ管理

カメラ管理操作により、カメラの追加、編集、削除を行うことができます。「デバイス管理」→「デバイス管理」→「カメラ」をクリックして、このページにアクセスします。

[+追加] をクリックしてカメラを追加します。

The screenshot shows a web form for adding a camera. It contains the following elements:

- Name ***: A text input field.
- IP Address ***: A text input field.
- Protocol**: Two radio buttons, with "Private RSTP Protocol" selected.
- Channel No. ***: A text input field.
- Port ***: A text input field.
- User ***: A text input field.
- Password ***: A text input field with a toggle icon on the right.
- Buttons**: A red "Save" button and a grey "Cancel" button.

図4-2 カメラの追加

4.11 アクセス制御管理

4.11.1 パスワード設定

[アクセス制御] → [パスワード設定] をクリックしてページを開きます。[追加] をクリックしてパスワードを追加します。

Add Password ×

Password Type

Arming/Disarming Password ▼

Password *

Enter. 🗐

Password Confirm *

Enter. 🗐

Save

Cancel

図 4-3 パスワードの追加

ドロップダウンリストからパスワードの種類を選択します。パスワードの種類は、武装/武装解除パスワード、居住者用ロック解除パスワード、または緊急コードとして設定できます。

「保存」をクリックして設定を保存します。

4.12 ビデオインターホン設定

4.12.1 Web 経由でのデバイス番号の設定

この機器は、室内機または室内内線機として使用できます。使用前に機器番号を設定してください。

「ビデオインターホン」→「通話設定」→「デバイス番号」をクリックします。

Device Type	Indoor Station	▼
* Floor No.	1	^ ▼
* Room No.	187	^ ▼
^ More		
* Community No.	1	^ ▼
* Building No.	1	^ ▼
* Unit No.	1	^ ▼

Save

図4-4 デバイス番号の設定

機器タイプを「**屋内ステーション**」に設定した場合、「**階番号**」、「**部屋番号**」、「**コミュニティ番号**」、「**建物番号**」、「**ユニット番号**」を設定できます。

機器タイプ

このデバイスは、屋内ステーションまたは屋内拡張ユニットとして使用できます。ドロップダウンリストからデバイスタイプを選択してください。



注 デバイスタイプを変更した場合は、デバイスを再起動する必要があります。

階数

デバイスの設置階数を設定します。0～999の範囲で指定してください。

階数

設置階数を設定します。



注

- 番号を変更した場合は、デバイスを再起動する必要があります。
- 部屋番号は 1 から 9999 までの範囲です。

コミュニティ番号

デバイスのコミュニティ番号を設定します。1～9の範囲で指定してください。

建物番号

デバイスのビル番号を設定します。範囲は 1 から 999 です。

ユニット番号

デバイスユニット番号を設定します。範囲は 1 から 99 です。



番号を変更した場合は、デバイスを再起動する必要があります。設定後、「保

存」をクリックして設定を保存します。

デバイスタイプを「屋内内線」に設定した場合、**内線番号**を設定できます。**内線番号**

デバイス種別として「屋内内線」を選択する場合は、**1** から **15** までの数字を入力してください。



番号を変更した場合は、デバイスを再起動する必要があります。

4.12.2 Web ブラウザによるビデオインターホンネットワークパラメータの設定

登録パスワード、メインステーションの IP アドレス、プライベートサーバーの IP アドレスなどを、実際のニーズに合わせて設定できます。

[ビデオインターホン] → [通話設定] → [ビデオインターホンネットワーク] をクリックして、設定ページに入ります。

登録パスワード

通信用のメインステーションの登録パスワードを設定してください。通信用のメインステーションの登録パスワードを設定してください。

メインドアステーションのIPアドレス

通信に使用するメインドアステーションのIPアドレスを入力してください。

メインステーションのIP

通信に使用するメインステーションのIPアドレスを入力してください。

プライベートサーバーIP

SIPサーバーのIPアドレスを指します。通信に使用するメインステーションのIPアドレスを入力してください。この場合、メインステーションはSIPサーバーとして機能します。他のインターホン機器は、通信を行うためにこのサーバーアドレスに登録する必要があります。

ドアホンのIPアドレス

屋内機とドアホン間の通信に使用されます。

設定完了後、入退室管理装置とビデオインターホンのドアステーション、室内機、メインステーション、プラットフォームなどとの通信が可能になります。

「保存」をクリックします。

4.12.3 着信音を設定する

着信音設定画面で着信音を選択できます。

手順

1. 「ビデオインターホン」→「通話設定」→「着信音設定」をクリックします。
2. スワイプして、選択した着信音を有効にします。



デフォルトでは3つの着信音が用意されています。

4.12.4 通話設定

最大呼び出し時間、ライブビュー時間、および転送時間を設定します。「ビデオインターホン」→「通話設定」→「通話設定」に進みます。

Max. Ring Duration 30 s

Max. Live View Time 30 s

Call Forwarding 0 s

Save

図4-5 通話設定

「最大呼び出し時間」には30～60秒の範囲で入力します。「最大ライブビュー時間」には10～1800秒の範囲で入力します。「通話転送時間」には0～20秒の範囲で入力します。

「保存」をクリックします。

4.13 システム設定

4.13.1 PC Web 経由でデバイス情報を表示

デバイス名、言語、モデル、シリアル番号、バージョン、利用可能なカメラ、デバイスの容量を確認します。

[システムとメンテナンス] → [システム構成] → [システム] → [システム設定] → [基本情報] をクリックして、設定ページに入ります。

デバイス名、言語、モデル、シリアル番号、バージョン、利用可能なカメラ、デバイスの容量を確認できます。

「ファームウェアバージョン」の「アップグレード」をクリックすると、アップグレードページに移動し、デバイスのアップグレードを行うことができます。

4.13.2 時刻設定

デバイスのタイムゾーン、同期モード、サーバーアドレス、NTP ポート、および間隔を設定します。

[システムとメンテナンス] → [システム構成] → [システム] → [システム設定] → [時刻設定] をクリックします。

The screenshot displays the 'Time Settings' page within a web application. On the left is a dark sidebar with icons for 'System Configuration', 'Open Platform', 'Maintenance', and 'Safe'. The main content area has two tabs: 'Basic Information' and 'Time Settings' (which is active). Under 'Time Settings', the 'Device Time' is shown as '2026-01-12 09:46:33'. Below this is a 'Time Zone' dropdown menu currently set to '(GMT+00:00) Dublin, Edinburgh, London'. The 'Time Synchronization mode' section has two radio buttons: 'NTP' (unselected) and 'Manual' (selected). At the bottom, there is a 'Set Time' field with the value '2026-01-12 09:46:32' and a calendar icon, followed by a 'Sync With Com...' button. A large red 'Save' button is centered at the bottom of the form.

図 4-6 時刻設定

設定が完了したら、「保存」をクリックして設定を保存してください。

タイムゾーン

ドロップダウンリストから、デバイスの所在するタイムゾーンを選択してください。

NTP

NTP

NTP サーバーの IP アドレス、ポート番号、および間隔を設定する必要があります。

手動

デフォルトでは、デバイスの時刻は手動で同期する必要があります。デバイスの時刻を手動で設定するか、「**コンピュータの時刻と同期**」にチェックを入れて、デバイスの時刻をコンピュータの時刻と同期させることができます。

サーバーアドレスの種類/サーバーアドレス/NTP ポート/間隔

サーバーアドレスの種類、サーバーアドレス、NTP ポート、および間隔を設定できます。

4.13.3 管理者のパスワードの変更

手順

1. 「システムとメンテナンス」→「システム構成」→「システム」→「ユーザー管理」→「ユーザー管理」をクリックします。
2.  をクリックします。
3. 現在のパスワードを入力し、新しいパスワードを作成します。
4. 新しいパスワードを確認します。
5. 「保存」をクリックします。



デバイスのパスワードの強度を自動的に確認することができます。製品のセキュリティを強化するため、ご自身で設定したパスワード（8文字以上で、大文字、小文字、数字、特殊文字の少なくとも3種類を含むもの）に変更することを強くお勧めします。また、特にセキュリティレベルの高いシステムでは、定期的にパスワードを変更することをお勧めします。毎月または毎週パスワードを変更することで、製品をより確実に保護することができます。

すべてのパスワードおよびその他のセキュリティ設定の適切な設定は、サービスプロバイダーおよび／またはエンドユーザーの責任となります。

4.13.4 PCのWeb経由でデバイスの武装/解除情報を確認する

デバイスの武装タイプと武装時のIPアドレスを確認します。

「システムとメンテナンス」→「システム設定」→「システム」→「ユーザー管理」→「武装/解除情報」に移動します。

デバイスの武装/解除情報を確認できます。「更新」をクリックするとページが更新されます。

4.13.5 ネットワーク設定

PCのWeb画面から基本ネットワークパラメータを設定する

「システムとメンテナンス」→「システム構成」→「ネットワーク」→「ネットワーク設定」→「TCP/IP」をクリックします。

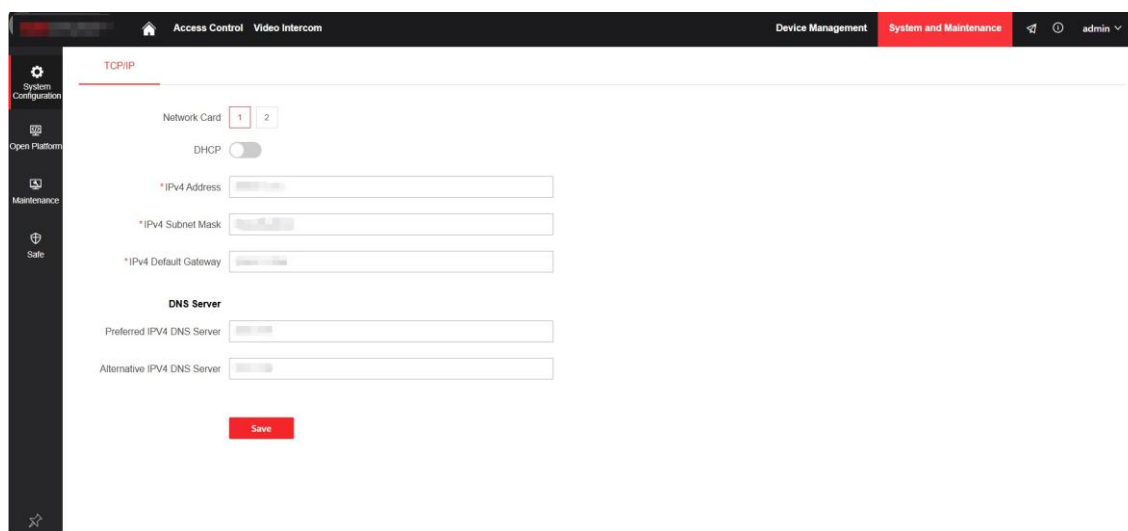


図 4-7 TCP/IP 設定ページ

パラメータを設定し、「保存」をクリックして設定を保存します。

DHCP

この機能を無効にした場合は、IPv4アドレス、IPv4サブネットマスク、IPv4デフォルトゲートウェイ、優先IPv4 DNSサーバー、および代替IPv4 DNSサーバーを手動で設定する必要があります。

この機能を有効にすると、システムが上記のパラメータを自動的に割り当てます。

DNS サーバー

実際のニーズに応じて、優先 DNS サーバーと代替 DNS サーバーを設定してください。

PC Web 経由でポートを設定

[システムとメンテナンス] → [システム設定] → [ネットワーク] → [ネットワークサービス] に移動します。

HTTPの有効化/無効化

HTTP機能を有効にして、ブラウザでの閲覧のセキュリティを向上させます。

「システムとメンテナンス」→「システム設定」→「ネットワーク」→「ネットワークサービス」→「HTTP(S)」に移動します。

パラメータの設定が完了したら、「**保存**」をクリックします。

HTTPポート

ブラウザでログインする場合は、アドレスの後に変更したポート番号を追加する必要があります。

たとえば、HTTP ポート番号が 81 に変更された場合、ブラウザでログインする際には `http:// 192.0.0.65 : 81` と入力する必要があります。

HTTPS ポート

アクセスするブラウザのHTTPSポートを設定してください。ただし、証明書が必要です。

PCのWebブラウザでRTSPポートを確認する

RTSPポートは、リアルタイムストリーミングプロトコルのポートです。

[システムとメンテナンス] → [システム設定] → [ネットワーク] → [ネットワークサービス] → [RTSP] に移動します。ポートを確認してください。

SDKサービスを有効にする

SDK サービスを有効にすると、デバイスを SDK サーバーに接続できるようになります。

「システムとメンテナンス」→「システム設定」→「ネットワーク」→「デバイスアクセス」→「SDKサーバー」をクリックして、設定ページを開きます。

サーバーのポート番号を入力してください。

「**保存**」をクリックして設定を有効にします。

携帯電話への発信

プラットフォームアクセスでは、プラットフォーム経由でデバイスを管理するオプションが提供されます。

手順

1. [設定] → [詳細設定] → [携帯電話への通話] をクリックして、設定ページに入ります。
2. スライドして「クラウドサービス」を有効にします。

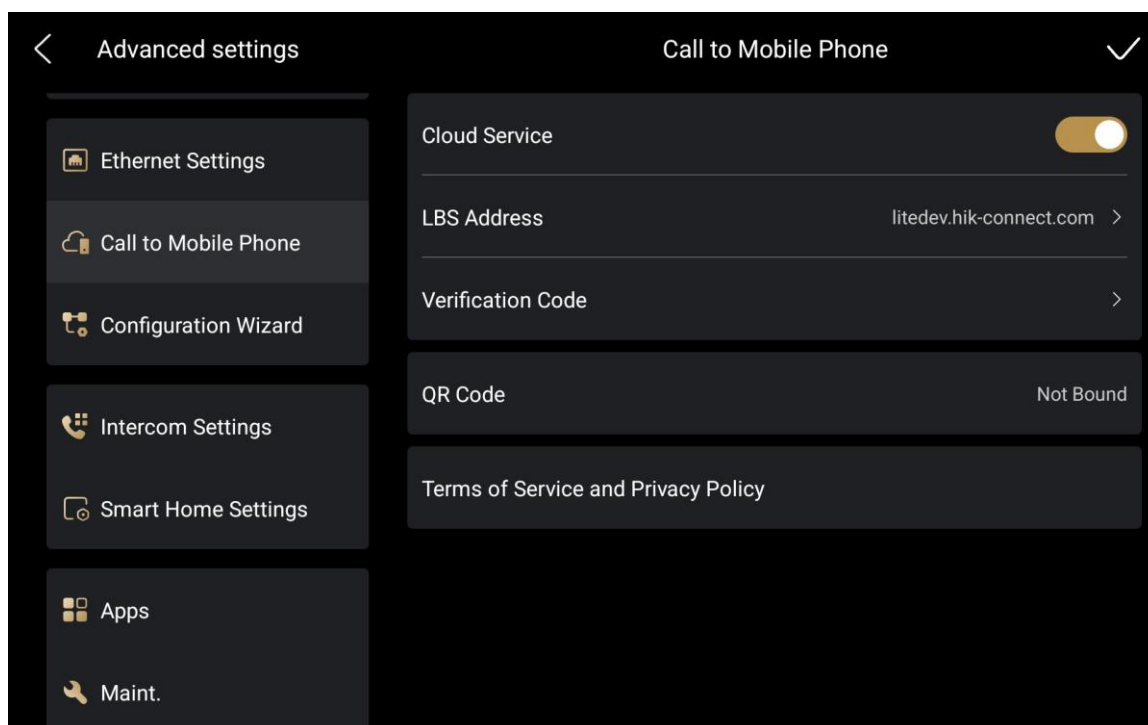


図4-8 クラウドサービス

3. 確認コードを入力します。
4. QR コードをスキャンしてアカウントを紐付けます。



8文字から32文字（a～z、A～Z）または数字（0～9）。大文字と小文字が区別されます。8文字以上の英数字を組み合わせて使用することをお勧めします。

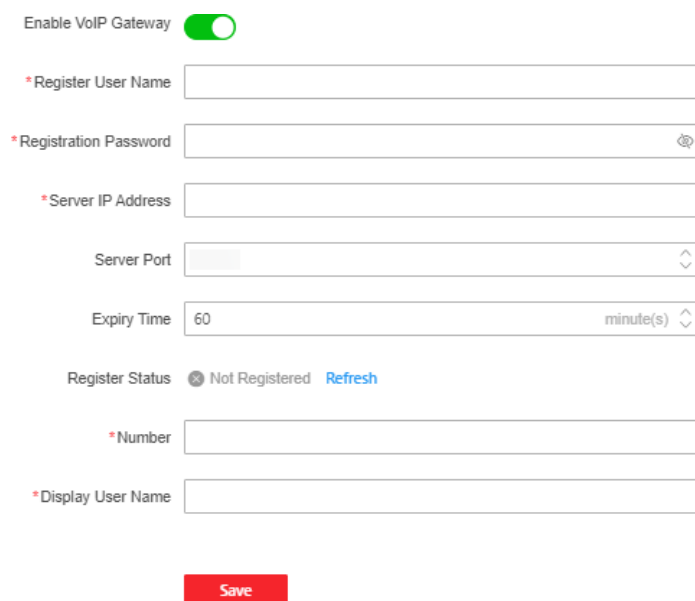
5. **[保存]**をクリックして設定を有効にしてください。

VoIPアカウント設定

ネットワーク経由で音声通話を行うことができます。

手順

1. **[システムとメンテナンス]** → **[システム設定]** → **[ネットワーク]** → **[デバイスアクセス]** → **[VoIP]** に移動します。
2. **VoIP ゲートウェイ**を有効にします。
3. **「ユーザー名登録」**、**「登録パスワード」**、**「サーバーIPアドレス」**、**「サーバーポート」**、**「有効期限」**、**「登録ステータス」**、**「番号」**、**「表示ユーザー名」**を設定します。



The image shows a web form for VoIP account setup. At the top, there is a toggle switch labeled 'Enable VoIP Gateway' which is currently turned on (green). Below this are several input fields: '* Register User Name', '* Registration Password' (with a password icon), '* Server IP Address', 'Server Port' (with a dropdown arrow), 'Expiry Time' (set to 60 with a unit of 'minute(s)' and a dropdown arrow), 'Register Status' (showing 'Not Registered' with a refresh button), '* Number', and '* Display User Name'. At the bottom of the form is a red 'Save' button.

図4-9 VoIPアカウント設定

登録パスワード

SIP サーバー経由の通信用の登録パスワードを入力してください。SIP サーバーの登録パスワードは、通常、メインステーションの SIP 設定で設定されます。

サーバーのIPアドレス

VoIP通信に使用するメインステーションのIPアドレスを入力してください。この場合、メインステーションはSIPサーバーとして機能します。他のインターコム機器は、通信を行うためにこのサーバーアドレスに登録する必要があります。

番号 / 表示ユーザー名

本機が発信番号とユーザー名を表示します。

4. 「保存」をクリックします。

4.13.6 PCのWeb画面から映像および音声パラメータを設定

PC Web 経由での音声パラメータの設定

PC Web 経由でビデオおよびオーディオパラメータを設定します。

「システムとメンテナンス」→「システム設定」→「映像/音声」→「音声」に移動します。

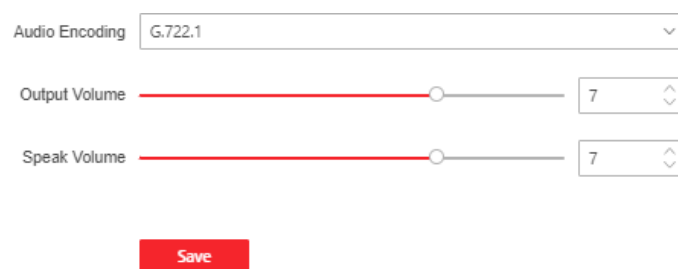


図4-10 オーディオ

実際のニーズに合わせてオーディオエンコーディングを設定します。出力音量と通話音量は0から10の範囲で設定できます。「保存」をタップします。

4.13.7 イベント設定の構成

手順

1. 「システムとメンテナンス」→「システム設定」→「イベント」→「イベント設定」をクリックして、このページに入ります。

Door Unlock Record

Enable Door Unlock Record 

Tampering Alarm

Enable Tampering Alarm 

Save

図 4-11 イベント設定画面

2. 実際のニーズに応じて、「**ドアのロック解除記録**」および「**改ざんアラーム**」を有効にしてください。
3. **[保存]** をクリックして設定を保存します。

4.13.8 PC Web によるアラーム設定

手順

1. 「システムとメンテナンス」→「システム設定」→「イベント」→「イベント設定」→「**改ざんアラーム**」をクリックします。
2. 必要に応じて、「**改ざんアラームを有効にする**」のスライダーをスライドさせてください。



不正操作ボタンが外されると、アラームが作動します。

4.14 システムとメンテナンス

4.14.1 再起動

手動または自動でデバイスを再起動するように選択できます。

「システムとメンテナンス」→「メンテナンス」→「再起動」をクリックして、設定ページに入ります。

Manually Reboot

Reboot Device

Reboot Automatically

Reboot Automatically ☒

Rebooting Time

図 4-12 再起動

「再起動」をクリックして、デバイスを手動で再起動します。

「自動的に再起動」を有効にするには、スライダーをスライドさせます。「再起動時間」を設定し、「保存」をクリックします。

4.14.2 アップグレード

PCのWeb経由でローカルアップグレード

デバイスをローカルでアップグレードできます。

「システムとメンテナンス」→「メンテナンス」→「アップグレード」をクリックして、設定ページに入ります。

ドロップダウンリストからアップグレードの種類を選択します。「」をクリックし、ローカルPCからアップグレードファイルを選択します。「アップグレード」をクリックしてアップグレードを開始します。

PC Web 経由のオンラインアップグレード

デバイスをオンラインでアップグレードできます。

「システムとメンテナンス」→「メンテナンス」→「アップグレード」をクリックして設定ページを開きます。「更新を確認」をクリックして、新しいバージョンがあるかどうかを確認します。

デバイスがネットワークに接続されており、Hik-Connectアプリに登録されている場合、Hik-Connectアプリに更新版があるときは、[デバイスのアップグレード] → [デバイスでのオンラインアップグレード]をタップしてアップグレードできます。

4.14.3 復元

Webブラウザ経由での工場出荷時設定への復元

デバイスを工場出荷時の設定に復元できます。

「システムとメンテナンス」→「メンテナンス」→「バックアップとリセット」をクリックして、設定ページに入ります。

「すべて復元」をクリックすると、すべての設定が工場出荷時の設定に戻ります。使用前にデバイスの電源を入れてください。

PCのWeb経由で初期設定に復元

デバイスをデフォルト設定に復元できます。

「システムとメンテナンス」→「メンテナンス」→「バックアップとリセット」をクリックして、設定ページに入ります。

「復元」をクリックすると、デバイスの IP アドレスとユーザー情報を除き、デバイスはデフォルト設定に復元されます。

4.14.4 デバイスのデバッグ

デバイスのデバッグパラメータを設定できます。

WebブラウザからSSHを有効/無効にする

リモートデバッグを行うためにSSHを有効にすることができます。

「システムとメンテナンス」→「メンテナンス」→「デバイスデバッグ」→「デバッグ用ログ」をクリックします。**SSHを有効にする**

SSHはリモートデバッグに使用されます。このサービスを使用する必要がない場合は、セキュリティを強化するためにSSHを無効にすることをお勧めします。

ネットワークのPingテスト

ping テストにより、プラットフォームのネットワークが正常かどうかを確認できます。

手順

1. 「システムとメンテナンス」→「メンテナンス」→「デバイスデバッグ」→「デバッグ用ログ」をクリックして、設定ページを開きます。
2. 宛先ホストアドレス（IPアドレス）を入力してください。
3. 「Ping Network」をクリックします。

ADBリモートコントロールの設定

ADB リモートコントロールを設定できます。

手順

1. 「システムとメンテナンス」→「メンテナンス」→「デバイスのデバッグ」に移動します。
2. 「ADB リモートコントロール」を有効にします。



開発者モードを有効にした後、ADB リモートコントロールを有効にできます。

PC Web 経由でデバイスログを印刷

デバイスのログを印刷できます。

「システムとメンテナンス」→「メンテナンス」→「デバイスのデバッグ」→「デバッグ用ログ」をクリックして、設定ページを開きます。
「エクスポート」をクリックして、デバイスのログを出力します。

PCのWeb経由でネットワークパケットをキャプチャする

パケットのキャプチャ期間とサイズを設定し、キャプチャを開始します。キャプチャ結果に基づいてログを確認し、デバッグを行うことができます。

「システムとメンテナンス」→「メンテナンス」→「デバイスデバッグ」→「デバッグ用ログ」に移動します。「パケットキャプチャ期間」、「パケットキャプチャサイズ」を設定し、「キャプチャ開始」をクリックします。

4.14.5 ログの照会

デバイスログを検索して表示できます。

「メンテナンスとセキュリティ」→「メンテナンス」→「セキュリティ監査ログ」に移動します。

ログタイプのメジャーおよびマイナータイプを設定します。検索の開始時刻と終了時刻を設定し、「**検索**」をクリックします。

結果が以下に表示されます。これには、番号、時刻、メジャータイプ、マイナータイプ、チャンネル番号、ローカル/リモートユーザー情報、リモートホストのIPなどが含まれます。

4.14.6 セキュリティ管理

PC Web にログインする際のセキュリティレベルを設定します。

「システムとメンテナンス」→「セーフ」→「セキュリティサービス」に移動します。

セキュリティモード

ログイン時およびユーザー情報の確認において、高いセキュリティレベルを確保しています。

互換モード

従来のユーザー認証方式に対応しています。

「**保存**」をクリックします。

第5章 ローカル操作

5.1 クイック操作

デバイスのアクティベーション後、ウィザードページが表示されます。

手順

1. 言語を選択し、「次へ」をタップします。

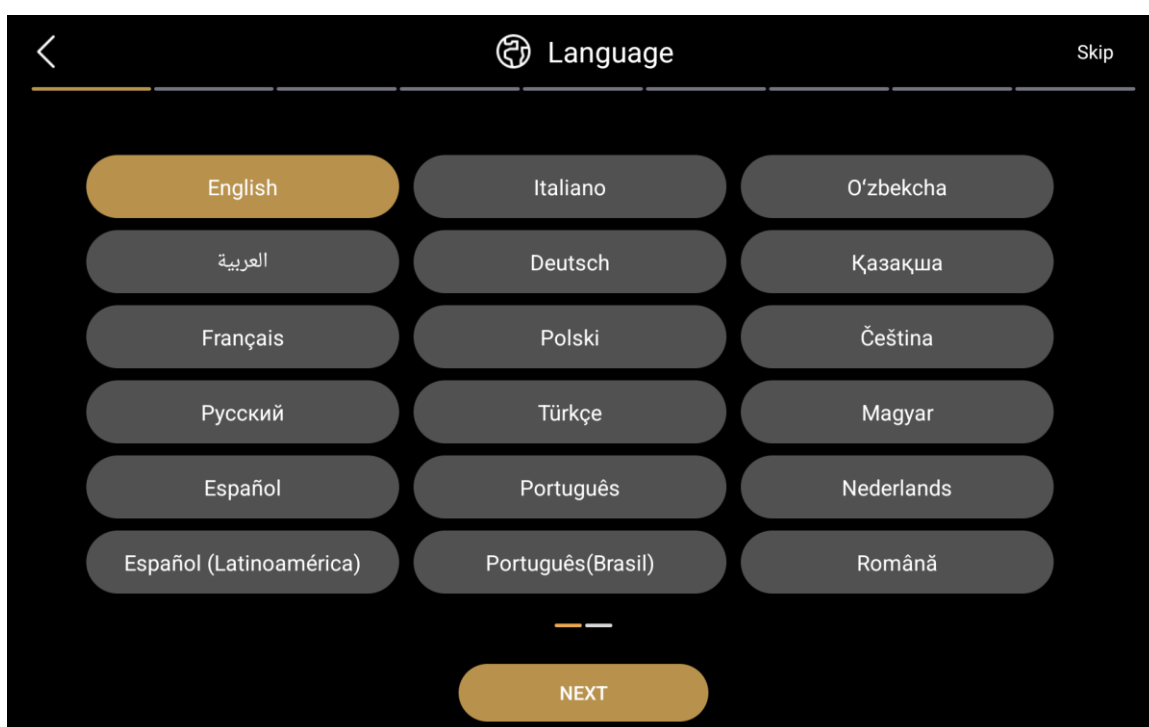


図 5-1 言語設定



注

言語オプションは 2 ページあります。左右にスライドしてページを切り替えてください。

2. ロック画面のパターン/パスワードを設定し、「次へ」をタップします。

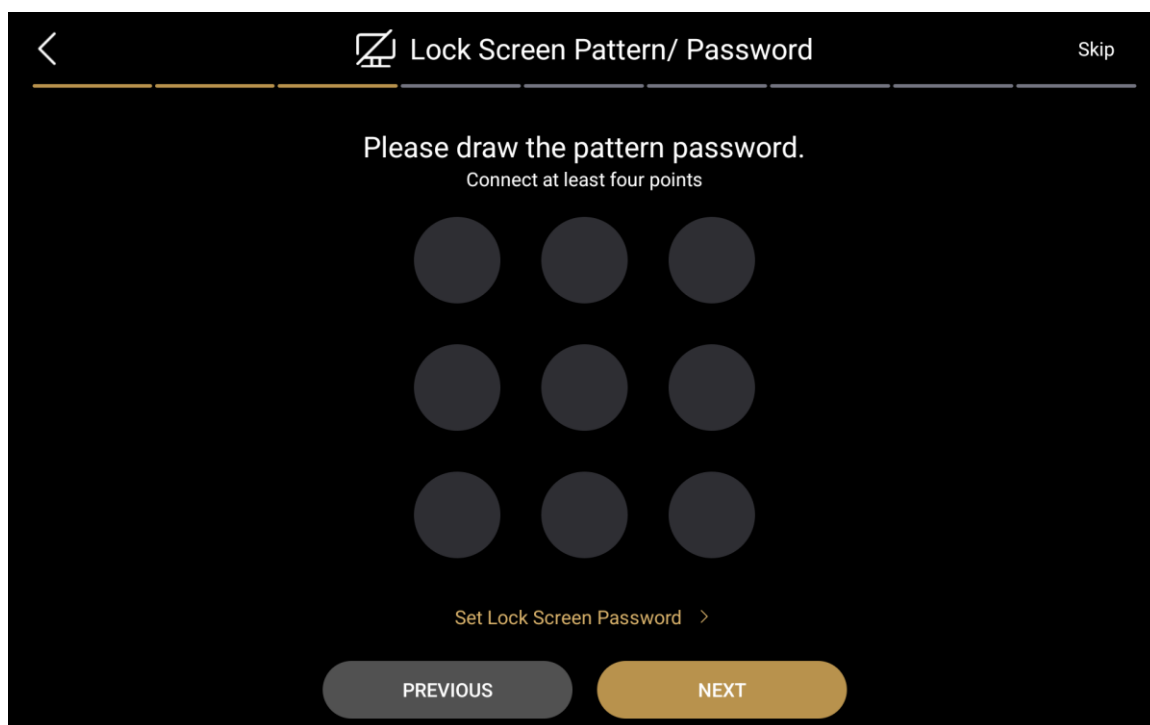


図5-2 ロック画面のパターン／パスワード

- ロック画面のパターン：画面上にパターンパスワードを描いてください。少なくとも4つの点を結ぶ必要があります。
- ロック画面のパスワード：6桁のパスワードを入力します。



お使いのデバイスにカメラが搭載されており、顔認証に対応している場合、ロック画面のパターン/パスワードの設定が完了すると、自動的に顔登録ページに移動します。

白い枠が顔登録エリアを示しています。「」をタップして顔を登録してください。

終了する場合は、「」をタップして終了し、ロック画面のパターン／パスワード設定画面に戻ることができます。

3. ネットワークパラメータを設定し、「次へ」をタップします。

- 手動で編集します。**IP アドレス**、**サブネットマスク**、**ゲートウェイ**を手動で設定します。
- **DHCP** を有効にすると、デバイスはネットワークパラメータを自動的に取得します。

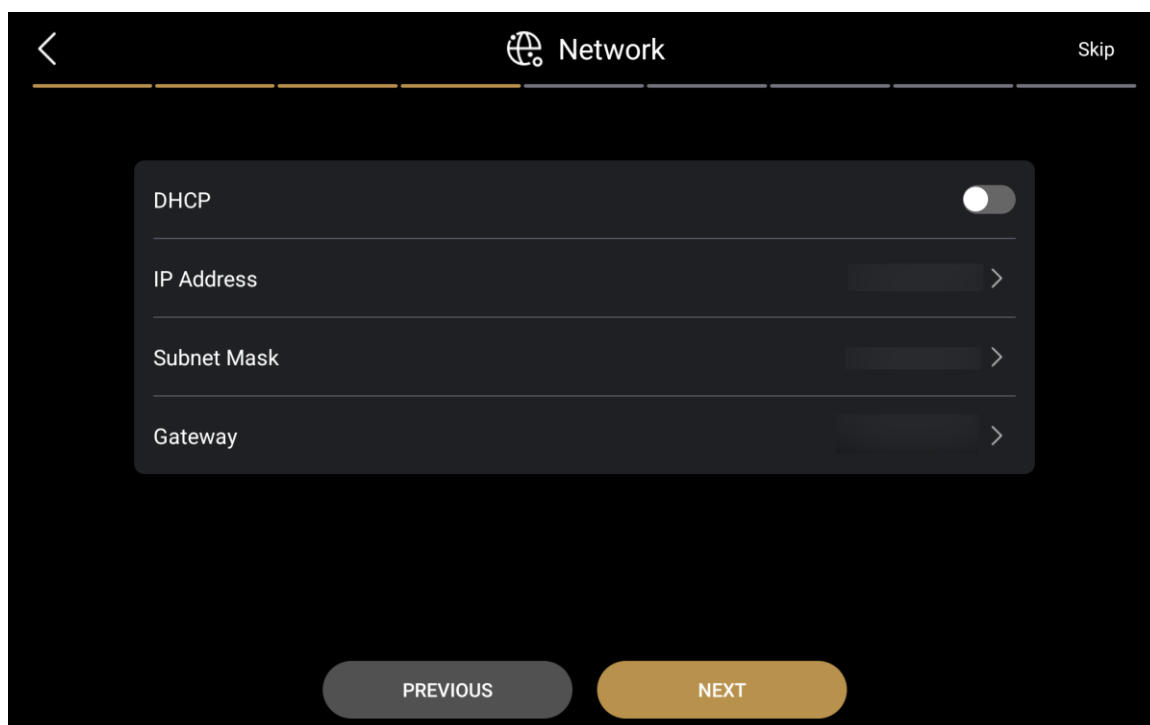


図 5-3 ネットワークパラメータ

4. 屋内ステーションを設定します。

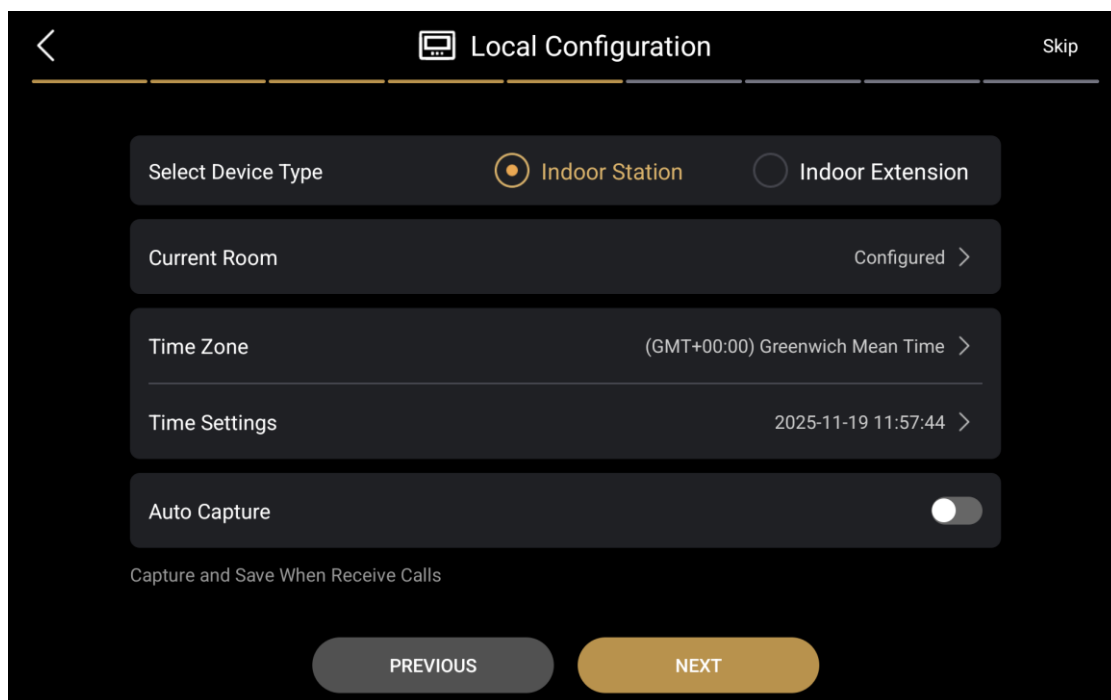
- 1) 「デバイス タイプ」で「屋内ステーション」または「屋内内線」を選択します。
- 2) 部屋番号を設定します。



注

「屋内内線」を選択した場合は、内線番号の設定のみが必要です。

- 3) 詳細設定を行います。「コミュニティ番号」、「建物番号」、「階数」、「ユニット番号」を設定してください。
- 4) タイムゾーン、日時を設定します
- 5) 必要に応じて「キャプチャ」を有効にするスライドをオンにします。有効にすると、着信時にデバイスが記録をキャプチャして保存します。
- 6) 「次へ」をタップします。



5. **WLAN** を有効にし、リストからリンクする Wi-Fi を選択します。

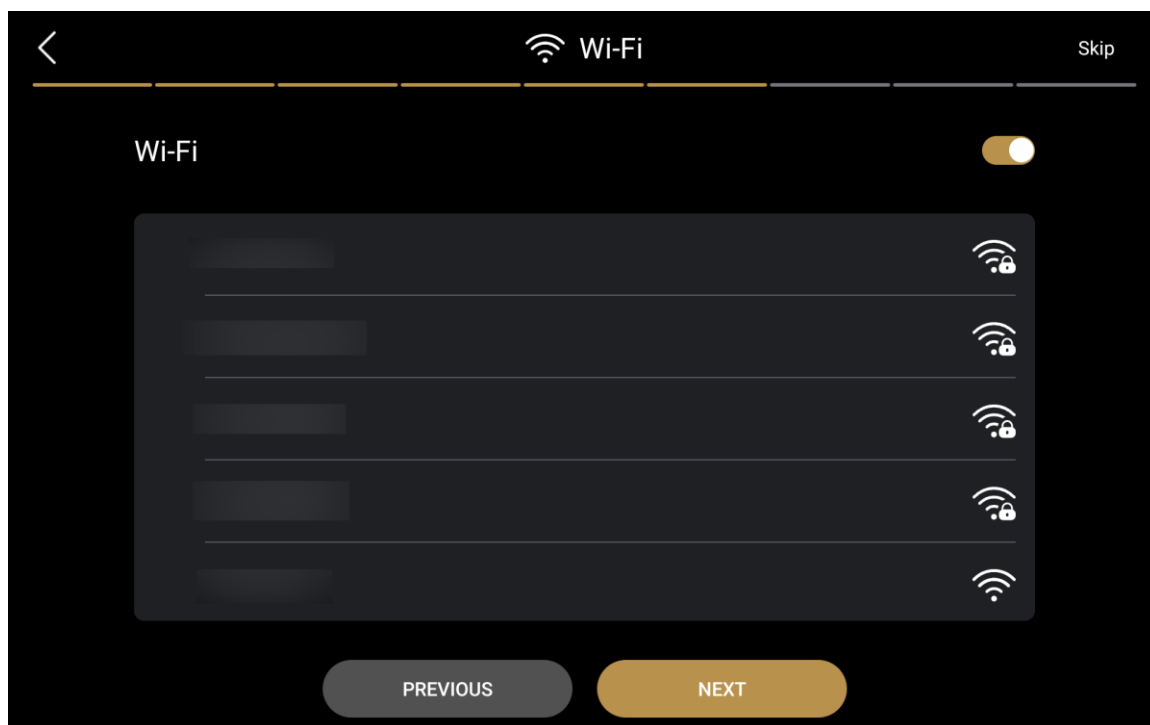


図 5-5 Wi-Fi

6. 関連する機器をリンクし、「次へ」をタップします。リンクしたい機器が本機と同じLAN内にある場合、リストに表示されます。リストから機器をタップするか、シリアル番号を入力してリンクしてください。「ドアステーションの自動検索」はデフォルトで有効になっています。

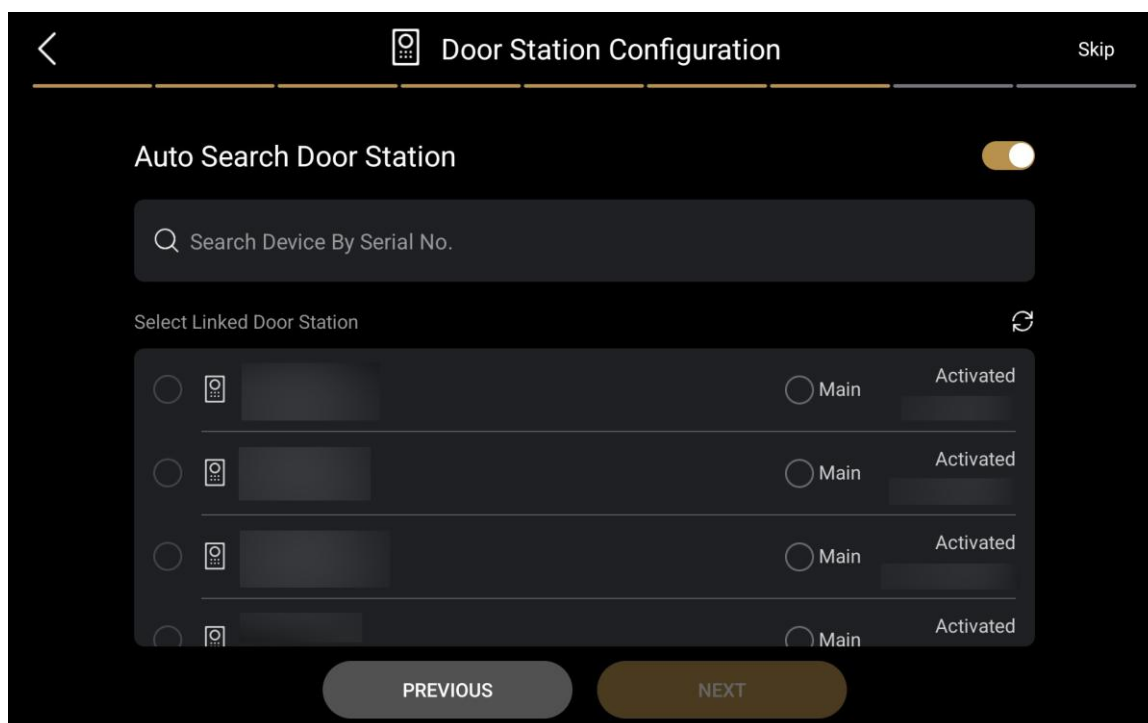


図5-6 関連デバイス

- 1) リスト内のドアステーションをタップしてリンクします。
- 2) 「次へ」をタップします。

7. オプション：「屋内拡張機とリンク」を有効にして、関連する屋内拡張機をリンクします。「次へ」をタップします。 屋内拡張機と屋内ステーションが同じ LAN 内にある場合、そのデバイスがリストに表示されます。デバイスをタップするか、シリアル番号を入力してリンクします。

- 1) リスト内の屋内拡張機をタップしてリンクします。
- 2) 屋内拡張機のネットワークパラメータを手動で編集します。

8. Hik-Connect サービスの設定を行います。

- 1) Hik-Connect サービスを有効にします。
- 2) 認証コードを入力します。
- 3) Hik-Connectサーバーの状態を確認します。
- 4) 最初のQRコードをスキャンして、**Hik-Connect**アプリをダウンロードします。2番目のQRコードをスキャンして、アプリにデバイスを追加します。アプリにデバイスを追加すると、リモートでデバイスの設定を行うことができます。

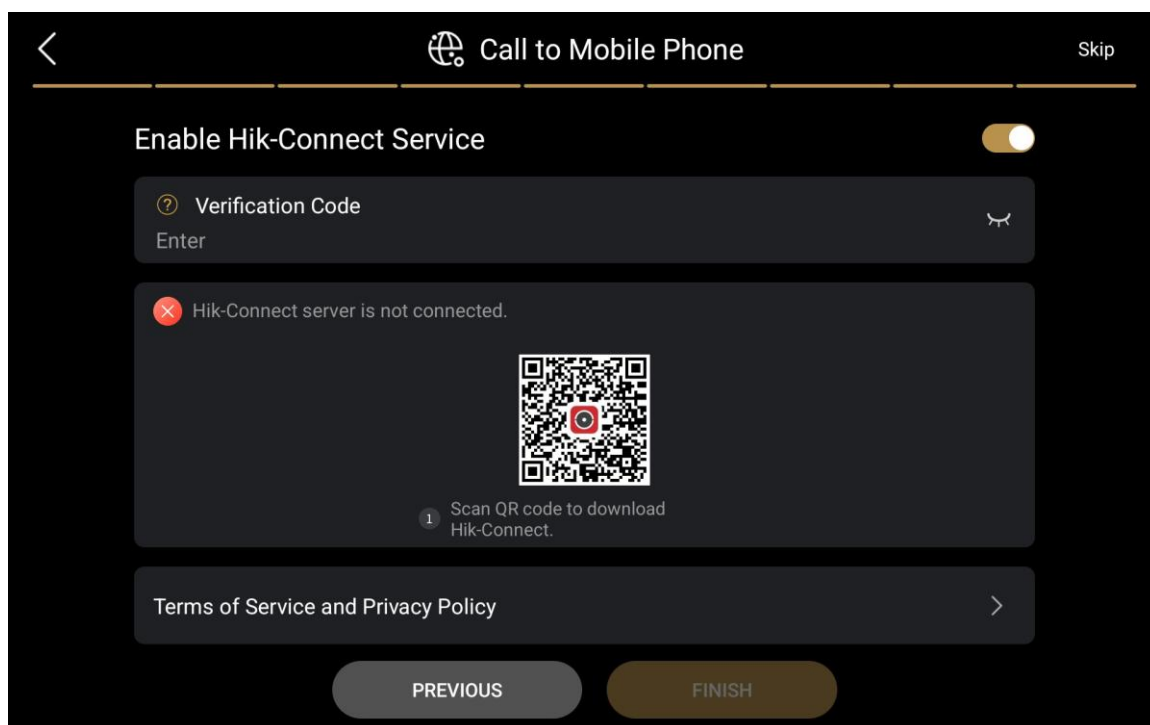


図 5-7 クラウドサービスの設定

9. ペアリング中はしばらくお待ちください。成功すると、ペアリングプロセスが完了した後、画面に「設定済み」という通知が表示されます。



注
後でパラメータを変更したい場合は、「設定」→「詳細設定」→「設定ウィザード」をタップして、上記のページにアクセスすることもできます。

5.2 基本設定

ここでは、日時や言語の設定、パターンの変更、コントロールセンターへの項目の追加を行うことができます。



「」の「設定」→「一般設定」をタップして、このページにアクセスしてください。

日時

表示される日時形式や現在の時刻を設定できます。「時刻を同期」をタップしてNTPを有効にすると、デバイスの時刻を同期させることができます。



注

- お使いのデバイスがネットワークに接続されていることを確認してください。接続されていない場合、NTP機能は利用できません。
- 詳細については、「[時刻の同期](#)」を参照してください。

言語の選択

「言語」をタップして、システムの言語を変更します。



注

屋内ステーションは 36 言語に対応しています。

パターン設定

必要に応じて、スライドしてジェスチャーナビゲーションまたは3ボタンナビゲーションを有効にできます。

- **ジェスチャーナビゲーション**

画面の下から上にスワイプすると、ホーム画面に戻ります。画面の左端または右端から反対側へスワイプすると、前のページに戻ります。

- **3ボタンナビゲーション**

画面下部のボタンを使用して、前のページやホーム画面に戻ったり、アプリを切り替えたりできます。

サードパーティ製アプリの横向きモード

この機能を有効または無効に切り替えることができます。この機能により、サードパーティ製アプリを端末で横向きモードで実行できるようになり、アプリの互換性とユーザー体験が向上します。

コントロールセンター

画面の右上隅から下に向かってスワイプすると、コントロールセンターが開きます。

「+」をタップすると、コントロールセンターに新しいショートカット（エレベーター呼び出し、緊急アラーム、コールセンター）を追加できます。

TFカード

TFカードをタップして、TFカードを表示またはフォーマットします。

TF カードが挿入されていない場合、システムは「TF カードを挿入してください」と表示して通知します。

5.3 Wi-Fi の設定

Wi-Fi 接続を設定します。

「設定」→「**Wi-Fi設定**」をタップします。**Wi-Fi**を有効にすると、屋内ステーションが利用可能なWi-Fiを自動的に検索します。



注

Wi-FiのIPアドレスは変更可能です。

Wi-Fi を選択して接続します。

5.4 ビデオインターホン設定

通話設定、ライブビュー設定、およびブロックリストのパラメータを編集できます。

始める前に

デバイスを起動します。詳細については、「[デバイスの起動](#)」を参照してください。

手順

1. デバイスのメイン画面で、**[設定]** → **[ビデオインターホン]** をタップします。
2. 通話設定のパラメータを編集するには、「**通話設定**」をタップします。また、メインページで「**ビデオインターホン**」をタップし、次に「**通話設定**」をタップしてこのページにアクセスすることもできます。

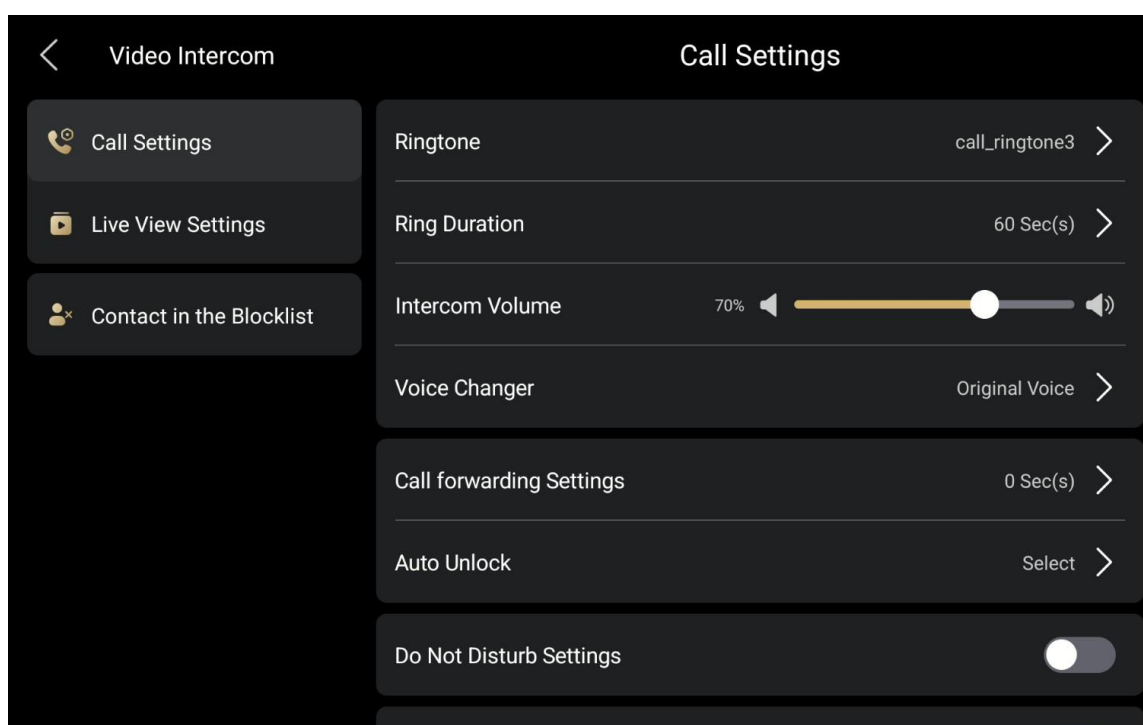


図5-8 通話設定

着信音

デフォルトでは3種類の着信音が用意されています。

着信音の長さ：着信に 응답されない場合の、室内機の最大着信音の長さです。着信音の長さは 30 秒から 60 秒の範囲で設定できます。

インターホンの音量

バーをドラッグして、インターホンの音量を調整します。

ボイスチェンジャー

この機能はデフォルトで有効になっています。話す際に声を変えることができます。「オリジナルボイス」はご自身の声で、「おじさんボイス」と「ピエロボイス」は選択可能な2つのボイスチェンジャーです。



声の種類ごとにアイコンが異なります。そのため、通話/ライブ画面のアイコンは、選択した声の種類に応じて変わります。

通話転送設定

この機能はデフォルトで有効になっています。**転送時間**を設定できます。転送時間は0秒から20秒の間で設定可能です。

設定された時間を過ぎると、通話は設定された端末に転送されます。

通話時の自動ドア解錠

「設定」→「ビデオインターホン」→「通話設定」→「自動解錠」をタップします。その後、自動解錠を行うロックを選択できます。

「OK」をタップして設定を保存します。



有効にすると、ドアステーションが本機に呼び出しを行った際に、ドアステーションのロックが自動的に解除されます。

その他の設定

「サイレントモード」および「自動応答」機能を設定できます。

メッセージ

スライドして「メッセージ」を有効にしてください。その後、「メッセージの保存期間」を設定できます。

この端末に保存されたメッセージは、設定された時間を過ぎると自動的に削除されます。

自動応答

「自動応答」を有効にします。有効にすると、ドアステーション/ヴァイラドアステーションからの着信に、屋内ステーションが自動的に応答します。ドアステーション/ヴァイラドアステーションからの発信者は、音声メッセージを残すことができます。メッセージが残されると、デバイスのメインページの「メッセージ」から確認できます。



自動応答を有効にする前に、「メッセージ」機能を有効にする必要があります。

着信拒否（デバイス）

「すべて選択」を選択すると、すべての端末がこの端末を通知対象から除外します。「屋内ステーション」を選択すると、すべての屋内ステーションがこの端末を通知対象から除外します。



この機能は、他の部屋にある室内機のみをブロックするのに役立ちます。同じ部屋内では、室内機と内線機をブロックすることはできません。

終日通知をオフにする

スライドして有効にすると、このデバイスは一日中通知を受けません。

自動撮影

スライドしてこの機能を有効または無効にします。有効にすると、着信時にデバイスが自動的に写真を撮影します。

「**撮影した写真の保存期間**」も設定できます。



保存期間は1日、7日、または30日に設定できます。
このデバイスに保存された撮影画像は、設定された時間を過ぎると自動的に削除されます。



Indoor Extension は、呼び出し音の長さの設定や転送設定には対応していません。

3. ライブビュー設定のパラメータを編集するには、「**ライブビュー設定**」をタップします。

- 1) 「**ライブビューの継続時間**」をタップして時間を編集します。
- 2) 「**OK**」をタップして設定を保存します。



10～1800の数字を入力できます

4. ブロックリスト内の連絡先を編集するには、**ブロックリスト内の「連絡先」**をタップしてくだ

さい。**ブロックリスト**

スライドして**ブロックリスト**を有効にできます。

有効にすると、ブロックリストに登録された連絡先は、この端末に電話をかけることができなくなります。

ブロックする連絡先を追加するには、右上隅の「**+**」をタップします。その後、「**連絡先から追加**」または「**新しいブロック連絡先を追加**」から選択できます。



「**新しいブロック対象の連絡先を追加**」を選択した場合は、新しいブロック対象の連絡先の名前と電話番号を手動で入力する必要があります。

実際のニーズに応じて、「**VoIP連絡先として追加**」をタップすることもできます。



屋内内線番号では、着信音の長さの設定や転送設定はサポートされていません。

5.5 デバイス情報

バージョン、モデル、シリアル番号、オープンソースの免責事項など、デバイス情報を表示します。

手順

1. 「**設定**」→「**デバイス情報**」をタップして、「デバイス情報」ページを表示します。
2. 端末名、モデル、シリアル番号、LAN IPを確認します。

5.6 ロック画面の背景をカスタマイズ

デバイスのロック画面の背景をカスタマイズできます。

手順

1. 「設定」→「カスタマイズ」をタップして、このページに入ります。

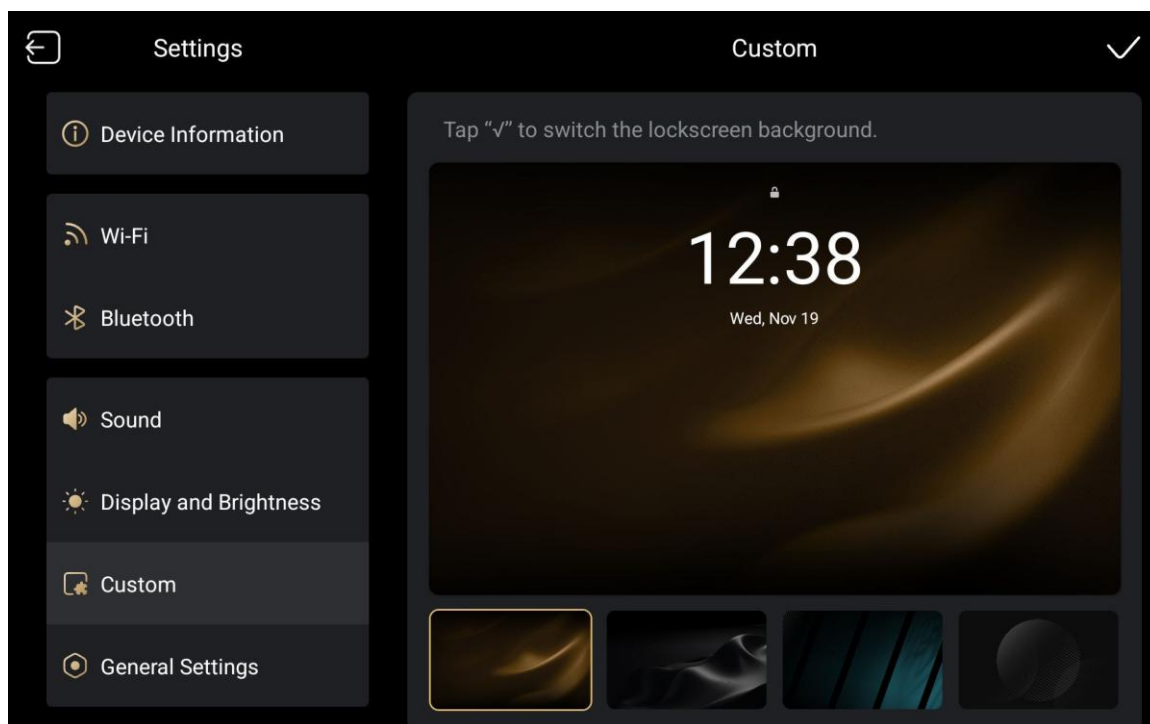


図 5-9 ロック画面の背景をカスタマイズ

2. ロック画面の背景として設定したい画像を選択します。
3. ✓ をタップして、ロック画面の背景を切り替えます。

5.7 時刻の同期

はじめに

デバイスの電源を入れます。詳細については、「[デバイスの電源を入れる](#)」を参照してください。

手順

1. デバイスのメイン画面で、「設定」→「一般設定」→「日時」をタップし、時刻設定画面を開きます。
2. システム時刻を同期します。
 - タイムゾーン、時刻形式を設定し、日付と時刻を手動で設定します。
 - 「時刻を同期」をタップして NTP を有効にします。
同期間隔を設定し、NTP サーバーの IP アドレス/ドメイン名とポート番号を入力して、タイムゾーンを選択します。



同期間隔のデフォルト単位は分です。

5.8 サウンド設定

着信音、音量、自動応答を設定します。

5.8.1 音量設定

マイクの音量、案内音の音量、通話音量を設定し、タッチ音を有効にします。

手順

1. 「設定」→「サウンド」をタップして、音量設定ページを開きます。
2. スライダーをドラッグして、「メディアの音量」、「通話および通知の音量」を調整します。
3. スライドして**タッチスクリーン音量**を有効にすることもできます。



有効にすると、キー音が聞こえます。

4. **サウンドテスト**を実行するには、「**サウンドテスト**」をタップし、テストしたいデバイス（マイクまたはスピーカー）を選択します。
5. 「**OK**」をタップします。その後、プロンプトが表示されます。画面の指示に従ってください。音が出ているか確認するために、何か一言話してみてください。

5.9 Bluetoothの設定

「設定」→「Bluetooth」をタップしてページを開きます。スライダーをスライドさせて**Bluetooth**を有効にします。



設定でBluetoothを有効にすると、デバイスは「9シリーズ シナリオコントロールパネル」として表示されます。

ペアリングするには、リストから**Bluetoothデバイス**を選択してください。

お使いのデバイスを他のスマートホームデバイスと接続できます。

5.10 詳細設定

5.10.1 パスワード設定

セキュリティ設定

管理者パスワードを忘れた場合は、登録済みのメールアドレスまたはセキュリティの質問を通じてパスワードを変更できます。

手順

1. 「設定」→「詳細設定」をタップし、管理者（アクティベーション）パスワードを入力します。次に「パスワード」をタップして設定ページを開きます。

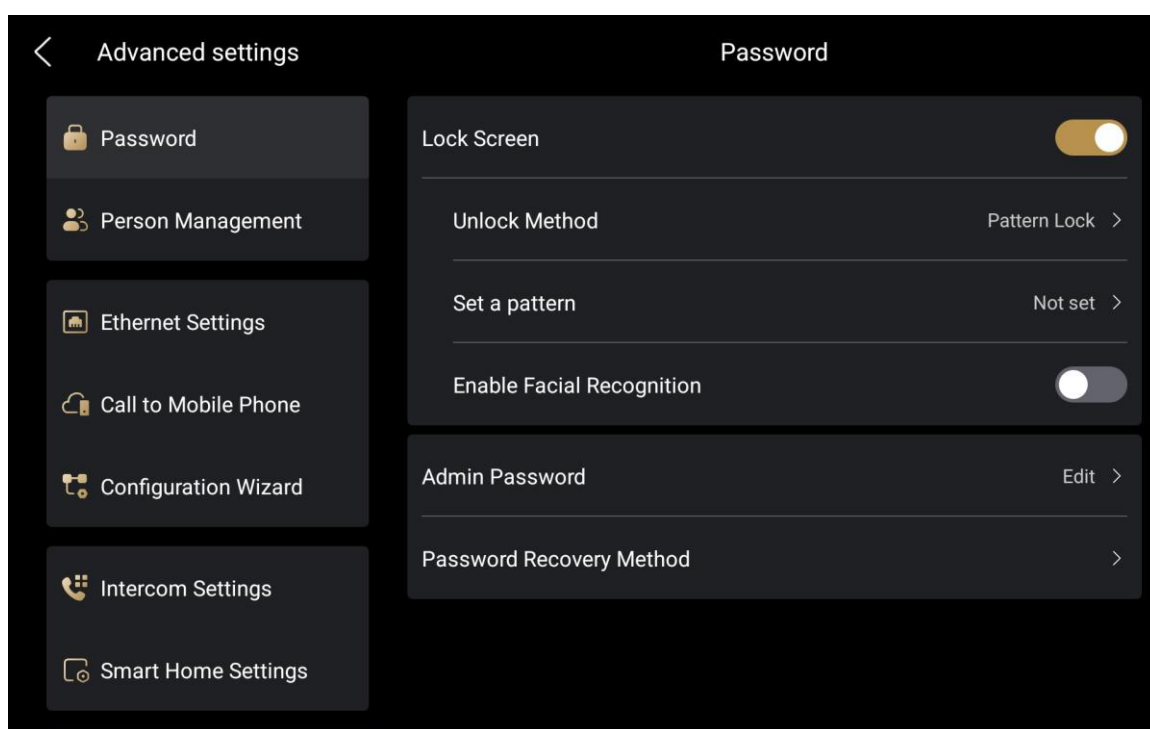


図 5-10 パスワード

2. 「パスワードの復旧方法」をタップします。「メールによるパスワードのリセット」または「セキュリティの質問」を選択できます。
3. 「セキュリティの質問」をタップします。質問を選択し、回答を入力します。
4. 設定が完了すると、登録済みのメールアドレスまたは質問への回答を通じてパスワードをリセットできるようになります。

ロック画面

セキュリティ対策として、画面をロックするためのパスワードを設定できます。次回、デバイスを起動またはスリープ状態から復帰させる際には、画面のロックを解除するためにパスワードを入力する必要があります。

手順

1. 「設定」→「詳細設定」→「パスワード」をタップして、設定画面を開きます。

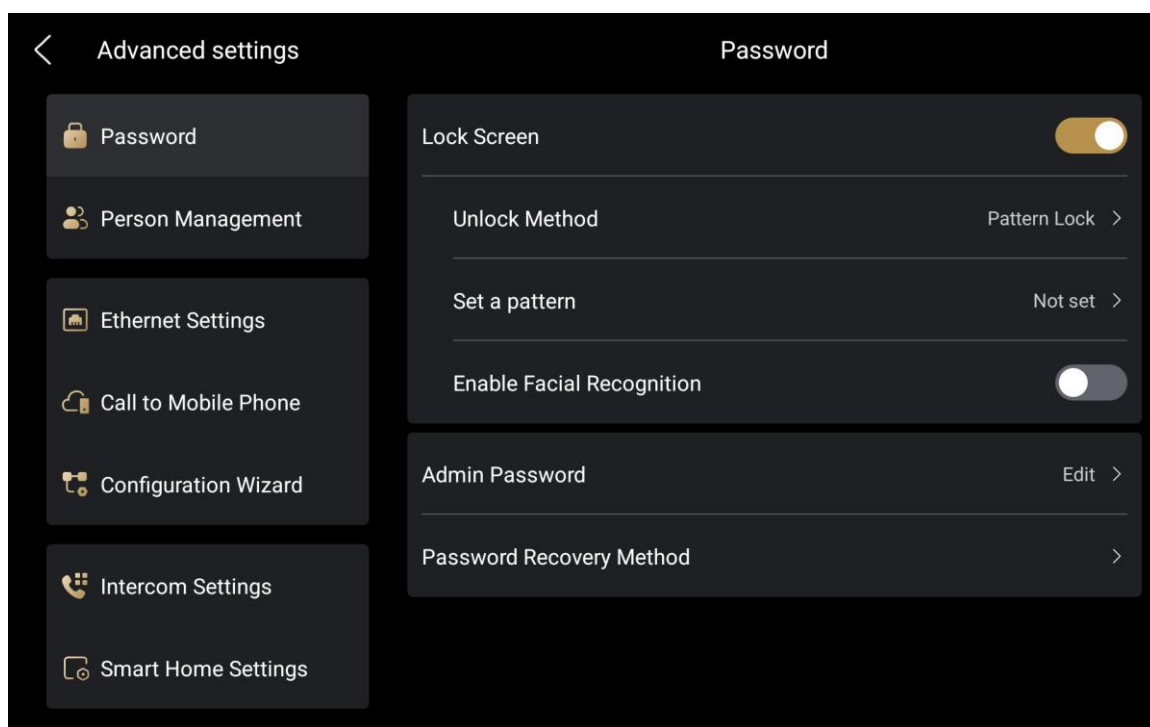


図 5-11 画面ロック

2. 「ロック解除方法」で「パターンロック」または「パスワード」を選択します。

- 1) 「パターンロック」を選択した場合は、画面ロック解除のパスワードとしてパターンを描画する必要があります。パターンロックを完了するには、少なくとも4つの点を結ぶ必要があります。
- 2) 「パスワード」を選択した場合は、画面ロック解除用のパスワードを入力する必要があります。



パスワードを変更したい場合は、をタップし、まず現在のパスワードを入力してから、新しいパスワードを入力してください。

3. ロック画面のパスワードを設定したくない場合は、スライドして「ロック画面」を無効にしてください。その後、をタップして画面を起動できます。

5.10.2 ユーザー管理

この機能は一部のモデルでのみ対応しています。お使いの端末をご確認ください。カメラを搭載しているモデルでは、顔の追加・削除が可能です。

「設定」→「詳細設定」→「人物管理」をクリックして、このページにアクセスしてください。

人物の追加

右側の「+」をクリックし、「設定してください」> をクリックして顔を登録します。

白い枠が顔認識エリアを示しています。「」をクリックして撮影してください。



撮影中は、画面がちらつき、効果音が鳴ります。その後、写真のプレビュー画面に移行します。

終了したい場合は、ここをクリックしてください  をクリックしてください。

相手の名前を入力し、「保存」をクリックして追加を完了してください。



追加された人員はリストに表示されます。

収集にかかる時間は最大15秒です。この制限時間を超えると、警告メッセージが表示されます。最大50人の顔を追加できます。

人物の削除

追加した人物を削除したい場合は、削除したい人物をタップし、「」をクリックしてから、「Delete」をクリックしてその人物を削除してください。

追加した人をすべて削除したい場合は、「Person Management」ページの右上にある「」をクリックし、次に「Delete」をクリックしてください。



人物の名前が設定されていない場合、右上隅の「削除」および「確認」アイコンはグレー表示になり、その人物を削除することはできません。

5.10.3 屋内ステーションのネットワークパラメータを設定する

屋内ステーションを使用するには、ネットワーク接続が必須です。屋内ステーションを起動した後、ネットワーク設定を行ってください。屋内ステーションのIPアドレスが他のデバイスと同じネットワークセグメントにある場合にのみ、同一システム内で正常に動作します。

開始する前に

デバイスを起動してください。詳細については、「[デバイスの起動](#)」を参照してください。

手順



屋内ステーションのデフォルトのIPアドレスは192.0.0.64です。

IPアドレスを設定するには、DHCPと手動設定の2つの方法があります。

1. デバイスのメイン画面で、「設定」→「詳細設定」→「イーサネット設定」をタップして、ネットワーク設定ページを開きます。



詳細設定ページに入るには、管理者パスワードが必要です。

2. デバイスモデルによって、設定が異なる場合があります。お使いのデバイスがデュアルポートデバイスである場合、LAN2はデフォルトでは非表示になっています。「その他のオプション」をタップして、LAN 2を表示させる必要があります。

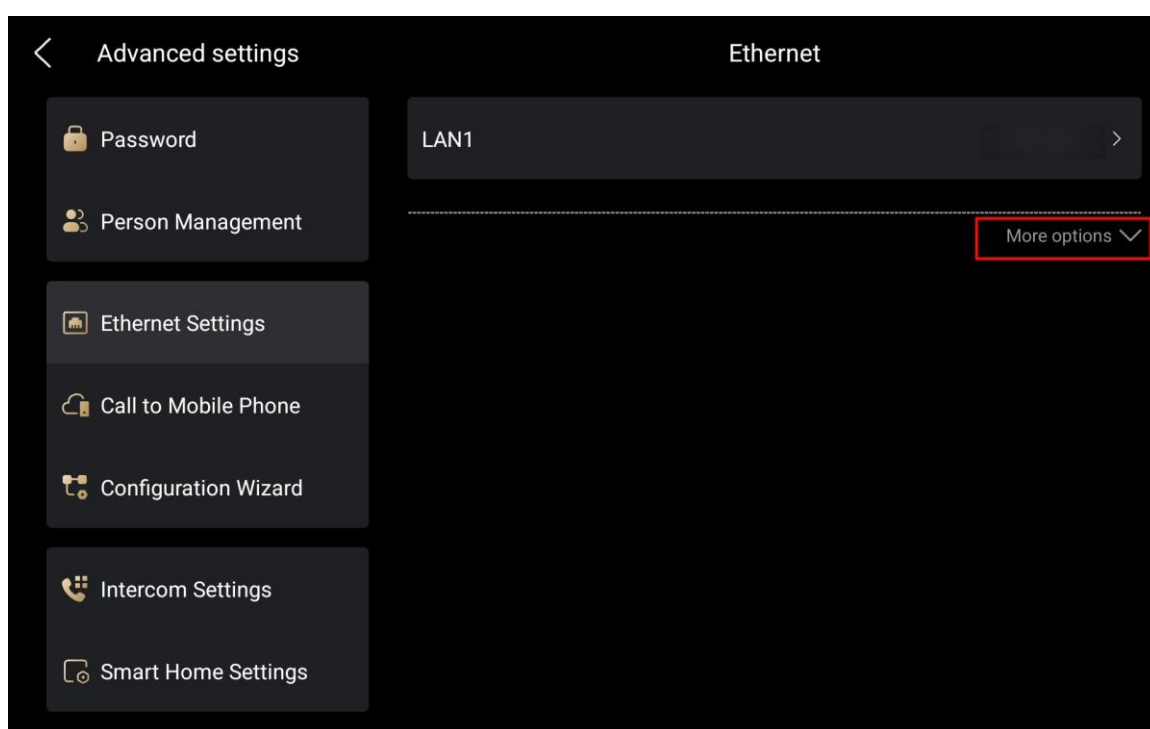


図 5-13 デュアルポート

3. DHCPを有効にすると、屋内ステーションが自動的にIPアドレスを検索して取得できるようになります。



DHCPを有効にしている場合は、以下の手順をスキップしてください。

4. ローカル IP、サブネットマスク、およびゲートウェイを手動で設定します。
5. 必要に応じて DNS アドレスを設定してください。

5.10.4 携帯電話への発信

Platform Access では、プラットフォームを介してデバイスを管理するオプションが提供されます。

手順

1. 「設定」→「詳細設定」→「携帯電話への通話」の順にタップして、設定ページを開きます。
2. スライダーをスライドさせて「クラウドサービス」を有効にします。

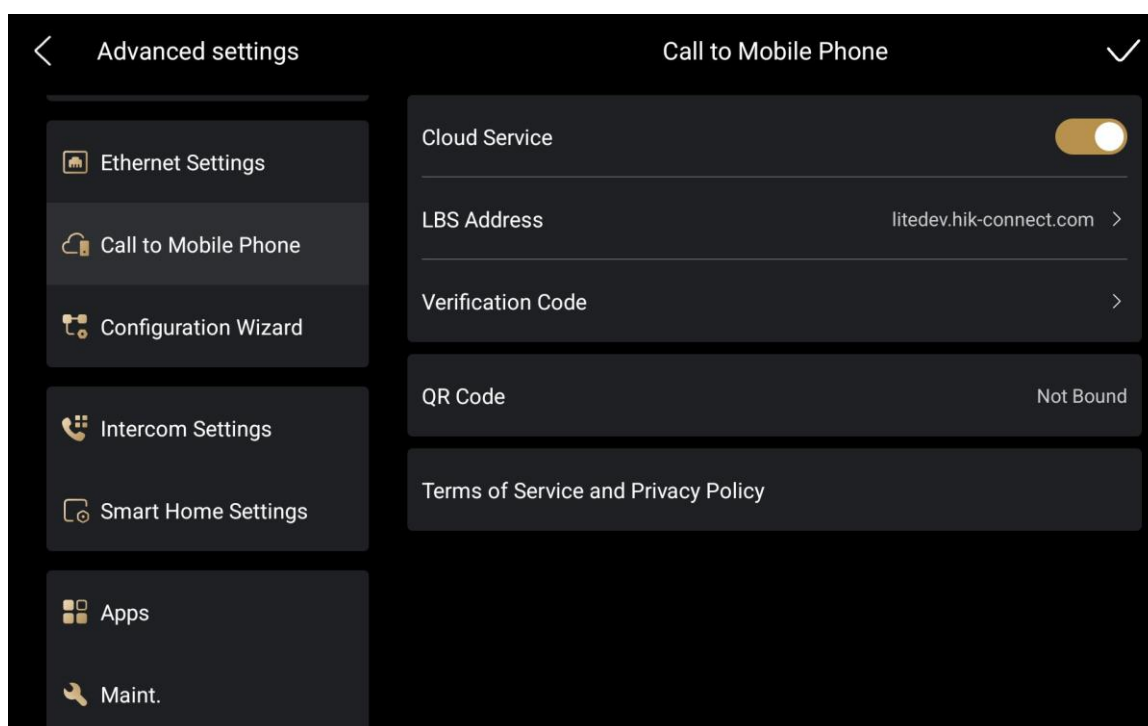


図 5-14 クラウドサービス

3. 認証コードを入力します。
4. QR コードをスキャンしてアカウントを紐付けます。



8～32 文字（a～z、A～Z）または数字（0～9）。大文字と小文字が区別されます。8 文字以上の英数字を組み合わせることをお勧めします。

5. 「保存」をクリックして設定を有効にしてください。

5.10.5 アプリ設定

本デバイスは、**Hik-Connect**への登録およびクライアントを介したリモート設定に対応しています。

モバイルクライアントへのリンク

プラットフォームアクセスでは、プラットフォーム経由でデバイスを管理するオプションが提供されます。

手順

1. **[設定]** → **[詳細設定]** → **[携帯電話への発信]** をタップして、設定ページに入ります。
2. スライドして「クラウドサービス」を有効にします。

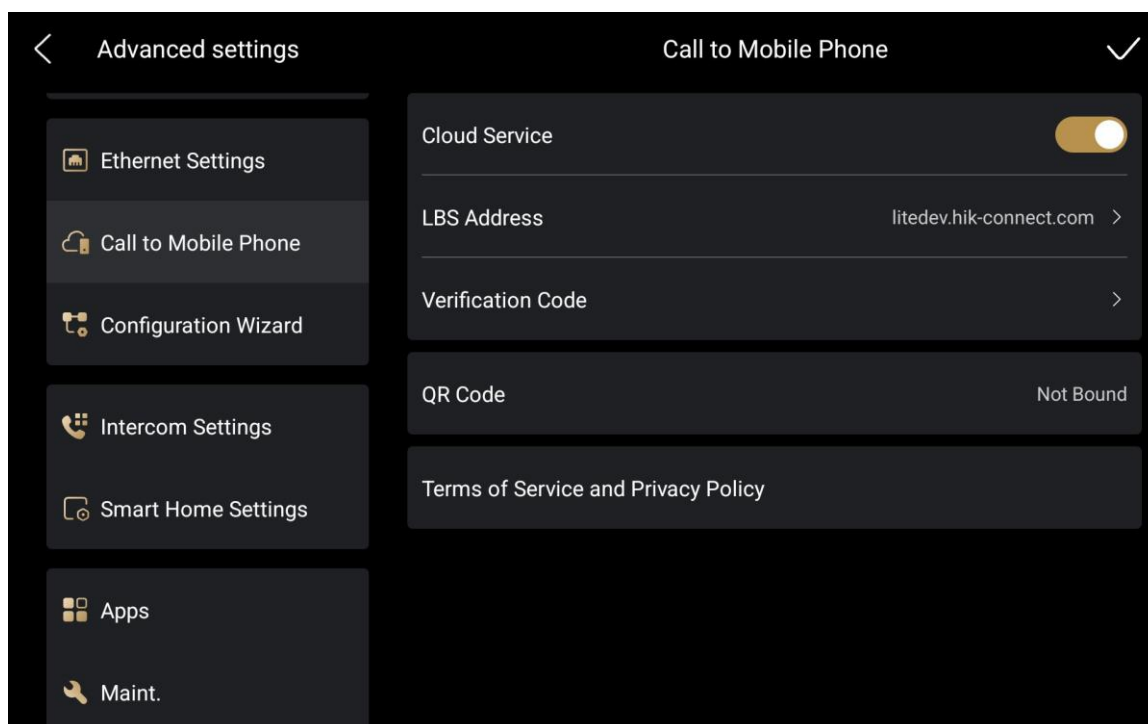


図 5-15 クラウドサービス

3. 確認コードを入力します。
4. 「保存」をクリックして設定を有効にします。
5. （任意）：画面上のQRコードをスキャンして、モバイルクライアントにデバイスを追加します。

アカウントのリンクを解除する

モバイルクライアントからアカウントを削除します。

手順

1. **[設定]** → **[詳細設定]** → **[携帯電話への通話]** をタップします。



詳細設定ページにアクセスするには、管理者（アクティベーション）パスワードの入力が必要です

2. 「アプリアカウントのリンク解除」をタップし、画面の手順に従ってください。

5.10.6 インターコム設定

リンクされたデバイスのIPを設定

「リンクされたネットワークパラメータ」とは、屋内機がリンクされているデバイス（ドアステーション、ドアフォン、メインステーション、センターなど）のネットワークパラメータを指します。「屋内機のリンク先デバイス」とは、ドアステーション、センター、メインステーション、およびドアフォンを指します。

開始する前に

デバイスを起動してください。詳細については、「[デバイスの起動](#)」を参照してください。

手順



ここでは、ドアステーションのネットワーク設定を例に説明します。

1. デバイスのメインページで、「設定」→「詳細設定」→「インターホン設定」→「デバイス設定」をタップし、デバイス管理ページに入ります。



詳細設定ページに入るには、管理者パスワードが必要です。

2. デバイスを「屋内ステーション」または「屋内エクステンション」として選択します。

3. 「メインドアステーション」をタップして、デバイス情報ダイアログを表示します。

屋内ステーション経由でドアステーションを復元します。

「」をタップして、ドアステーションのパラメータを復元します。

リンクされたドアステーションのIPアドレスを変更します。

「」をタップして、ドアステーションの IP アドレスを変更します。

4. リンクするデバイスを選択します。ネットワークパラメータを編集します。
5. 「メインドアホン」、「センター」、「屋内内線」、または「プライベートSIPサーバーのIP」をタップして、関連情報を設定できます。
6. また、「ドアロック表示設定」をタップして、メインページにどのロックを表示するかを設定することもできます。

ドアロックの表示設定

表示されるロックの数を設定できます。

手順

1. デバイスのメインページで、「設定」→「詳細設定」→「インターホン設定」→「デバイス設定」をタップして、デバイス管理ページに入ります。
2. ページの一番下までスワイプすると、「ドアロックの表示設定」が表示されます。

3. 「通話ページ」または「プレビューページ」にロックを表示するか、また表示するロックの数を切り替えて選択してください。



- ページには、ドアロックを1つ、2つ、または表示しないのいずれかを選択できます。
- 状況に応じて、メインドアステーションとサブドアステーションに異なる設定を行うことができます。
例えば、ドアステーションが警備室や外扉に設置されている場合、1つの錠のみを開錠できます。居住者の玄関や内扉に設置されている場合は、2つの錠を開錠できるようになります。また、ドアステーションがどの錠にも接続されておらず、呼び出し画面に錠を表示する機能が必要ない場合もあります。

屋内ステーション番号の設定

開始する前に

デバイスを起動してください。詳細については、「[デバイスの起動](#)」を参照してください。

屋内ステーション番号と屋内内線番号は、インターホンシステムにおいて、他の機器から屋内ステーションや屋内内線を呼び出すためにダイヤルする番号です。屋内ステーション番号は、階番号と部屋番号で構成されます。

内線番号は1から15までの数字である必要があります。1つの内線局に対して、最大15の内線番号を設定できます。

手順

1. デバイスのホーム画面で、「設定」→「詳細設定」→「インターホン設定」→「デバイス設定」をタップし、屋内ステーション番号の設定画面に入ります。



詳細設定ページに入るには、管理者パスワードが必要です。

2. 屋内機および屋内内線情報を設定します。
 - 「屋内局タイプ」で「屋内局」を選択します。「部屋情報」をタップして、「部屋名」、「コミュニティ番号」、「建物番号」、「ユニット番号」、「階数」、「部屋番号」を編集します。
 - 「屋内ステーションの種類」として「屋内内線」を選択します。「部屋情報」をタップして、部屋名と内線番号を編集します。

SIP設定

デバイスはSIPプロトコルを介して相互に通信できます。SIP登録パスワードを設定し、VIOPアカウントを設定します。

手順

1. 「設定」→「詳細設定」をタップし、管理者（アクティベーション）パスワードを入力します。
2. 「インターコム設定」→「VoIP設定」をタップします。

3. スライダーをスライドしてVoIPを有効にします。
4. SIP登録パスワードを設定します。
 - 1) 「登録パスワード」をタップします。
 - 2) 新しいSIP登録パスワードを作成し、パスワードを確認します。
 - 3) 「OK」をタップします。
5. オプション：ユーザー名、電話番号、登録ユーザー名、パスワード、ドメイン、ポート番号、有効期限などのアカウント情報を設定します。



ユーザー名には最大 32 文字まで入力できます。

5.10.7 スマートホーム

カメラの追加

開始する前に

デバイスを起動します。詳細については、「[デバイスの起動](#)」を参照してください。

手順

1. デバイスのメインページで、「設定」→「詳細設定」→「スマートホーム設定」→「デバイス管理」をタップし、デバイス管理ページに入ります。



詳細設定ページにアクセスするには、管理者パスワードが必要です。

2. 「ネットワークカメラ」をタップして、「カメラの追加」設定ページに進みます。
 - 「+」をタップし、「カメラ」を選択すると、ダイアログボックスが表示されます。
 - 「カメラ」をタップし、「+」をタップして設定ページに入ります。
3. デバイス名と IP アドレスを入力します。
4. ポート番号とチャンネル番号を入力します。
5. カメラのユーザー名とパスワードを入力します。
6. 「✓」をタップしてカメラを追加します。
7. アラームコントロールパネルやその他のスマートホームデバイスについても、追加方法は同様です。該当するデバイスタイプをタップし、右上の「+」をタップしてください。「デバイス名」、「IPアドレス」、「Hik-Connectのユーザー名」、「パスワード」などの情報を入力します。

操作パスワードの編集

開始する前に

デバイスを起動させてください。詳細については、「[デバイスの起動](#)」を参照してください。

屋内ステーションの緊急コード、ロック解除パスワード、および武装/解除パスワードを編集できます。屋内拡張ユニットの武装/解除パスワードを編集できます。

手順

1. デバイスのメイン画面で、「設定」→「詳細設定」→「スマートホーム設定」→「アクセスパスワード」をタップして、設定画面に入ります。



詳細設定ページにアクセスするには、管理者パスワードが必要です。

2. 「ロック解除パスワード」、「武装/解除パスワード」、または「緊急コード」をタップすると、パスワード設定ダイアログボックスが表示されます。

ロック解除パスワード

ドアステーションでロック解除パスワードと部屋番号を入力して、ドアを開けてください。

設定

アラームパラメータを設定する前に、セット/解除パスワードを作成してください。

武装/解除パスワードを入力して、屋内ステーションのゾーンを武装または解除します。



「設定」ページは、デフォルトでは非表示になっています。「設定」→「詳細設定」をタップして**Zone Alarm**の機能を有効にすると、アラームの設定を変更できます。

緊急コード

強盗に遭い、ドアを開けるよう強制された場合、緊急コードを入力できます。アラームが作動し、管理センターに密かに通知されます。



緊急コードとロック解除パスワードは同じにすることはできません。

3. 新しいパスワードを作成し、確認してください。
4. 「OK」をタップして設定を保存します。



屋内用拡張機能では、管理者パスワードと武装/解除パスワードのみがサポートされています。

5.11 システム設定

明るさの調整

「設定」→「ディスプレイと明るさ」をタップして設定ページを開きます。

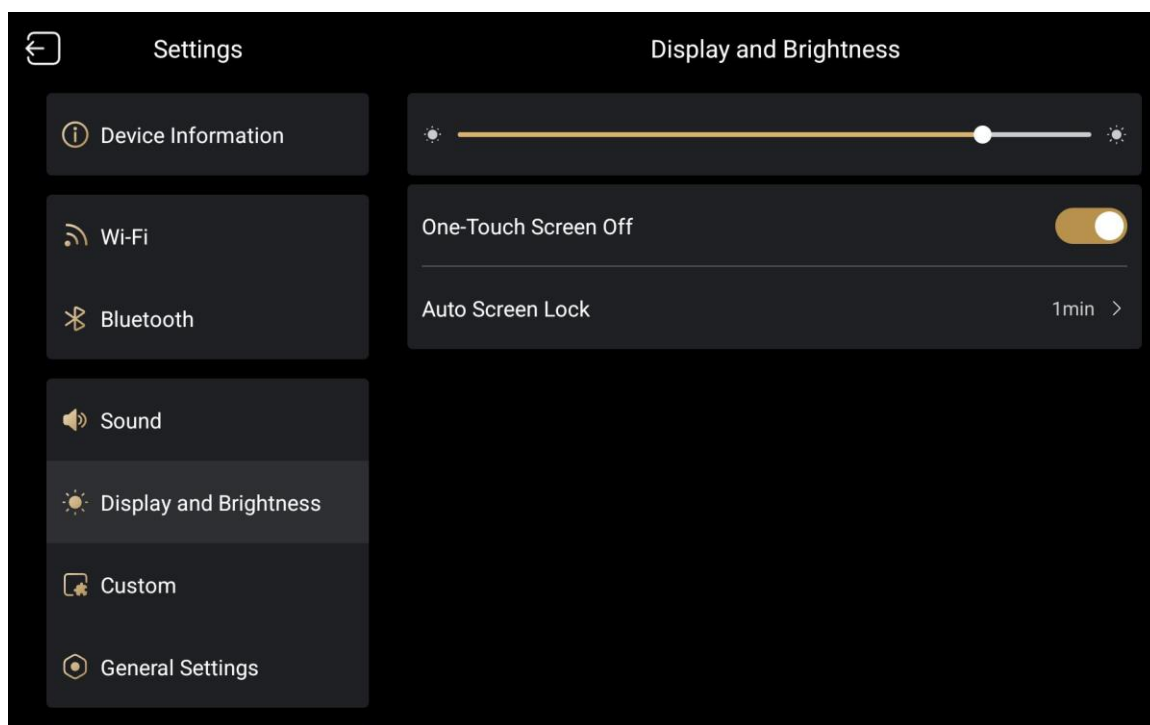


図 5-16 明るさの調整

バー上のドットをドラッグして手動で輝度を調整するか、スライダーを動かして「自動」を有効にすると、デバイスが画面の輝度を自動的に変更します。また、「ワンタッチで画面をオフにする」を有効にすることもできます。



注



有効にすると、メインページに「」が表示されます。このアイコンをタップすると、画面がオフになります。

さらに、**自動画面ロック**の時間を設定することもできます。操作がない状態で、設定した時間を過ぎると画面が自動的にロックされます。

オープンソースに関する免責事項を表示

「設定」→「詳細設定」→「メンテナンス」→「オープンソース免責事項」をタップすると、詳細情報を確認できます。



注

詳細設定ページに入るには、管理者パスワードが必要です。

デバイスの再起動

「設定」→「詳細設定」→「メンテナンス」→「バージョン情報」をタップします。

このページでは、名称、アプリのバージョン、OSのバージョン、端末モデル、シリアル番号などの詳細情報を確認できます。

このページの一番下までスクロールしてください。その後、「自動再起動」または「手動再起動」を選択できます。

デバイスの復元

「設定」→「詳細設定」→「メンテナンス」をタップします。

このページで、「工場出荷時の設定に復元」または「デフォルトのパラメータに復元」を選択できます。



工場出荷時の設定に復元：デバイスを工場出荷時の状態に完全に復元し、ユーザー定義の設定、データ、インストール済みのアプリケーションなどをすべて消去します。

デフォルト設定に戻す：ユーザーデータやシステム全体に影響を与えることなく、デバイスの特定のパラメータや設定のみをデフォルト値にリセットします。

デバイスのアップグレード

[設定] → [詳細設定] → [メンテナンス] をタップします。

このページで、「オンラインアップグレード」または「ローカルアップグレード」を選択できます。



オンラインアップグレードを使用する場合は、クラウドサービスを有効にする必要があります。ローカルアップグレードを使用する場合は、TFカードを挿入する必要があります。

アプリ

「設定」→「詳細設定」→「アプリ」をタップして設定ページを開きます。「接近時にアプリを起動する」をスライドして有効にできます。

有効にすると、近づいた際に選択したアプリが自動的に起動します。



「接近時にアプリケーションを起動」機能を利用するには、デバイスのロックが解除されており、対応するアプリが選択されている必要があります。

TFカードのインストール

「設定」→「詳細設定」→「アプリ」をタップして、設定ページに入ります。

「TFカードインストール」をタップします。その後、指示に従ってTFカードまたはUSBが挿入されているか確認してください。

詳細については、「？」をタップして、アプリのインストール方法に関する詳細情報を確認できます。

5.12 スマートホーム

5.12.1 スマートホーム - デバイス

すべてのデバイスとそのステータスを確認できます。

手順 1.

メインページで、



→ **[デバイス]** をタップしてページに入ります。

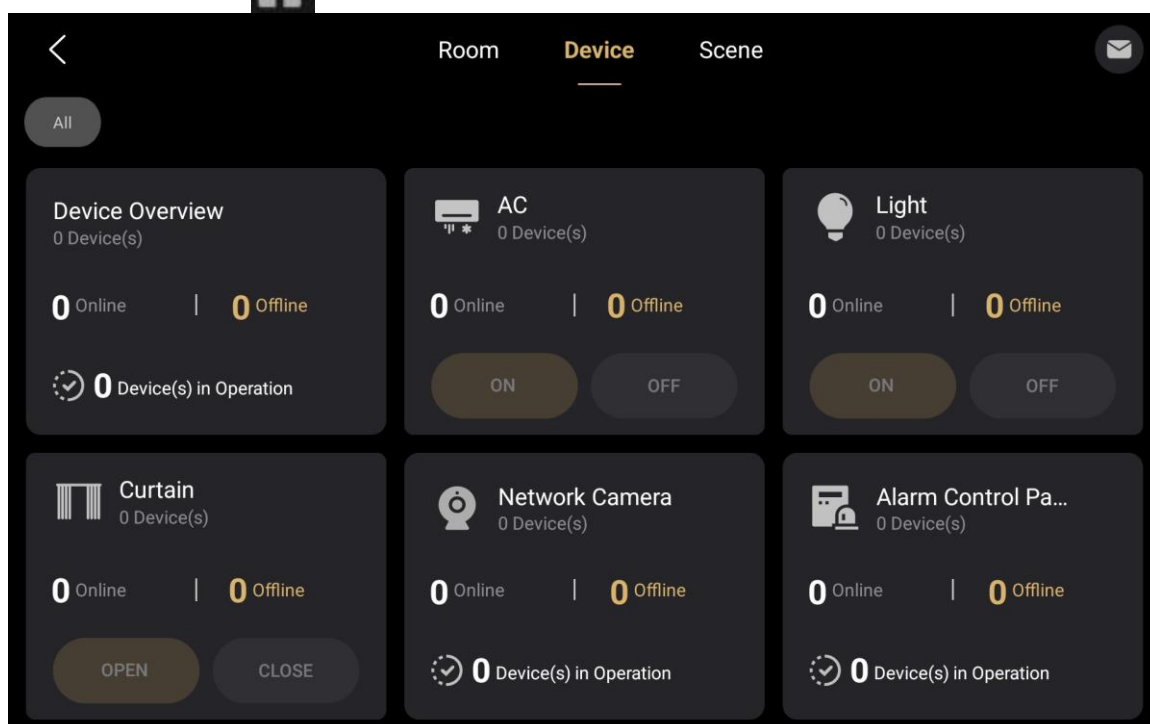


図 5-17 デバイス一覧

2. すると、デバイスのカテゴリ、番号、およびステータスを確認できます。

3. また、「OPEN」、「CLOSE」、「ON」、「OFF」をタップして、追加されたデバイスを制御することもできます。

5.12.2 シーンの設定

必要に応じて手動シーンや自動化シーンを設定し、シーンショートカットに追加できます

手順 1.

メインページで



→ **シーン** をタップして、ページに入ります。

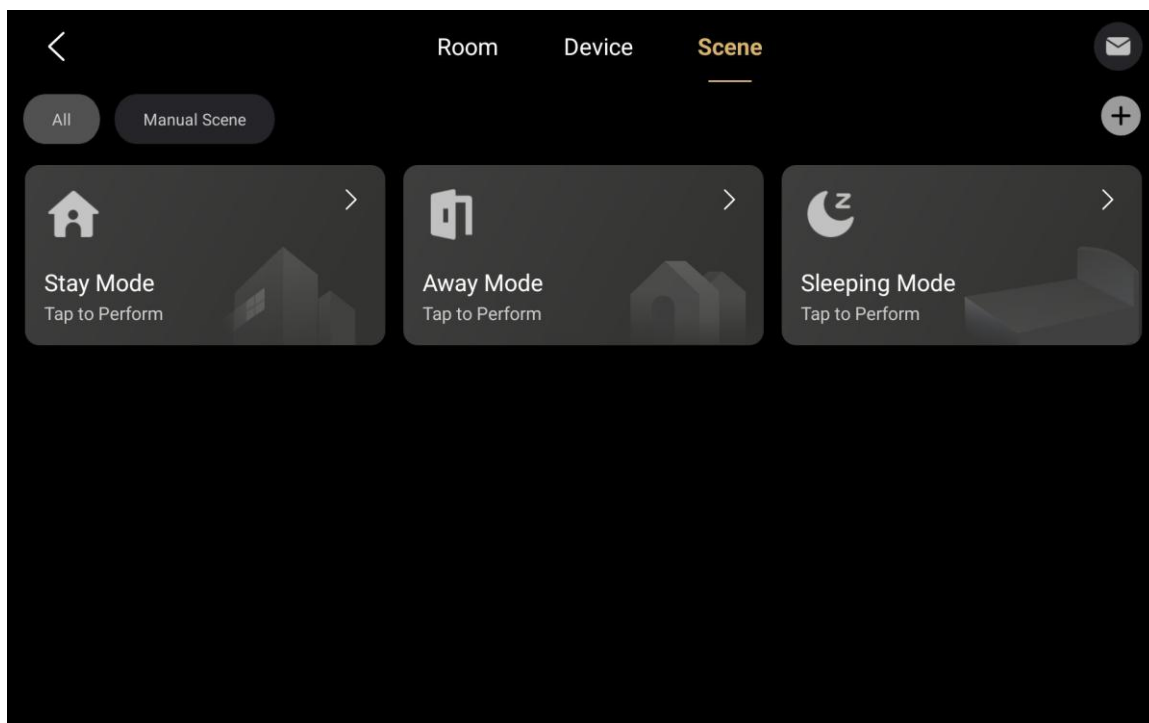


図 5-18 スマートホーム

2. 「+」をタップし、「**手動制御**」または「**自動化**」から選択します。
3. 「**手動制御**」を選択すると、手動シーン設定ページに移動します。

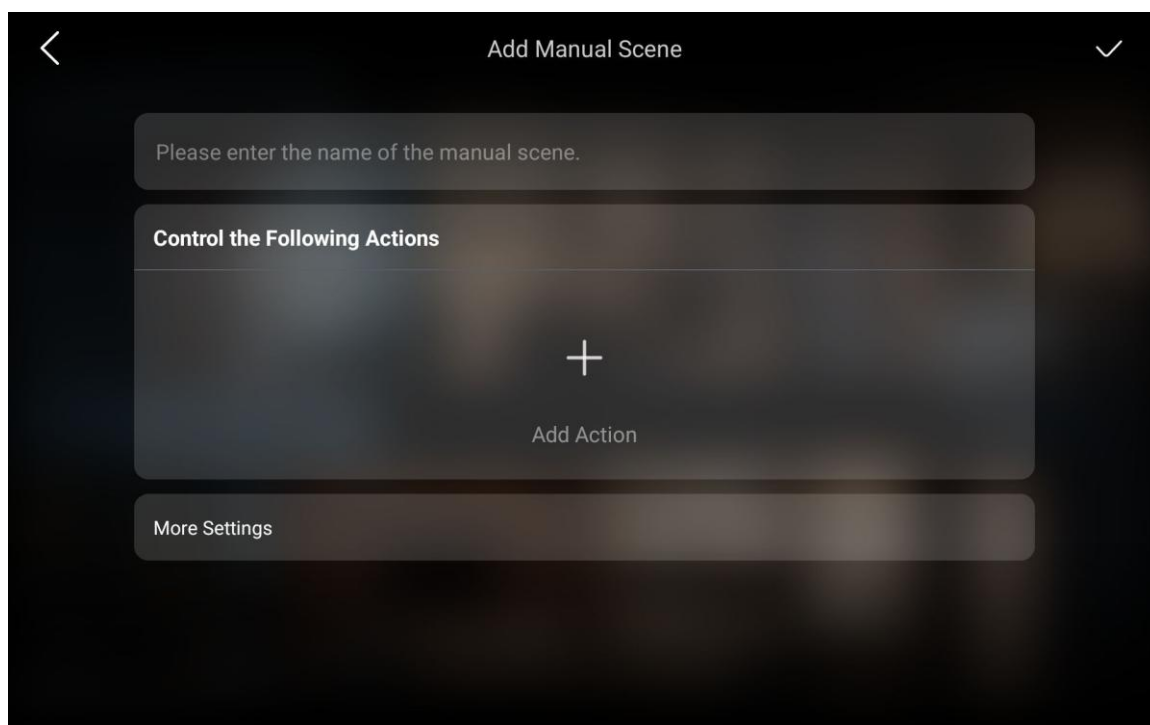


図 5-19 手動シーンの追加

- 1) 手動シーンの名前を入力します。
- 2) 「+」をタップしてアクションを追加します。「アクション」、「ディレイ」、「シーン」から選択できます。アクション

シーン

このシーンでデバイスに実行させたいアクションです。例：照明を点灯させる。

遅延

設定した時間が経過してからアクションを実行します。

例：7分後に照明を点灯させる。

シーン

実行するシーンをリストから選択します。例：在宅シーンを実行する。

- 3) デバイスが複数のシステムを制御している場合は、「その他の設定」をタップし、適用するシステムを選択できますを適用できます。
 - 4) 右上の「✓」をタップして設定を保存します。
4. 「オートメーション」を選択すると、オートメーションシーンの設定ページに移動します。
- 1) オートメーションシーンの名前を入力してください。
 - 2) 「+」をタップして条件を追加します。「デバイスによるトリガー」または「スケジュールプラン」から選択できます。
「デバイスによるトリガー」を選択した場合は、トリガーとなるデバイスを選択する必要があります。「スケジュールプラン」を選択した場合は、このシーンを繰り返し実行する日時を設定する必要があります。



- 「デバイスによるトリガー」の例：ドアが開いたときに、照明を点灯させる。
- 「スケジュール」の例：午前7時に照明を点灯する。

3) 次に「+」をタップしてアクションを追加します。「アクション」、「遅延」、「シーン」から選択できます。**アクション**

このシーンでデバイスに制御させたいアクションです。例：ドアのロックを解除する。

遅延

設定した時間が経過してからアクションを実行します。

たとえば、7分後に照明を点灯させるなど。

シーン

実行するシーンをリストから選択します。例：在宅シーンを実行する。

4) デバイスが複数のシステムを制御している場合は、「その他の設定」をタップし、適用するシステムを選択できますを適用できます。

5) 右上の「✓」をタップして設定を保存してください。



手動シーンをまだ追加していない場合は、「」→「Manual Scene」→「+」をタップして、新しい手動シーンを追加することもできます。

第6章 デバイスでのその他の操作

6.1 通話設定

6.1.1 SIP 設定

デバイスは、SIP プロトコルを介して相互に通信することができます。SIP 登録パスワードを作成・設定し、VIOP アカウントを設定します。

手順

1. **[設定]** → **[詳細設定]** をタップし、管理者（アクティベーション）パスワードを入力します。
2. **[インターコム設定]** → **[VoIP設定]** をタップします。
3. スライドしてVoIPを有効にします。
4. SIP登録パスワードを設定します。
 - 1) **[登録パスワード]** をタップします。
 - 2) 新しいSIP登録パスワードを作成し、パスワードを確認します。
 - 3) **[OK]** をタップします。
5. **オプション** : ユーザー名、電話番号、登録ユーザー名、パスワード、ドメイン、ポート番号、有効期限などのアカウント情報を設定します。



ユーザー名には最大 32 文字まで入力できます。

6.1.2 連絡先を追加

開始する前に

デバイスのスリープを解除します。詳細については、[「デバイスのスリープを解除する」](#)を参照してください。

手順

1. デバイスのメインページで、**[Call Module]** または  のアイコンをタップして、通話ページを表示します。

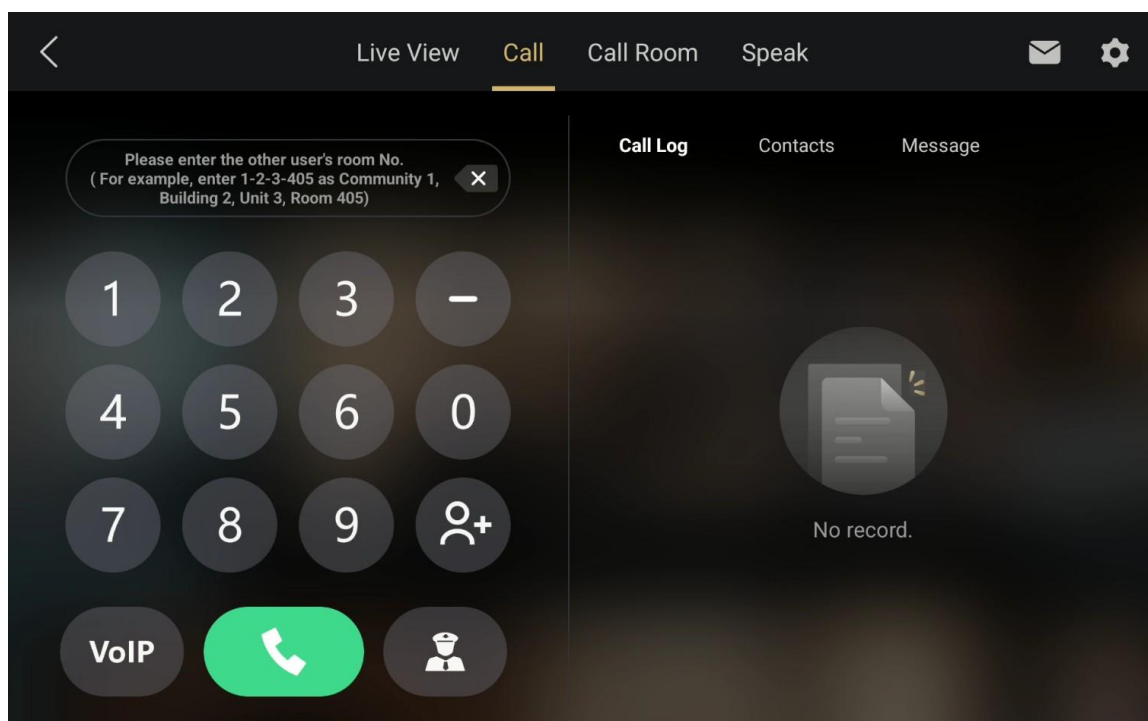


図 6-1 通話画面

2. 「連絡先」をタップし、次に「+」をタップして、連絡先追加ダイアログを表示します。
3. 連絡先の名前と部屋番号を入力します。



VoIP アカウント機能を有効にしている場合は、**[VoIP 連絡先として追加]** をタップして有効にすることができます。

4. 「OK」をタップして設定を保存します。



最大 200 件の連絡先を追加できます。

6.1.3 管理人へ連絡

開始する前に

デバイスの電源を入れます。詳細については、「[デバイスの電源を入れる](#)」を参照してください。

手順

1. デバイスのメインページで、「Call Module」または「」アイコンをタップして、通話ページに入ります。

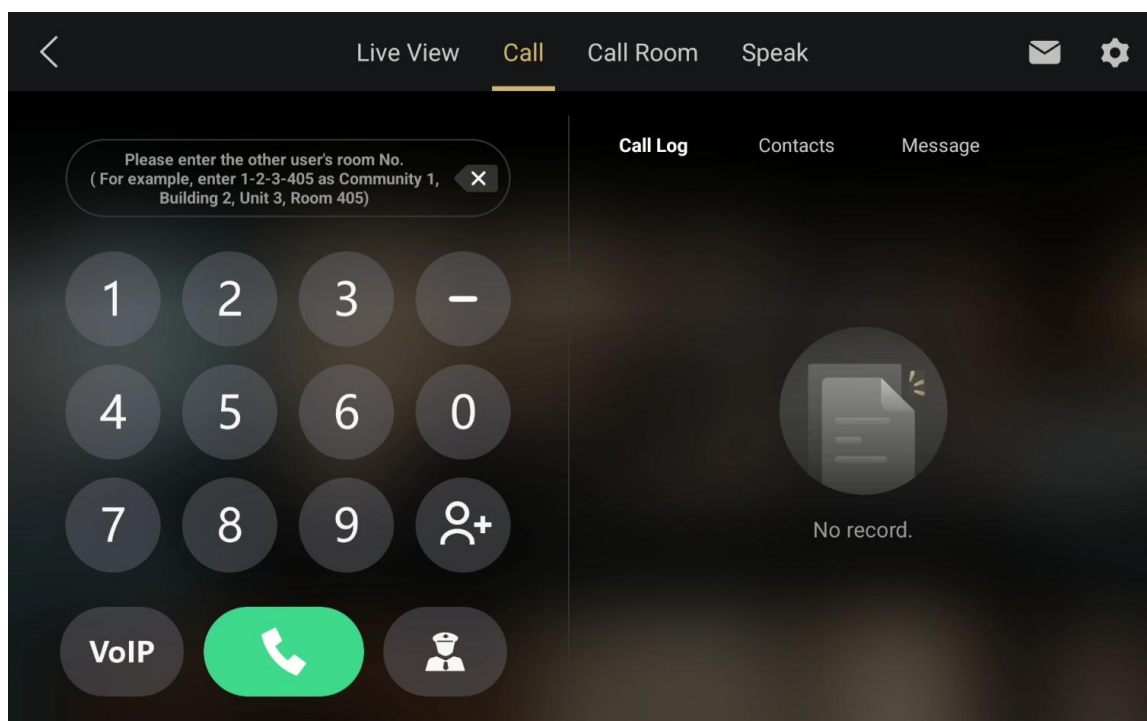


図 6-2 通話ページ

2. 発信先の電話番号を入力します。

- 部屋へ電話をかける場合は、電話番号の形式を x-x-x-xxx とする必要があります。例えば、コミュニティ1、ビル2、ユニット3、405号室への電話番号は1-2-3-405です。通話ボタンをタップして、音声・映像通話を開始してください。



注
コミュニティ番号は省略可能です。

- VoIP 連絡先に電話をかける場合は、発信番号として VoIP アカウントの電話番号を入力してください。
- コールセンターに電話をかける場合は、「」をタップしてください。

6.1.4 内線番号/屋内局への通話

ご自宅に室内機と室内内線機を設置すれば、室内機から室内内線機へ、またその逆も通話できます。室内内線機を2台以上設置している場合は、室内内線機同士でも通話が可能です。

室内機から室内子機へ電話をかける

室内機で【0-内線番号】と入力すると、対象の内線への発信が開始されます。

室内内線から室内機への発信

屋内内線から屋内内線へ電話をかけるには、屋内内線で【0-0】と入力してください。

屋内内線から屋内内線へ電話をかける

屋内内線から【0-屋内内線番号】を入力して、対象の屋内内線への通話を開始します。

6.1.5 着信

屋内機および屋内内線は、ドアステーションまたはメインステーションからの着信を受けることができます。

ドアステーションのインターフェース画面には、「Unlock 1」と「Unlock 2」の2つの解錠ボタンがあります。「**Unlock 1**」をタップすると、デフォルトで建物のゲートが開き、「**Unlock 2**」をタップすると、セキュリティ制御ドアユニットが接続されたドアステーションに接続されたドアが開きます。

ドアステーションと通話中にキャプチャボタンをタップすると、ライブ映像をキャプチャできます。画面に「キャプチャ完了」というメッセージが表示されます。

6.1.6 通話履歴の表示

開始する前に

デバイスを起動してください。詳細については、「[デバイスの起動](#)」を参照してください。

手順

1. デバイスのメインページで、「Call Module」または「」のアイコンをタップして、通話ページを表示します。

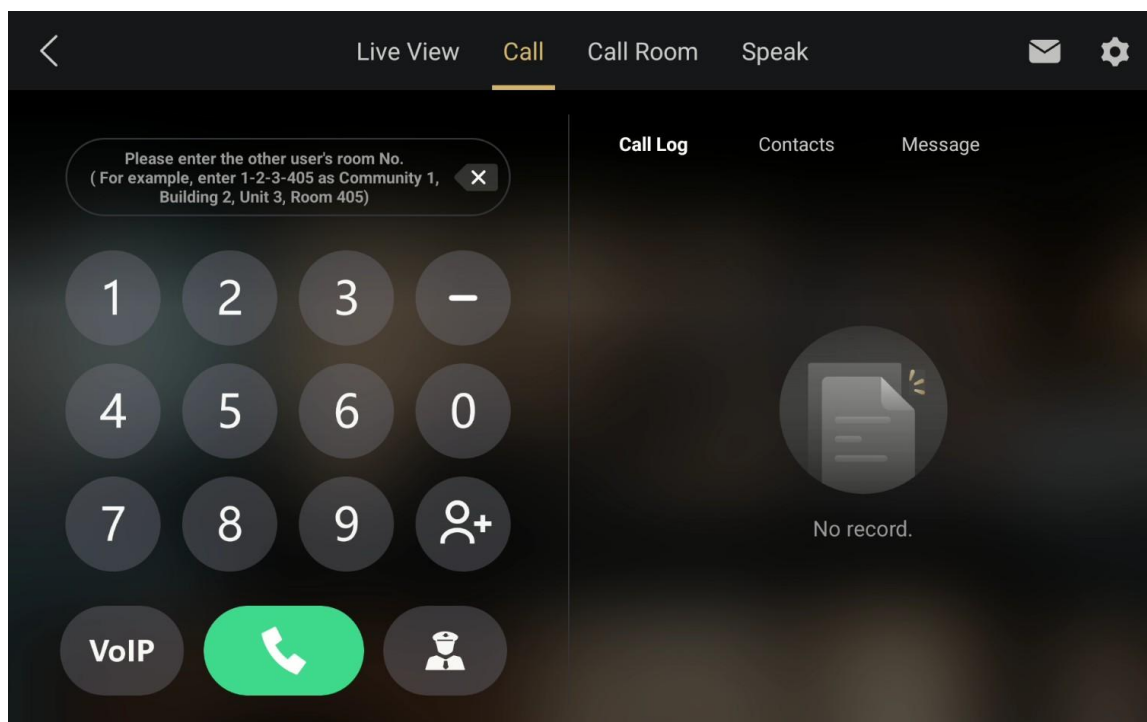


図 6-3 通話ページ

2. リスト内の通話履歴をタップして、折り返し電話をかけます。



- 屋内内線番号では、この機能はサポートされていません。
 - 屋内機は、ドアステーション、屋外ドアステーション、管理センター、および他の屋内機からの通話履歴を保存します。
 - タップしてから左にスワイプすると、通話履歴を1件ずつ削除できます。
 - 下部の「通話履歴を消去」をタップして、すべての通話履歴を削除します。
-

6.2 ライブビュー

ライブビューページでは、追加されたドアステーションやネットワークカメラのライブ映像を確認できます。

手順



- デバイスを起動してください。詳細については、「[デバイスの起動](#)」を参照してください。
 - ネットワークカメラまたはドアステーションが正しく接続されていることを確認してください。
 - 屋内延長機と屋内ステーションが確実に接続されていることを確認してください。
-

1. デバイスのメインページで、「Live View」モジュールをタップしてライブビューページを表示します。また、「 / Call」モジュール → 「Live View」をタップして、このページを表示することもできます。
 2. 「メインドアステーション」をタップして、ドアステーションのライブビューページに入ります。
-



- 「ドアステーションからの呼び出し」ページには、「Unlock 1」と「Unlock 2」の2つの解錠ボタンがあります。「Unlock 1」をタップすると、デフォルトで建物のゲートが開きます。「Unlock 2」をタップすると、ドアステーションに接続されたドアが開きます。
 - 「ドアステーションからの通話」ページには、1つの撮影ボタンがあります。このボタンをタップすると、ドアステーション経由で写真を撮影できます。
-
3. 「カメラ」をタップすると、ネットワークカメラのライブビュー画面が表示されます。

6.3 モードの紹介

デフォルトでは3つのモードがあります。

メインページには、3つのモード（在宅モード、外出モード、スリープモード）のアイコンが表示されます。

対応するアイコンをタップして、デバイスを特定のモードに設定できます。

詳細情報を確認したい場合や、いずれかのモードを編集したい場合は、そのモードをタップするだけで情報ページに移動できます。



3つのモードのいずれかを実行するには、まずアクションを追加する必要があります。

6.4 セット/解除

屋内ステーションには、スリープモード、在宅モード、外出モード、カスタムモードの 4 種類のシーンモードがあります。各シーンモードで、手動で部屋のセキュリティを有効または無効にすることができます。選択したシーンモードは、屋内ステーションのメインページに表示されます。



まず、セット/解除パスワードを作成する必要があります。

6.4.1 部屋の武装

「アームモード」を選択して、お部屋のセキュリティを有効にしてください。

開始する前に

- デバイスを起動してください。詳細については、「[デバイスの起動](#)」を参照してください。
- デバイスのメインページで、「**設定**」→「**詳細設定**」→「**インテリジェント制御**」→「**デバイス管理**」をタップし、**アラームコントロールパネル**を追加します。
- セーフモードのオン/オフ用パスワードを設定してください。詳細については、「[操作パスワードの設定](#)」を参照してください。

手順

1. デバイスのメイン画面で、「**Stay**」をタップしてシーン画面に入ります。
 2. 「**在宅**」、「**外出**」、「**就寝**」、または「**カスタム**」を選択してください。
 3. シーンを有効にするには、武装/解除パスワードを入力してください。
 4. 「**OK**」をタップします。
-



また、 → **[設定]** をタップしてシーンを有効にすることもできます。

6.4.2 部屋の解除

開始する前に

デバイスのスリープを解除します。詳細については、「[デバイスのスリープを解除する](#)」を参照してください。

手順

1. デバイスのメインページで、 → **[Disarm]** をタップして、アラームを解除します。
 2. 武装/解除パスワードを入力します。
 3. 「**OK**」をタップします。
-

6.5 サードパーティ製アプリの設定

6.5.1 アプリのインストール

サードパーティ製アプリをデバイスにインストールします。

手順

1. 新しいアプリを追加する場合。**アプリケーションセンター** → **+** をタップします。画面の指示に従って、TF カード/USB を挿入します。

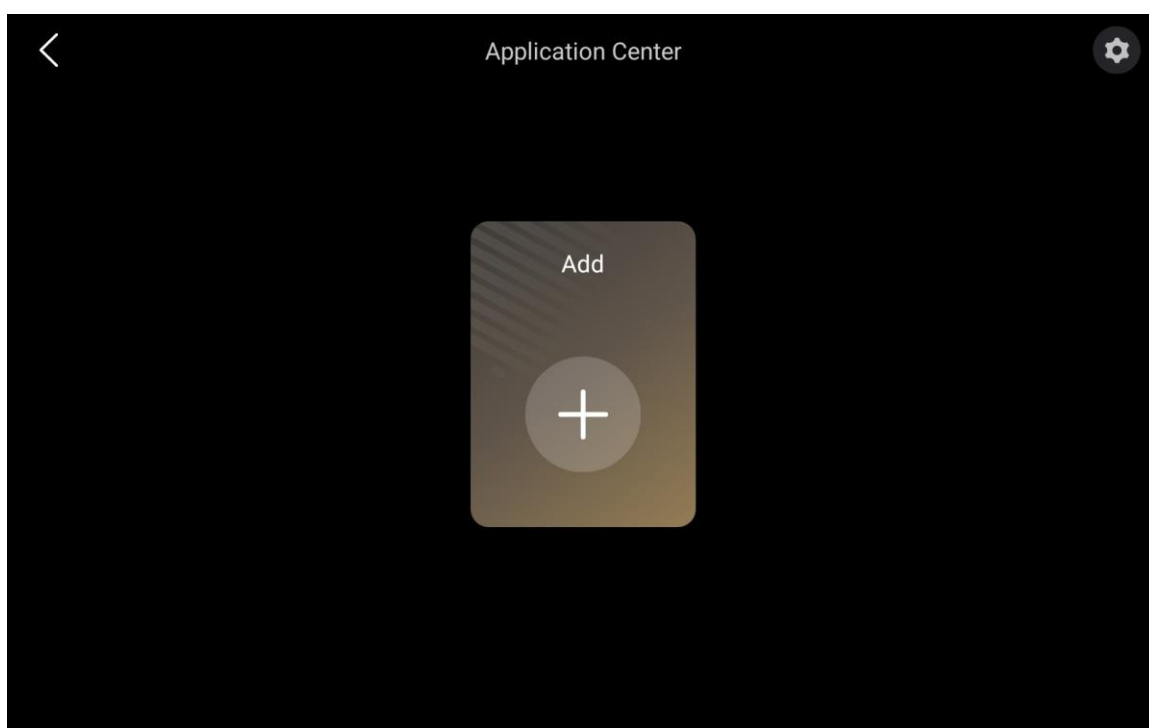


図 6-4 アプリケーションセンター

2. 必要なアプリがすでにインストールされている場合は、それらをショートカットに追加できます。メインページで左にスワイプし、次に「+」→「アプリケーション」をタップして、**アプリ**を選択します。

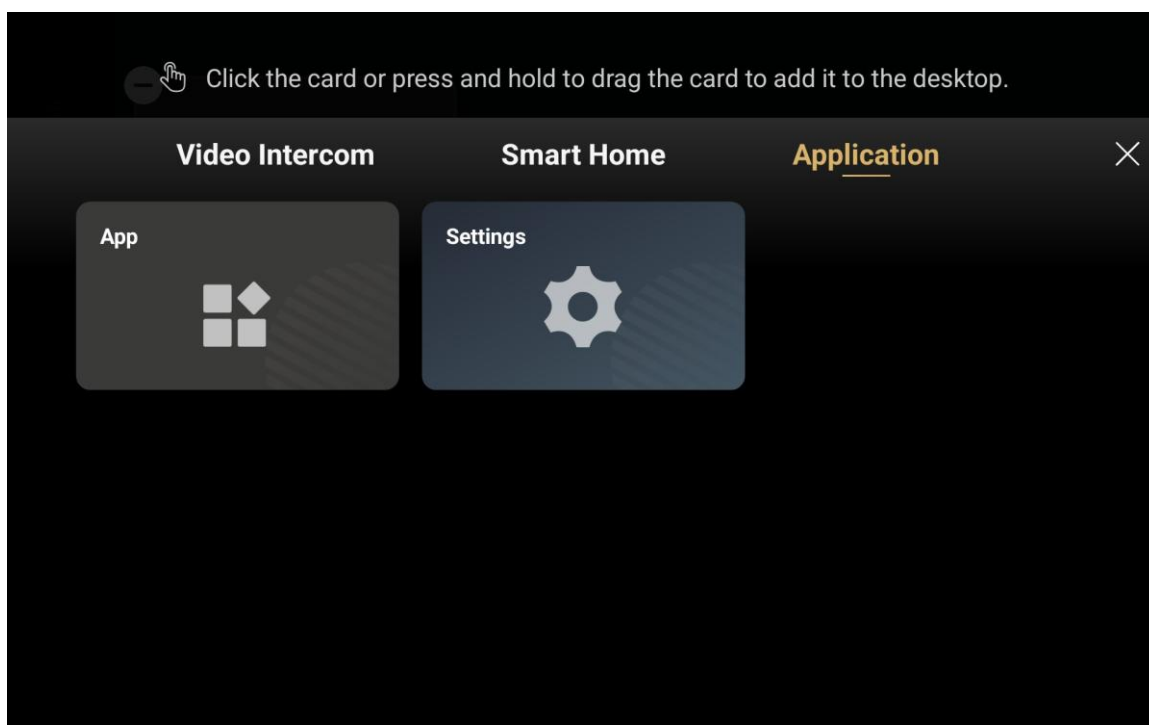


図 6-5 アプリのショートカットを追加

6.6 メッセージ管理

メッセージページでは、訪問者メッセージ、アラームイベント、およびキャプチャログを確認できます。デバイスを起動します。詳

細については、「[デバイスの起動](#)」を参照してください。



屋内内線は、アラームイベントとキャプチャログのみに対応しています。

メッセージ

デバイスのメインページで、「」をタップするか、「**Call module**」をタップして通話ページに入ります。「**Message**」をタップしてメッセージ詳細ページに入ります。ローカルまたはモバイルクライアントからのメッセージを表示できます。

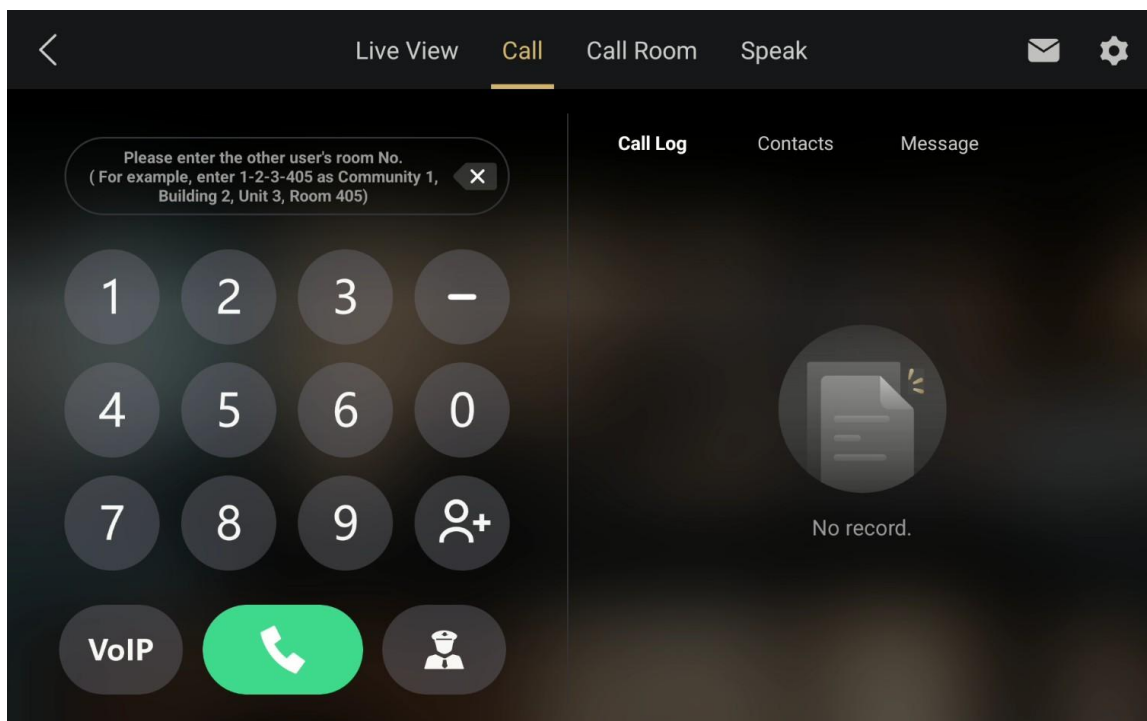


図 6-6 通話ページ

詳細

項目をタップして、メッセージの詳細を表示します。

削除

削除するには、ページ下部の「すべてのレコードを消去」をタップしてください。または、項目を左にスワイプして、その項目だけを削除することもできます。

キャプチャログ

デバイスのメインページで、「」をタップするか、「Call module」をタップして通話ページを開きます。「」をタップしてキャプチャログページを開きます。

また、メインページで「Message module」をタップし、次に「Capture Log」をタップしてこのページに入ることができます。

詳細

項目をタップすると、キャプチャログの詳細が表示されます。

削除

項目を左にスワイプすると、その項目のみが削除されます。

アラームイベント

メインページの「メッセージ」モジュールをタップし、次に「アラームログ」をタップしてこのページに入ります。

詳細

項目をタップすると、アラームイベントの詳細が表示されます。

削除

項目を左にスワイプすると、その項目のみを削除できます。

レコードのロック解除

メインページの「メッセージ」モジュールをタップし、「記録のロック解除」をタップしてこのページに入ります。

詳細

項目をタップして、ロック解除記録の詳細を表示します。

削除

項目を左にスワイプすると、その項目のみを削除できます。

レコードを自動的に削除

メッセージおよび自動キャプチャの保存期間を設定できます。

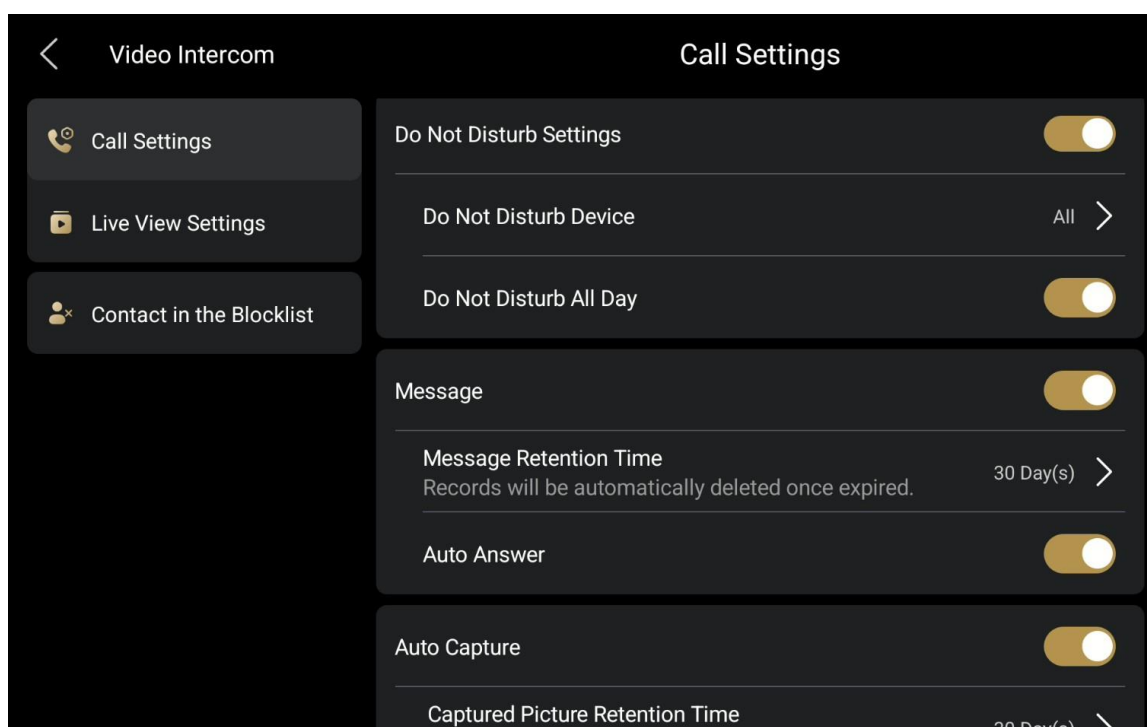


図 6-7 保存期間

詳細については、「通話設定」をご覧ください。

6.7 ショートカットの追加

実際のニーズに合わせて、デスクトップにショートカットカードを追加できます

手順

1. メインページから左にスワイプします。+ をタップします。
2. 追加できるカードには3種類あります。

ビデオインターホンのショートカット

ライブビュー、通話、通話（音声）、メッセージ、ビデオインターホン設定、エレベーター呼び出し、管理センター呼び出し、SOSが含まれます。

デスクトップにショートカットカードを追加すると、これらの機能に素早くアクセスしたり、操作を行ったりできます。

スマートホームのショートカット

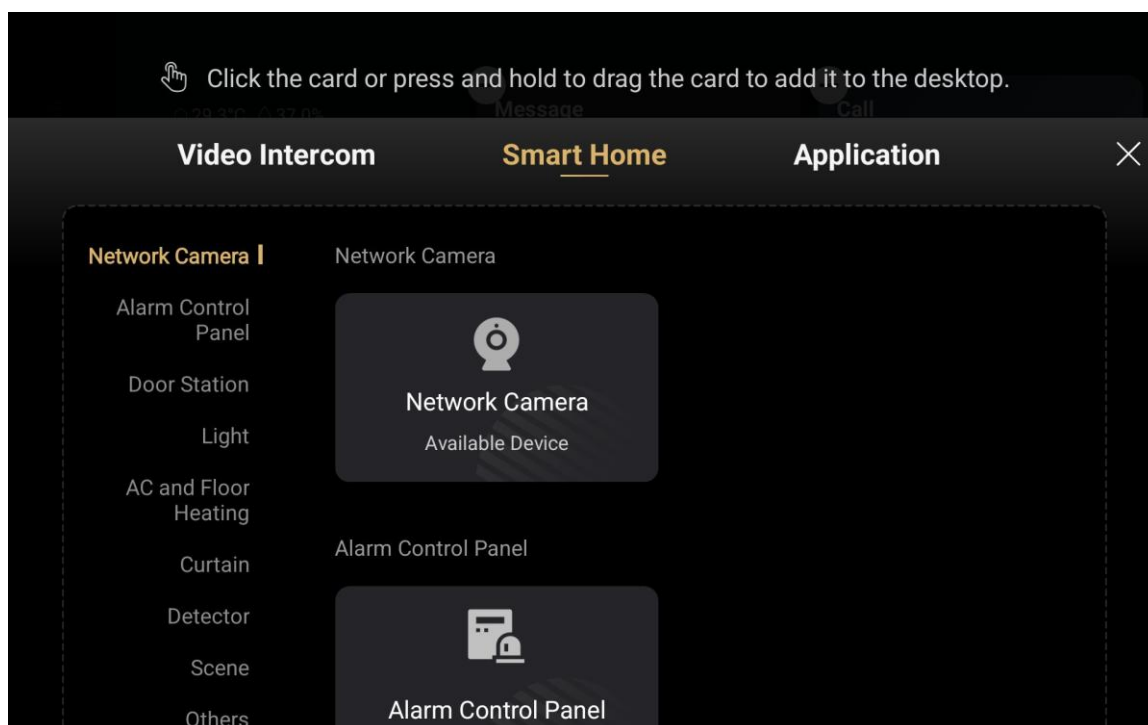


図 6-8 スマートホームのショートカット

ネットワークカメラ、警報制御パネル、ドアステーション、照明、エアコンおよび床暖房、カーテン、検知器などのスマートホームデバイスが含まれます。

シーンはすでに存在します。

デバイスの概要。稼働中または有効になっているデバイスの数を確認できます。



注

スマートホームのショートカットを作成する前に、まずスマートホームデバイスを本デバイスと連携させる必要があります。

アプリケーションのショートカット

デスクトップにアプリケーションモジュールを追加します。

3. カードをクリックして押し続け、カードをドラッグしてデスクトップに追加します。

第7章 クライアントソフトウェアの設定

7.1 デバイス管理

デバイス管理には、デバイスの追加、編集、削除などが含まれます。このページを表示するには、「デバイス管理」→「デバイス管理」→「デバイス管理」をクリックします。

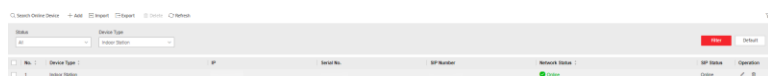


図7-1 デバイス管理

- 「**+追加**」をクリックしてデバイスを追加します。
デバイスのパスワード、登録パスワード、シリアル番号などの基本情報、IPアドレス、IPv4サブネットマスク、IPv4デフォルトゲートウェイ、ポートなどのネットワークパラメータ、および内線番号を入力する必要があります。
- また、「**インポート**」または「**エクスポート**」をクリックして、デバイスを一括でインポート/エクスポートすることもできます。



Excelファイルを使用して、デバイスを一括でインポートできます。また、ウェブサイトからテンプレートをダウンロードすることも可能です。

- クリック  をクリックしてデバイスを編集します。
デバイスのパスワード、登録パスワード、シリアル番号などの基本情報、IPアドレス、IPv4サブネットマスク、IPv4デフォルトゲートウェイ、ポートなどのネットワークパラメータ、および内線番号を編集できます。
変更を保存するには、「**保存**」をクリックしてください。

7.1.1 ビデオインターホン機器の追加

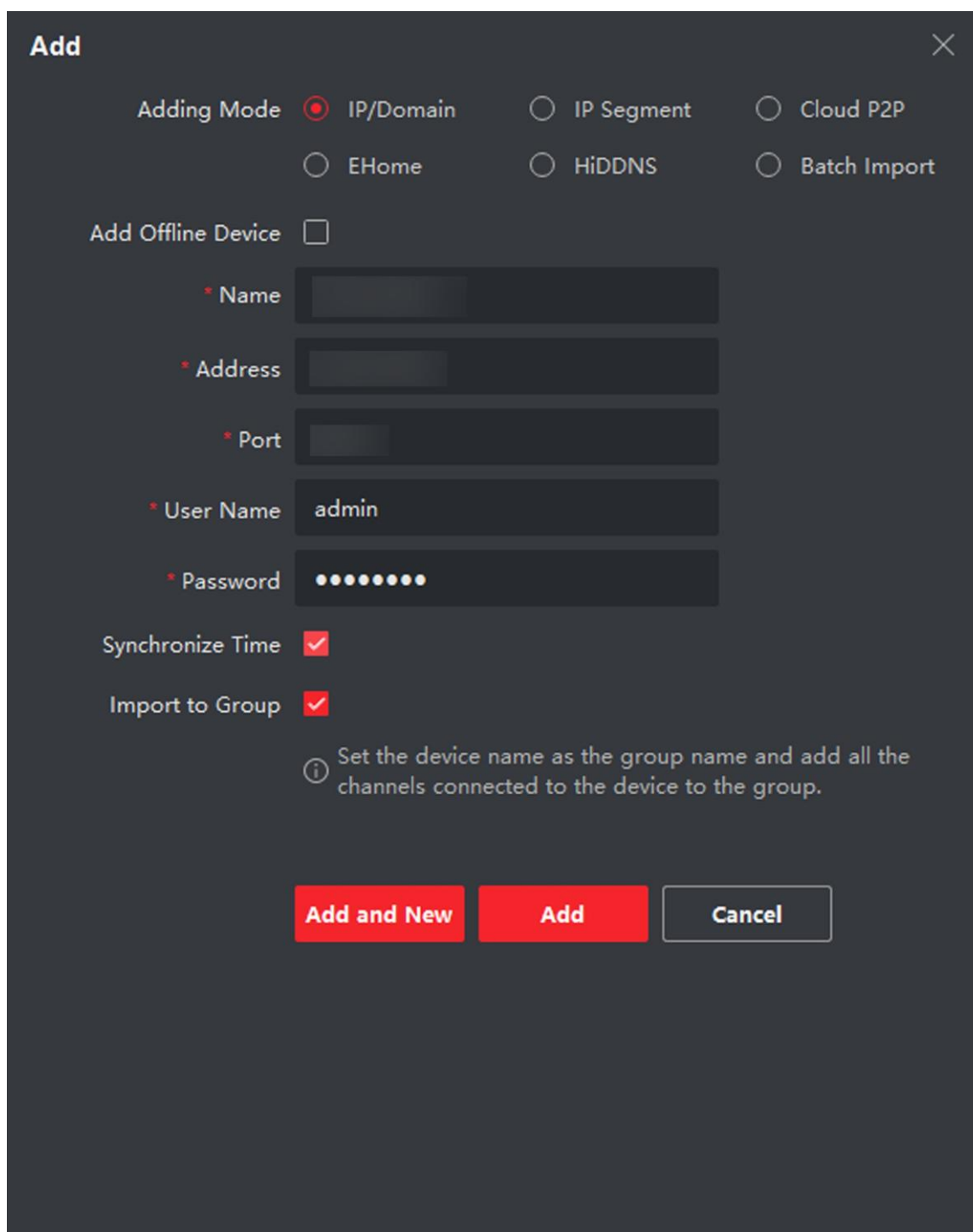
手順



- クライアントには、屋内機とメインステーションを合わせて最大512台まで、ドアステーションは最大16台まで追加できます。
- ビデオインターホン端末については、ソフトウェアに追加して正常に動作させる前に、アクティベートするためのパスワードを作成する必要があります。
- オンラインビデオインターホン端末は、手動で追加することができます。ここでは、オンラインビデオインターホン端末の追加を例に説明します。

- 「**メンテナンスと管理**」→「**デバイス管理**」をクリックして、デバイス管理ページに入ります。
- 「**デバイス**」タブをクリックします。

3. 「追加」をクリックして、クライアントにデバイスを追加します。



Add

Adding Mode ☒ IP/Domain ☐ IP Segment ☐ Cloud P2P
☐ EHome ☐ HiDDNS ☐ Batch Import

Add Offline Device ☐

* Name

* Address

* Port

* User Name

* Password

Synchronize Time ☒

Import to Group ☒

i Set the device name as the group name and add all the channels connected to the device to the group.

Add and New **Add** **Cancel**

図 7-2 デバイスの追加

4. オプション : 「オンラインデバイス」をクリックすると、クライアントソフトウェアと同じローカルサブネット内にあるアクティブなオンラインデバイスが「オンラインデバイス」エリアに表示されます。



ソフトウェアにオンラインデバイスを追加するには、まずデバイスの IP アドレスを、お使いのコンピュータと同じサブネットに変更する必要があります。

1) 「**60 秒ごとに更新**」をクリックすると、オンラインデバイスの情報を更新できます。

2) リストから追加するデバイスを選択してください。

3) 「**クライアントに追加**」をクリックして、デバイスをクライアントに追加します。

5. 必要な情報を入力します。

ニックネーム

お好きなようにデバイスの名前を編集してください。

アドレス

デバイスの IP アドレスを入力します。この追加モードでは、デバイスの IP アドレスは自動的に取得されます。

ポート

デバイスのポート番号を入力してください。デフォルト値は 8000 です。

ユーザー名

デバイスのユーザー名を入力してください。デフォルトのユーザー名は「admin」です。

パスワード

デバイスのパスワードを入力してください。

6. オプション : 「**グループにエクスポート**」チェックボックスをオンにすると、デバイス名に基づいてグループを作成できます。デフォルトでは、デバイスのすべてのチャンネルが対応するグループにインポートされます。

また、本クライアントではオフラインのデバイスを追加する方法も提供しています。「**オフラインデバイスを追加**」チェックボックスをオンにし、必要な情報、デバイスのチャンネル番号、およびアラーム入力番号を入力してから、「**追加**」をクリックしてください。オフラインのデバイスがオンラインになると、ソフトウェアが自動的に接続します。



- 複数のオンラインデバイスを追加する場合 : クライアントソフトウェアに複数のオンラインデバイスを追加するには、**Ctrl** キーを押しながら複数のデバイスを選択し、「**クライアントに追加**」をクリックしてデバイス追加ダイアログボックスを開きます。ポップアップメッセージボックスに、追加するデバイスのユーザー名とパスワードを入力してください。
- すべてのオンラインデバイスを追加する : クライアントソフトウェアにすべてのオンラインデバイスを追加する場合は、「**すべて追加**」をクリックし、ポップアップメッセージボックスで「**OK**」をクリックします。その後、追加するデバイスのユーザー名とパスワードを入力します。

7.1.2 ネットワーク情報の変更

デバイス一覧からデバイスを選択し、「」をクリックすると、選択したデバイスのネットワーク情報を変更できます。



パラメータを変更するには、ポップアップウィンドウの「**Password**」フィールドにデバイスの管理者パスワードを入力する必要があります。

7.2 システム設定

ビデオインターホンのパラメータを適宜設定できます。

手順

1. 「メンテナンスと管理」→「システム設定」→「ACSおよびビデオインターホン」をクリックして、システム設定ページを開きます。
2. 必要な情報を入力します。

着信音

「...」をクリックし、ローカルパスから屋内機の着信用オーディオファイルを選択します。必要に応じて、「」をクリックして、オーディオファイルのテストを行うことができます。

最大呼び出し音の長さ

着信音の最大再生時間を 15 秒から 60 秒の範囲で入力します。

屋内機との通話最大時間

屋内ステーションとの通話の上限時間を入力してください（120秒～600秒の範囲）。

ドラステーションとの通話最大時間

ドラステーションとの通話の上限時間を、90秒から120秒の範囲で入力してください。

3. 「保存」をクリックして設定を保存してください。

7.3 リモート設定

デバイスリストエリアでデバイスを選択し、「」をクリックして、リモート設定ページに入ります。

7.3.1 システム

リモート設定ページで **[System]** をクリックして、デバイス情報（[Device Information]、[General]、[Time]、[System Maintenance]、[User]、および [RS-485]）を表示します。

デバイス情報

「デバイス情報」をクリックして、デバイスの基本情報ページを表示します。デバイスの基本情報（デバイス種別、シリアル番号）およびバージョン情報を確認できます。

一般

「一般」をクリックして、デバイスの一般パラメータ設定ページに移動します。デバイス名とデバイスIDを確認および編集できます。

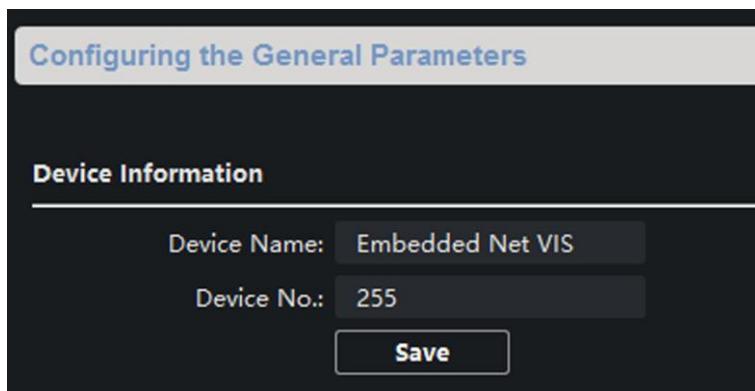


図 7-3 一般

時刻

「時刻」をクリックして、デバイスの時刻設定ページに入ります。

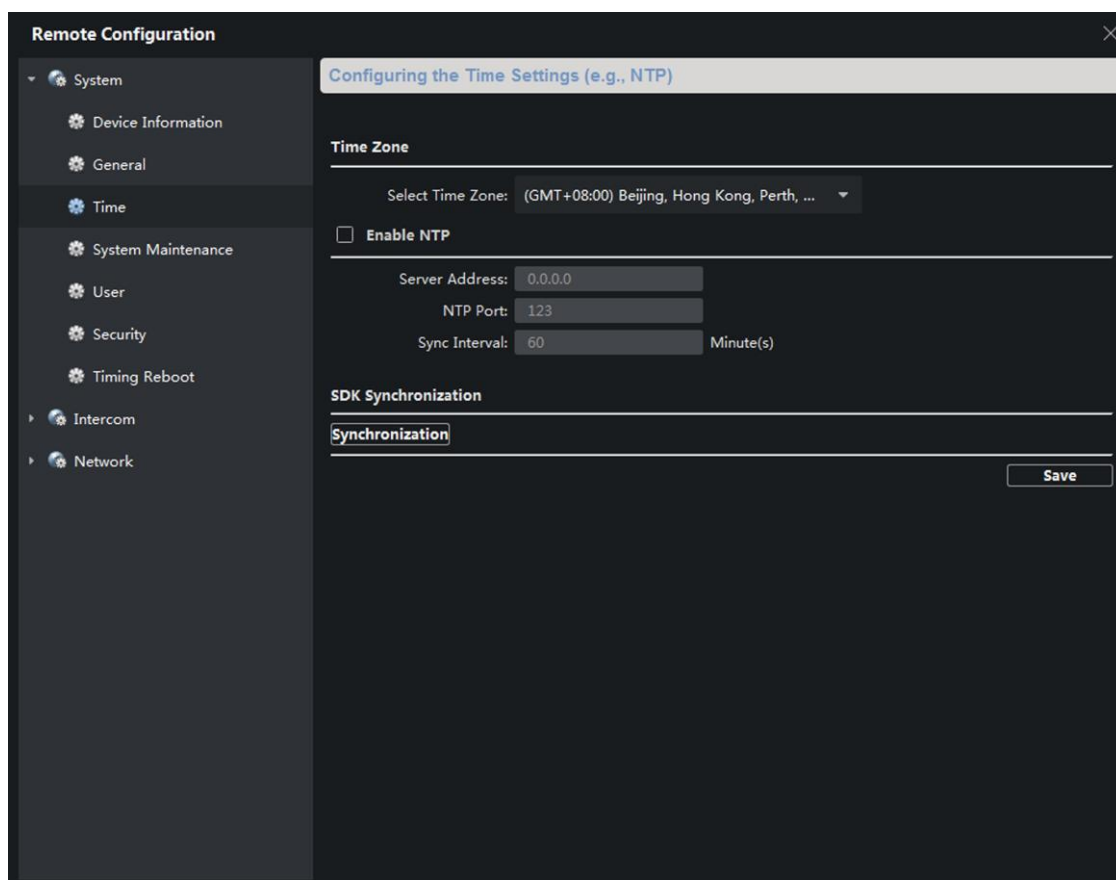


図 7-4 時刻の同期

「タイムゾーン」または「NTP を有効にする」を選択します。「保存」をクリックして、時刻設定を保存します。

- タイムゾーン
 - ドロップダウンリストメニューからタイムゾーンを選択します。
 - 「同期」をクリックします。
- NTP
 - 「NTPを有効にする」のチェックボックスをオンにして、NTPを有効にします。
 - サーバーアドレス、NTP ポート、および同期間隔を入力します。



注

デフォルトのポート番号は 123 です。

システムメンテナンス

「システムメンテナンス」をクリックして、ページに入ります。

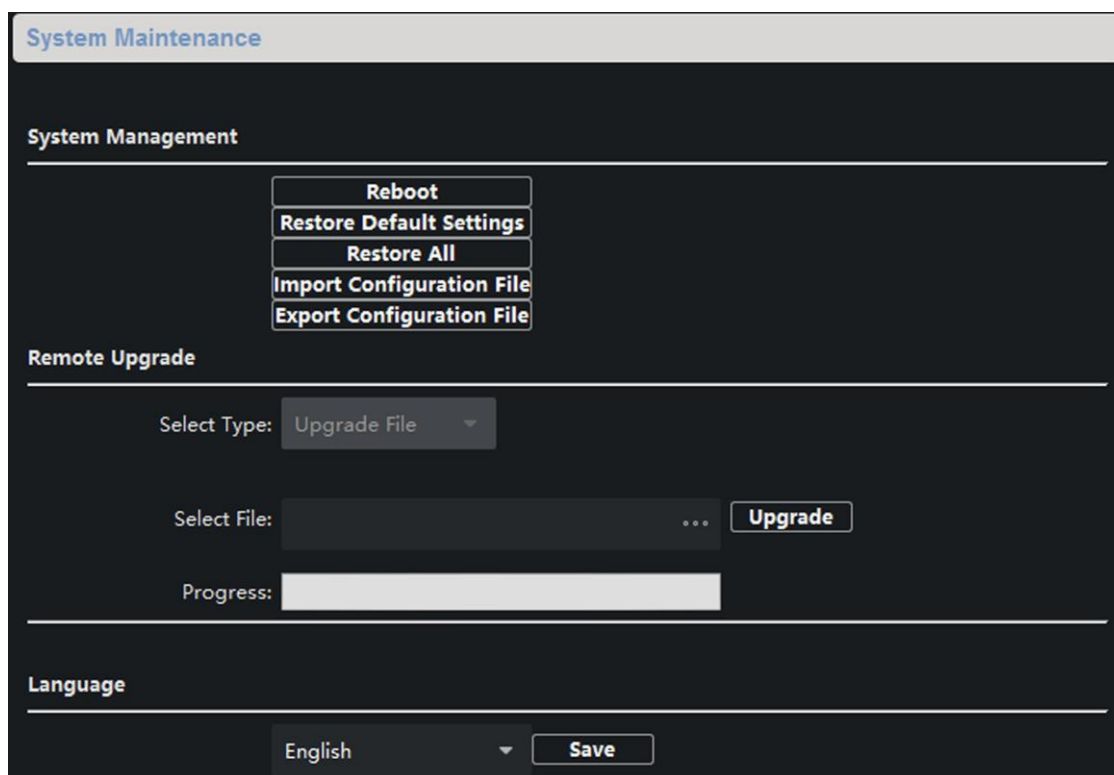


図 7-5 システムメンテナンス

- **【再起動】** をクリックすると、システムの再起動ダイアログボックスが表示されます。**【はい】** をクリックしてシステムを再起動します。
- **「デフォルト設定に復元」** をクリックして、デフォルトのパラメータに復元します。
- **「すべて復元」** をクリックすると、デバイスのすべてのパラメータが復元され、デバイスが非アクティブ状態にリセットされます。



注

- **「デフォルト設定に復元」** をクリックすると、ネットワークパラメータを除くすべてのデフォルト設定が復元されます。
 - **【すべて復元】** をクリックすると、ネットワークパラメータを含むすべてのデフォルト設定が復元されます。デバイスは非アクティブ状態にリセットされます。
-
- **「設定ファイルのインポート」** をクリックすると、インポートウィンドウが表示されます。リモート設定ファイルの保存場所を選択します。**「開く」** をクリックして、リモート設定ファイルをインポートします。設定ファイルがインポートされると、デバイスは自動的に再起動します。
 - **「設定ファイルのエクスポート」** をクリックすると、エクスポートファイルのウィンドウが表示されます。リモート設定ファイルの保存先を選択し、**「保存」** をクリックして設定ファイルをエクスポートします。
 - **「...」** をクリックしてアップグレードファイルを選択し、**「アップグレード」** をクリックすると、デバイスのリモートアップグレードが実行されます。リモートアップグレードの進行状況は、進行状況バーに表示されます。
 - 言語を選択し、**「保存」** をクリックして、デバイスのシステム言語を変更してください。



注

- このデバイスは、英語、ロシア語、ドイツ語、イタリア語、フランス語、ポルトガル語、スペイン語、トルコ語、アラビア語、ポーランド語、ベトナム語の11言語に対応しています。
- システム言語を変更した後は、デバイスの再起動が必要です。

ユーザー

[ユーザー] をクリックして、ユーザー情報の編集ページに入ります。

編集するユーザーを選択し、「変更」をクリックしてユーザーパラメータページに入ります。

The image shows a user configuration interface with two main sections: 'User Information' and 'User Permission'. The 'User Information' section contains fields for 'User Type' (set to 'Administrator'), 'User Name' (set to 'admin'), 'Password', 'Confirm Password', 'IP Address' (set to '0.0.0.0'), and 'MAC Address' (set to '00:00:00:00:00:00'). The 'User Permission' section lists seven permissions, all of which are checked: 'Local PTZ Control', 'Local Manual Recording', 'Local Playback', 'Local Parameter Settings', 'Local Log Search', 'Local Advanced Operation', and 'Local Parameters View'. At the bottom right, there are 'Save' and 'Cancel' buttons.

図 7-6 ユーザーページ



注

- 新しいパスワードと確認用パスワードは、同じである必要があります。
- デバイスのパスワードを変更した後、デバイス一覧の「更新」ボタンをクリックしても、追加したデバイスは表示されません。リモート設定を実行するには、新しいパスワードを使用してデバイスを再度追加する必要があります。

7.3.2 ビデオインターホン

リモート設定ページで「ビデオインターホン」をクリックすると、ビデオインターホンのパラメータ設定画面が表示されます。設定項目には、デバイス番号設定、時間パラメータ、パスワード、ゾーン設定、IPカメラ情報、音量入出力設定などがあります。

時間パラメータ

手順

1. 「時間パラメータ」をクリックして、時間パラメータ設定ページに入ります。

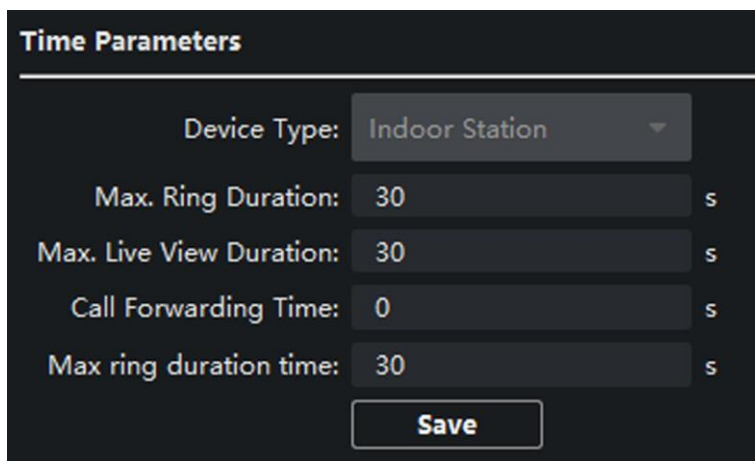


図 7-7 時間パラメータ

2. 最大呼び出し時間、最大ライブビュー時間、および通話転送時間を設定します。

3. 「保存」をクリックします。



- 最大呼び出し時間は、屋内局への呼び出しに応答がない場合の最大呼び出し時間です。最大呼び出し時間の範囲は30秒から60秒です。
- 最大ライブビュー時間は、屋内局のライブビューを再生できる最大時間です。最大ライブビュー時間の範囲は10秒から60秒です。
- 転送時間は、呼び出し音が鳴り続けた後、その時間を超えると、居住者が指定した携帯電話に自動的に転送されるまでの制限時間を指します。転送時間の範囲は0秒から20秒です。
- 屋内内線については、最大ライブビュー時間の設定のみが必要です。

音量入力および出力

設定手順

1. 「音量入力/出力」をクリックして、音量入力および出力ページを表示します。

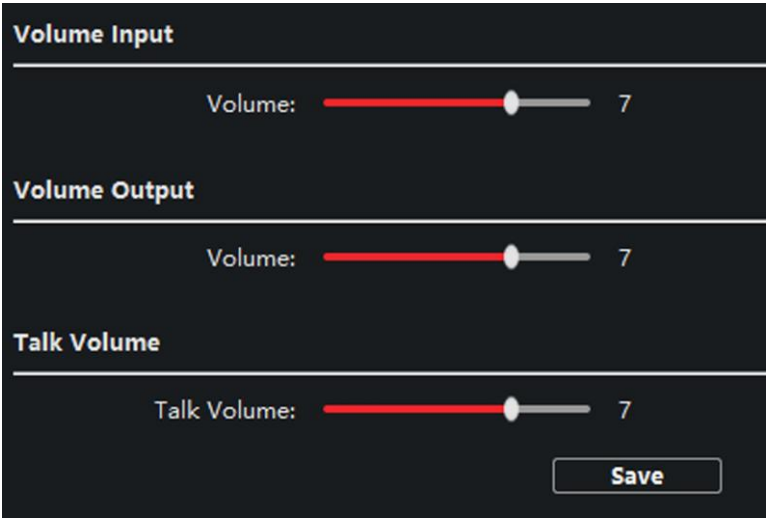


図 7-8 音量入力と出力

- 2. スライダーを動かして、入力音量、出力音量、および通話音量を調整します。
- 3. **[保存]** をクリックして設定を有効にします。

着信音のインポート

手順

- 1. 「着信音のインポート」をクリックして、着信音設定ページに入ります。

Index	Name	Size	Type	Add	Delete
1				+	×
2				+	×
3				+	×
4				+	×

図 7-9 リングのインポート

- 2. 「+」をクリックしてリングを追加し、「x」をクリックしてインポートしたリングを削除します。

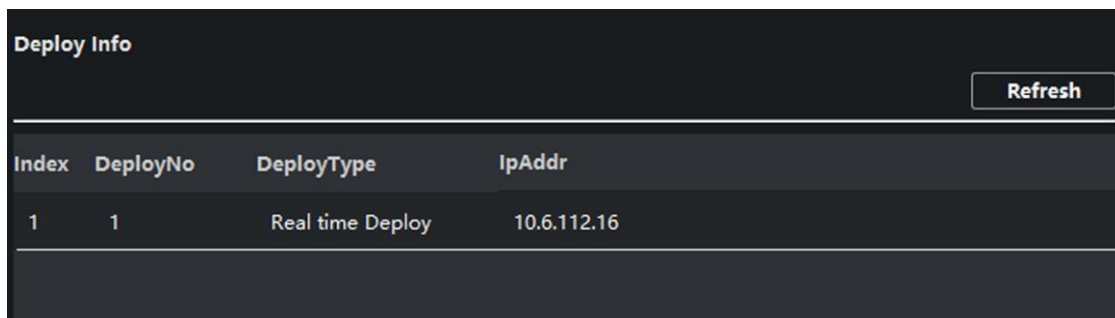


注

- インポートする着信音はwav形式である必要があり、そのサイズは300kBを超えてはなりません。
- 最大4つのリングを追加できます。

デプロイ情報

[Deploy Info] をクリックすると、デプロイ情報を確認できます。



The screenshot shows a panel titled "Deploy Info" with a "Refresh" button in the top right corner. Below the title is a table with the following data:

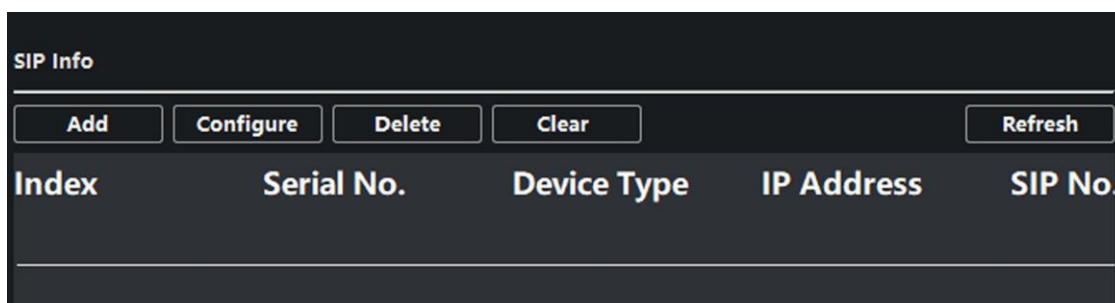
Index	DeployNo	DeployType	IpAddr
1	1	Real time Deploy	10.6.112.16

図 7-10 デプロイ情報

SIP番号の設定

手順

1. 「SIP 番号設定」をクリックして、設定ページに入ります。



The screenshot shows a panel titled "SIP Info" with five buttons: "Add", "Configure", "Delete", "Clear", and "Refresh". Below the buttons is a table with the following headers:

Index	Serial No.	Device Type	IP Address	SIP No.
-------	------------	-------------	------------	---------

図 7-11 内線番号設定

2. [追加] をクリックします。

The screenshot shows a dark-themed 'Add' dialog box. At the top is a title bar with the word 'Add' in white. Below it are several input fields arranged vertically. The first field is 'Device Type' with a dropdown menu currently showing 'Indoor Extension'. The following fields are 'Serial No.', 'IP Address', 'Gateway', 'Subnet Mask', 'Password', 'SIP No.' (which contains the text '10000000000'), and 'No.'. At the bottom of the dialog are two buttons: 'Save' and 'Cancel'.

図 7-12 SIP 情報の追加

3. 「デバイス タイプ」で「屋内内線」を選択します。

4. 必要な情報を入力してください。

シリアル番号

デバイスのシリアル番号を入力してください。シリアル番号はデバイスの背面パネルに記載されています（9桁の固定長番号）。

IP アドレス

デバイスの IP アドレスを入力してください。

ゲートウェイ

デバイスのゲートウェイを入力してください。

サブネットマスク

デバイスのサブネットマスクを入力してください。

パスワード

デバイスのパスワードを入力します。8～16 文字の範囲で入力してください。

No.

デバイス番号を入力します（1 ～ 5）。

5. **[保存]** をクリックして設定を有効にします。

6. SIP 情報を設定します。

[設定] をクリックします シリアル番号、IPアドレス、ゲートウェイ、サブネットマスク、パスワード、およびデバイス番号を設定します。

「削除」をクリック SIP番号を削除します。「**クリア**」を

クリック すべてのSIP番号をクリアします。

「更新」をクリック SIP 情報を更新します。

インターコムプロトコル

手順

1. プロトコルとして「**プライベートプロトコル 1**」または「**プライベートプロトコル 2**」を選択します。

2. 「**保存**」をクリックして設定を保存します。

カスタムボタン

手順

1. 「**カスタムボタン**」をクリックして、時間パラメータ設定ページに入ります。

2. カスタマイズしたいボタンに応じて、**キー番号**を 1、2、3、または 4 から選択します。

3. 異なる**キー設定**を選択して、ボタンごとに異なる機能を設定します。

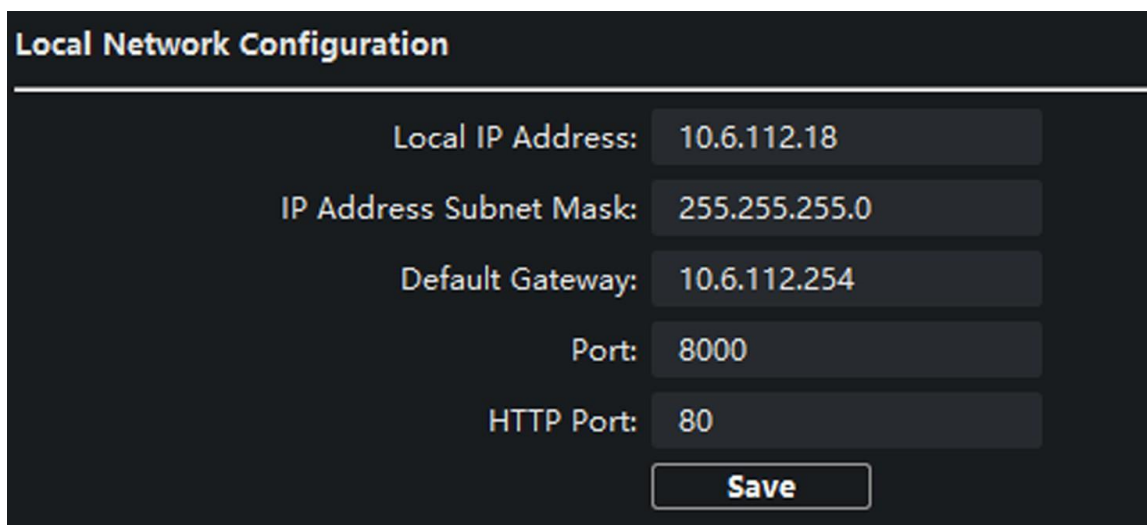
4. **オプション**：「**画面表示パラメータ**」エリアの「**開く**」を選択すると、メニューに「**コール管理センター**」または「**コールエレベーター**」のアイコンが表示されます。

7.3.3 ネットワーク

ローカルネットワークの設定

手順

1. **[ローカルネットワーク設定]** をクリックして、ローカルネットワーク設定ページに入ります。



The image shows a 'Local Network Configuration' screen with a dark background. It contains five input fields with labels and values: 'Local IP Address: 10.6.112.18', 'IP Address Subnet Mask: 255.255.255.0', 'Default Gateway: 10.6.112.254', 'Port: 8000', and 'HTTP Port: 80'. A 'Save' button is located at the bottom right of the form.

図 7-13 ローカルネットワーク設定

2. ローカル IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス、およびポート番号を入力します。
3. **[保存]** をクリックして設定を有効にします。



- デフォルトのポート番号は 8000 です。
- デバイスのローカルネットワーク設定を編集した後、そのデバイスをデバイス一覧に再度追加する必要があります。

SIP設定

手順

1. **[SIP 設定]** をクリックして、設定ページに入ります。

Login Status: Unregistered

Server: Domain Name

Server Domain:

Server Port: 0

User Name:

Password:

Local No.:

Display Name:

Login Cycle: 0 Minute(s)

Save

図 7-14 SIP 設定

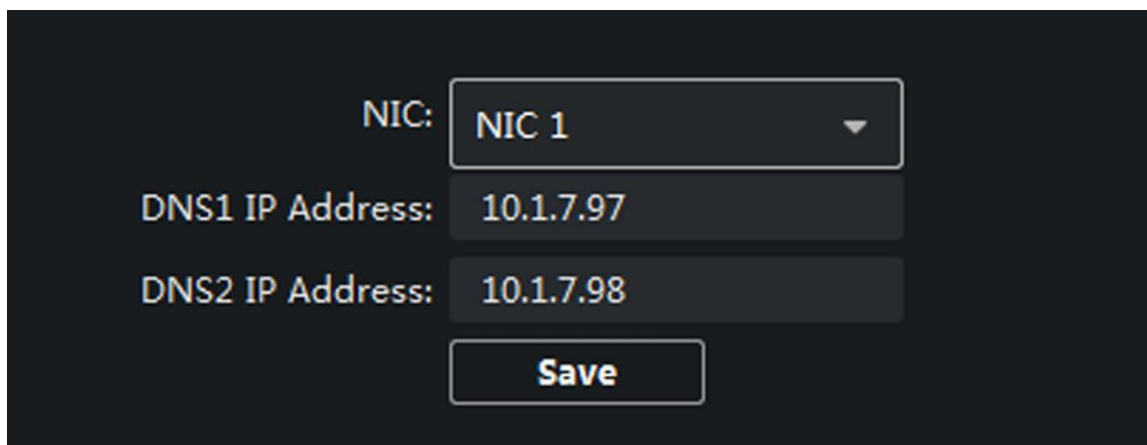
2. 必要に応じてパラメータを設定してください。

3. 「保存」をクリックして設定を有効にします。

DNS 設定

屋内機は 2 つの DNS アドレスに対応しています。

「詳細設定」をクリックして、DNS アドレス設定ページに入ります。IP アドレスを編集し、「保存」をクリックします。



NIC: NIC 1 ▼

DNS1 IP Address: 10.1.7.97

DNS2 IP Address: 10.1.7.98

Save

図 7-15 DNS 設定

モバイルクライアント接続の設定

モバイルクライアントで動画を視聴する前に、Hik-Connectサーバーの設定を行ってください。

開始する前に

屋内ステーションがネットワークに接続されていることを確認してください。

手順

1. 「Hik-Connect」をクリックして設定ページに入ります。
2. 「Hik-Connect アクセスを有効にする」を有効にします。
3. 「カスタム」を有効にし、「サービスアドレス」を編集します
4. 確認コードを入力します。
5. 「保存」をクリックします。

グループネットワーク設定

[グループネットワーク設定] をクリックして、グループネットワーク設定ページに入ります。

Group Network Parameters			
Device Type	Indoor Station	SIP No.	10010110001
Community No.	1	Registration Password	
Building No.	1	Master Station IP Addr...	0.0.0.0
Unit No.	1	(Main) Door Station IP ...	192.0.0.65
Floor No.	1	SIP Server IP Address	0.0.0.0
Room No.	1	Doorphone IP Address	0.0.0.0
		Main Door Station Type	Main Door Station ...
		Security Control Panel I...	0.0.0.0
		Security Control Panel P...	0
Save			

図 7-16 グループネットワーク設定

デバイス番号の設定

ドロップダウンリストからデバイスの種類を選択し、対応する情報を設定してください。



- デバイス種別は、屋内局または屋内内線として設定できます。
- デバイス種別として「屋内拡張機」を選択した場合、デバイス番号は 1 から 5 まで設定できます。

[保存] をクリックして設定を有効にします。

リンクされたデバイスのネットワーク設定

登録パスワードを入力し、対応する情報を設定します。



- Dシリーズはドアステーションを指し、Vシリーズはヴィラ用ドアステーションを指します。
- 登録パスワードは、SIPサーバーのパスワードです。

7.4 クライアントソフトウェアから屋内機を呼び出す

手順

1. メインページで、「Access Control (アクセス制御)」→「Video Intercom (ビデオインターホン)」をクリックし、ビデオインターホンページに入ります。
2. 居住者を選択し、「Call Household」列の「」をクリックして、選択した居住者への通話を開始します。

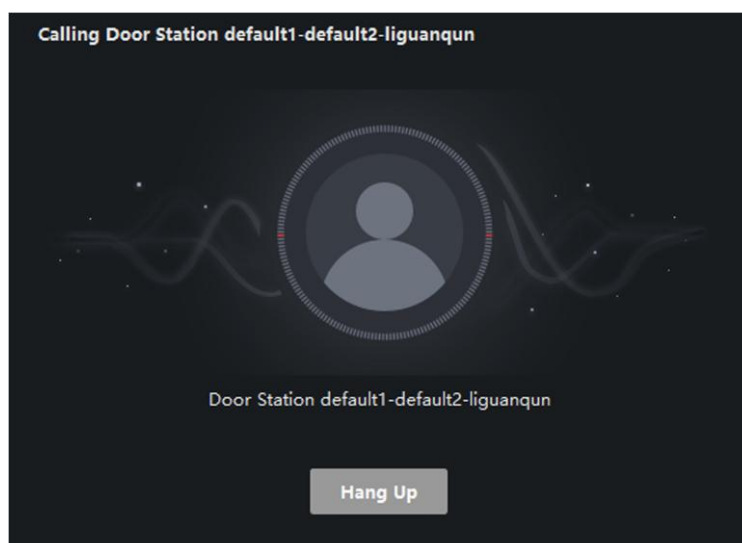


図 7-17 屋内機への発信

3. 応答すると、「通話中」画面が表示されます。

- 「」をクリックして、スピーカーの音量を調整します。
- 「Hang Up」をクリックして通話を終了します。
- 「」をクリックして、スピーカーの音量を調整します。



- 1 台の屋内機は、1 つのクライアントソフトウェアにしか接続できません。
 - 屋内ステーションのリモート設定により、最大呼び出し時間を 15 秒から 60 秒の範囲で、最大通話時間を 120 秒から 600 秒の範囲で設定できます。
-

7.5 ドアステーションおよび屋外ドアステーションのライブ映像を表示

「メインビュー」モジュールでは、ドアステーションおよび屋外ドアステーションのライブ映像を確認し、これらを遠隔操作することができます。

メインビューモジュールで、ドアステーションまたは屋外ドアステーションのデバイスをダブルクリックするか、デバイスを表示ウィンドウにドラッグして、ライブビューを開始します。

メニューの「**ロック解除**」をクリックすると、ドアを遠隔で開けることができます。

7.6 通話履歴の表示

発信履歴、着信履歴、不在着信履歴を含むすべての通話履歴を確認できます。また、履歴リストから直接ダイヤルしたり、履歴を消去したりすることもできます。

手順

1. メインページで、「**アクセス制御**」→「**ビデオインターホン**」をクリックし、「ビデオインターホン」ページに移動します。

2. 「通話履歴」タブをクリックして、「通話履歴」ページに移動します。このページにはすべての通話履歴が表示され、通話ステータス、開始時刻、居住者の所属組織および氏名、デバイス名、呼び出し音または通話時間などの履歴情報を確認できます。

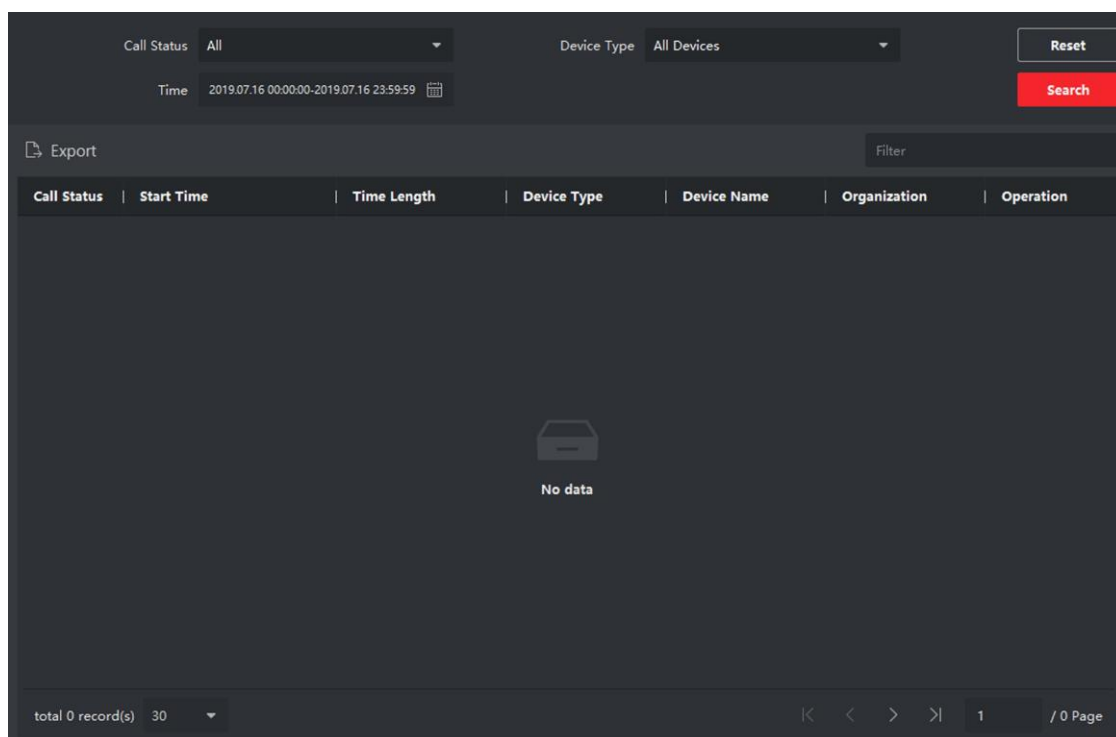


図 7-18 通話履歴

3. オプション：「操作」列の「」アイコンをクリックして、入居者に再ダイヤルします。

7.7 ビデオインターホン情報の検索

iVMS-4200クライアントソフトウェアとビデオインターホン機器間の通話履歴、機器のロック解除履歴、および送信された通知情報を検索できます。

メインページで「**アクセス制御**」をクリックし、アクセス制御モジュールに入ります。

アクセス制御モジュールで、「**ビデオインターホン**」をクリックして、ビデオインターホンページに入ります。

7.7.1 通話履歴の検索

手順

1. メインページで、「**アクセス制御**」→「**ビデオインターホン**」をクリックして、ビデオインターホンページに入ります。
2. 「**通話履歴**」をクリックして、通話履歴ページに入ります。

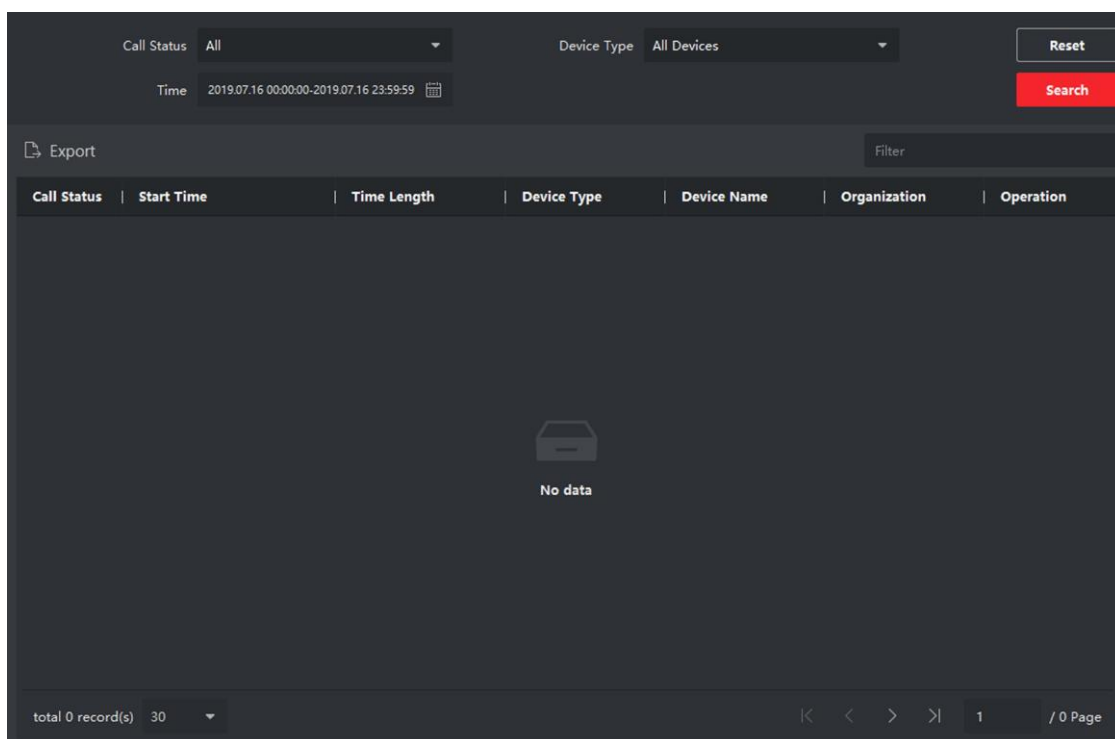


図7-19 通話履歴の検索

3. 通話ステータス、端末の種類、開始時刻、終了時刻などの検索条件を設定します。

通話ステータス

[▼] をクリックしてドロップダウンリストを展開し、通話ステータスを [Dialed]、[Received]、または [Missed] から選択します。または、[All] を選択して、すべてのステータスのログを検索します。

「デバイス種別」

[▼] をクリックしてドロップダウンリストを展開し、デバイス種別として [Indoor Station]、[Door Station]、[Outer Door Station]、または [Analog Indoor Station] を選択します。または、[All Devices] を選択して、すべてのデバイス種別のログを検索します。

開始時刻/終了時刻

[📅] をクリックして、ログを検索する期間の開始時刻と終了時刻を指定します。

4. オプション：「リセット」をクリックすると、設定済みの検索条件をすべてリセットできます。

5. 「検索」をクリックすると、一致したすべての通話ログがこのページに表示されます。

- 検索された通話ログの詳細情報（通話ステータス、着信/通話時間、デバイス名、所属組織など）を確認します。
- 「検索」フィールドにキーワードを入力して、目的のログをフィルタリングします。
- 「エクスポート」をクリックして、通話履歴をPCにエクスポートしてください。

7.7.2 検索に関するお知らせ

手順

1. メインページで、「アクセス制御」→「ビデオインターホン」をクリックして、ビデオインターホンページに入ります。
2. 「通知」をクリックして、通知ページに入ります。

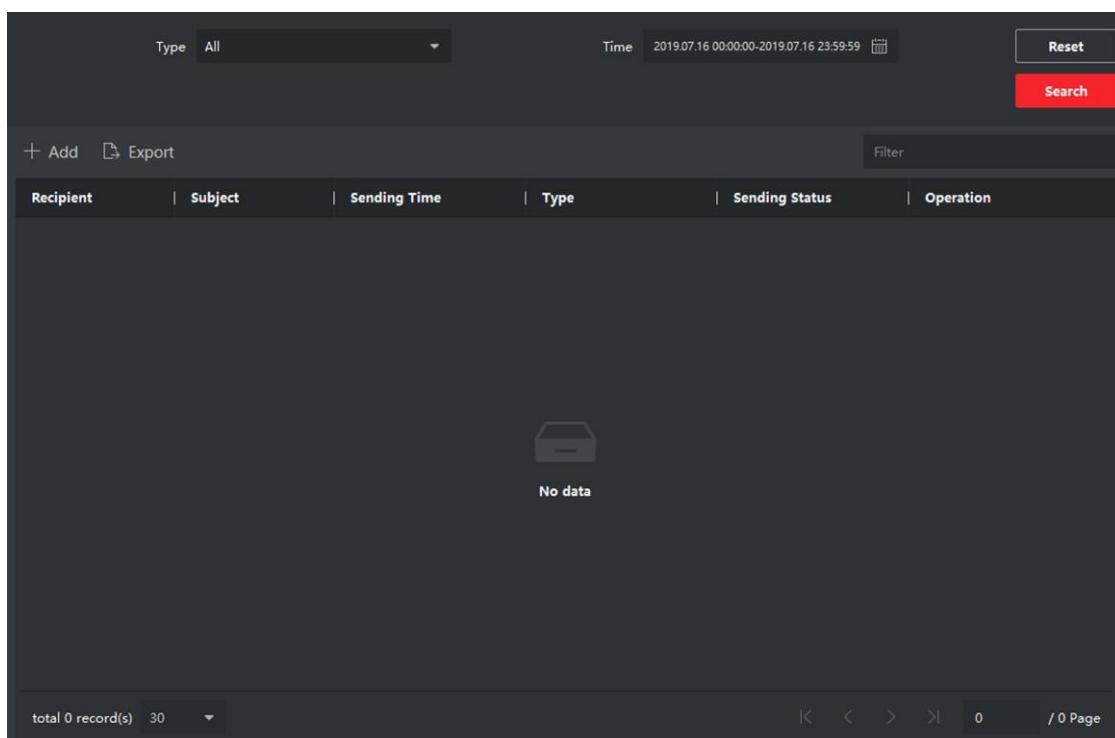


図 7-20 お知らせの検索

3. 通知の種類、件名、受信者、開始時刻、終了時刻などの検索条件を設定します。

受信者

「受信者」フィールドに受信者情報を入力して、指定した通知を検索します。

件名

件名欄にキーワードを入力して、該当するお知らせを検索してください。

タイプ

「▼」をクリックしてドロップダウンリストを展開し、通知の種類として「**広告情報**」、「**物件情報**」、「**アラーム情報**」、または「**通知情報**」を選択します。または、「**すべて**」を選択して、すべての種類の通知を検索します。

4. オプション：「リセット」をクリックすると、設定されたすべての検索条件をリセットできます。

5. 「検索」をクリックすると、一致したすべての通知がこのページに表示されます。

- 送信日時や送信ステータスなど、検索された通知の詳細情報を確認してください。
- 検索フィールドにキーワードを入力して、検索結果を絞り込んでください。

6. 通知の詳細を表示・編集したり、送信失敗・送信成功・未読のユーザーを確認したり、送信失敗・未読のユーザーに通知を再送信したりできます。
7. オプション : 「エクスポート」をクリックして、通知をPCにエクスポートします。



See Far, Go Further

UD44917B